

たかまつ創生総合戦略(仮称)に関するアンケート

市民の皆様には、日ごろから市政に格別のご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

現在、高松市では、人口減少の克服と地域活力の向上のため、本市の実情に応じた目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示す、たかまつ創生総合戦略(仮称)の策定を進めています。

この調査は、皆様のお考えや御意向を把握し、総合戦略策定の参考とさせていただくために行うものです。

お忙しいところ、大変お手数をおかけしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

平成27年7月

高松市長 大西 秀人

【ご記入にあたってご留意いただきたいこと】

1. 本調査は、住民基本台帳を基に、無作為に抽出した18歳以上49歳以下の市民1,500人を対象としています。
2. 回答の結果は、全て統計的に処理し、調査票に記入された個々の内容や、あなたに関する個人データが、本調査以外の目的に使用されることは一切ありません。
3. 回答方式は、あてはまる番号に○印をつけていただくものが大半となっています。
4. 本調査は、あなた個人を対象としているものです。ご本人(宛名の方)のお考えに基づいてご記入ください。

ただし、封筒の宛名の方がお答えいただけない場合は、ご家族の方がお答えください。その際は、回答された方の年齢、職業などをお答えください。

5. 本調査の対象者は、7月1日時点の住民基本台帳データを基に抽出しておりますので、既に市外へ転出されていたり、亡くなられたりした方に調査票が届いた場合は、ご了承ください。その場合は、ご回答は不要です。
6. 本調査の内容等についてご不明な点などございましたら、お手数ですが、下記までご連絡ください。

【ご記入がお済みの方は】

ご記入がお済みになりましたら、本調査票を同封の返信用封筒に入れ、密封した上で、**7月21日(火)までに**郵便ポストに投函してください。(切手は不要です)

高松市役所 市民政策局 政策課 TEL : 839-2135

FAX : 839-2125

e-mail

seisaku@city.takamatsu.lg.jp

◆「高松のまち」についてお聞きします。

問1 今の高松のまちに対してどの程度満足していますか？(それぞれ1つを選んで○)

項 目	満 足	や や 満 足	ふ つ う	や や 不 満	不 満	わ か ら な い
1 自然環境	6	5	4	3	2	1
2 緑の環境	6	5	4	3	2	1
3 生活衛生環境	6	5	4	3	2	1
4 住宅事情	6	5	4	3	2	1
5 就業の場	6	5	4	3	2	1
6 余暇活動・レジャー	6	5	4	3	2	1
7 買物の利便性	6	5	4	3	2	1
8 まちのにぎわい	6	5	4	3	2	1
9 公共交通機関の利便性	6	5	4	3	2	1
10 道路の整備状況	6	5	4	3	2	1
11 建物や街並みの景観	6	5	4	3	2	1
12 子育て環境	6	5	4	3	2	1
13 教育水準	6	5	4	3	2	1
14 生涯学習の機会	6	5	4	3	2	1
15 芸術文化活動	6	5	4	3	2	1
16 スポーツ活動	6	5	4	3	2	1
17 医療・保健	6	5	4	3	2	1
18 福祉	6	5	4	3	2	1
19 交通安全対策	6	5	4	3	2	1
20 災害への備え	6	5	4	3	2	1
21 公共サービス	6	5	4	3	2	1
22 近所づきあい	6	5	4	3	2	1
23 地域の人々の交流	6	5	4	3	2	1

問2 問1の項目のうち、高松市の魅力や誇れるものは何だと思えますか？

該当する番号に○をしてください。 (3つまで選んで○)

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1 自然環境 | 2 緑の環境 | 3 生活衛生環境 |
| 4 住宅事情 | 5 就業の場 | 6 余暇活動・レジャー |
| 7 買物の利便性 | 8 まちのにぎわい | 9 公共交通機関の利便性 |
| 10 道路の整備状況 | 11 建物や街並みの景観 | 12 子育て環境 |
| 13 教育水準 | 14 生涯学習の機会 | 15 芸術文化活動 |
| 16 スポーツ活動 | 17 医療・保健 | 18 福祉 |
| 19 交通安全対策 | 20 災害への備え | 21 公共サービス |
| 22 近所づきあい | 23 地域の人々の交流 | |

◆「高松市での居住」についてお聞きします。

問3 これまでずっと高松市にお住まいですか？ (1つを選んで○)

(合併前の地域を含む)

- | |
|--------------------------------|
| 1 生まれてからずっと住んでいる |
| 2 高松市にかつて住んでいたが、一度転出して、また戻ってきた |
| 3 市外から引っ越してきた |

問4 **《問3で、2または3を選択した方にお伺いします。》**

あなたが高松市に住むようになった主なきっかけは何ですか？ (1つを選んで○)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 自分の仕事 (就職・転職・転勤・退職) | 2 配偶者の仕事(就職・転職・転勤・退職) |
| 3 自分の進学 | 4 結婚 |
| 5 出産 | 6 介護 |
| 7 親や子ども等との同居・近居 | 8 住宅購入 |
| 9 その他() | |

問5 これからも高松市に住み続けたいですか？(希望) (1つを選んで○)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 今の場所に住み続けたい | 2 市内の別のところに引っ越したい |
| 3 市外へ引っ越したい | 4 わからない |

問6 今後も、高松市に住み続けることができますか？ (1つを選んで○)

- | |
|-----------------------------|
| 1 高松市内に住み続ける |
| 2 おそらく高松市内に住み続ける |
| 3 おそらく市外へ転出する、すでに転出する見込みである |
| 4 わからない |

問7 <問6で、3を選択した方にお伺いします。>

その理由は何ですか？ (1つを選んで○)

1 自分の仕事 (就職・転職・転勤・退職)	2 配偶者の仕事(就職・転職・転勤・退職)
3 自分の進学	4 結婚
5 出産	6 介護
7 親や子ども等との同居・近居	8 住宅購入
9 その他()	

◆「居住地の選択」についてお聞きします。

問8 あなたが居住地を選択する時に重視することは何ですか？ (それぞれ1つを選んで○)

	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
1 自然環境が保たれている	5	4	3	2	1
2 緑の環境	5	4	3	2	1
3 生活衛生環境がよい	5	4	3	2	1
4 住宅事情がよい	5	4	3	2	1
5 就業の場に恵まれている	5	4	3	2	1
6 余暇活動・レジャーが楽しめる	5	4	3	2	1
7 買物が便利である	5	4	3	2	1
8 まちのにぎわいがある	5	4	3	2	1
9 公共交通機関が便利である	5	4	3	2	1
10 道路が整備されている	5	4	3	2	1
11 建物や街並みの景観が整っている	5	4	3	2	1
12 子育てが安心してできる	5	4	3	2	1
13 教育水準が高い	5	4	3	2	1
14 生涯学習の機会が豊富である	5	4	3	2	1
15 芸術文化活動がしやすい	5	4	3	2	1
16 スポーツ活動がしやすい	5	4	3	2	1

	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
17 医療・保健が充実している	5	4	3	2	1
18 福祉が充実している	5	4	3	2	1
19 交通安全対策が充実している	5	4	3	2	1
20 災害に対して安全である	5	4	3	2	1
21 公共サービスが行き届いている	5	4	3	2	1
22 近所づきあいがしやすい	5	4	3	2	1
23 地域の人々の交流が活発である	5	4	3	2	1

問9 居住地を選択する場合、どのような情報・支援が必要と思いますか？
(2つまで選んで○)

1 移住・定住についての情報	2 住宅についての支援
3 就業についての支援	4 起業についての支援
5 出産・育児についての支援	6 保育・教育についての支援
7 子どもの医療費への支援	8 その他 ()

◆「就職・雇用」についてお聞きします。

問10 あなたが就職先を探そうとする場合、どのようなことを重視しますか？
(3つまで選んで○)

1 大企業（有名企業）である	2 自分の技術や資格を活かせる
3 自分の夢を実現できる	4 人や地域のためになる
5 雇用が安定している（将来性がある）	6 高収入である
7 男女格差がない	8 福利厚生が充実している
9 残業が少ない	10 休みがとりやすい
11 高度な技術がある	12 通勤が便利（転勤がない）
13 先輩や友人がいる	14 就職先周辺の住環境が良い
15 その他 ()	

問11 高松市内に、問10で選択した項目を満たす企業はありますか？(1つを選んで○)

1 ある（複数社）	2 ある（1社）	3 ない
-----------	----------	------

◆「結婚・出産・子育て」についてお聞きします。

問12 あなたは、現在、結婚していますか？ (1つを選んで○)

- | | |
|-------------------|----------|
| 1 結婚している(既婚)→問14へ | 2 独身(未婚) |
| 3 独身(結婚歴あり) | 4 その他() |

問13 **《問12で、2～4を選択した方にお伺いします。》**

結婚をしていない理由について、
あなたの考えに近いものをお選びください。 (3つまで選んで○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 結婚したいと思える相手がいない | 2 家族を養うほどの収入がない |
| 3 精神的に自由でいられる | 4 経済的に自由でいられる |
| 5 異性とうまくつきあえない | 6 仕事(学業)に専念したい |
| 7 結婚資金が足りない | 8 まだ若すぎる |
| 9 結婚するつもりはない | 10 その他() |

問14 結婚しやすい環境をつくるためには、どのような支援があればよいと思いますか？
あなたの考えに近いものをお選びください。 (3つまで選んで○)

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1 安定した雇用の確保 | 2 結婚に係る経済的支援 |
| 3 婚活イベントなど出会いの場の提供 | 4 交際術やマナーなどを学ぶ講座 |
| 5 結婚相談窓口(仲立ち) | |
| 6 若い世代(中学生・高校生)への結婚に関する講習会 | |
| 7 支援は必要ない | 8 その他() |

問15 出産しやすい環境をつくるためには、どのような支援があればよいと思いますか？
(2つまで選んで○)

- | |
|----------------------------|
| 1 産休・育休制度の充実 |
| 2 妊娠・出産に関する相談・地域のサポート体制の充実 |
| 3 妊娠・出産時の経済的負担の軽減 |
| 4 支援は必要ない |
| 5 その他() |

問16 子育てについて、どのようなイメージを持っていますか？ (2つまで選んで○)

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1 楽しい | 2 にぎやか | 3 充実感がある |
| 4 お金がかかる | 5 時間がとられる | 6 不安がある |
| 7 その他 (| |) |

問17 現在の子どもの数と、あなたにとって理想的な子どもの数は何人ですか？

現在の子どもの数(1つを選んで○)

- | | | |
|------|--------|------|
| 1 0人 | 2 1人 | 3 2人 |
| 4 3人 | 5 4人以上 | |

理想的な子どもの数(1つを選んで○)

- | | | |
|------|--------|------|
| 1 0人 | 2 1人 | 3 2人 |
| 4 3人 | 5 4人以上 | |

問18 **《問17で「現在の子どもの数」が「理想的な子どもの数」より少ない方にお伺いします。》**

「現在の子どもの数」が「理想的な子どもの数」より少ない理由は何ですか？

あなたの考えに近いものをお選びください。 (3つまで選んで○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 子育てにはお金がかかる | 2 仕事や趣味を優先したい |
| 3 仕事と子育ての両立が難しい | 4 職場の理解がない |
| 5 自分や夫婦の生活を大切にしたい | 6 高齢出産になる |
| 7 住居が狭い | 8 子育てを手助けする人がいない |
| 9 健康上の理由 | 10 育児の心理的・肉体的負担が大きい |
| 11 ほしいけれどもできない | 12 配偶者の協力が得られない |
| 13 子どもの医療費の経済的負担が大きい | 14 保育園や幼稚園にお金がかかる |
| 15 高等学校や大学教育にお金がかかる | 16 いじめなど子どもの成長に不安がある |
| 17 その他 (|) |

問19 子育てしやすい環境をつくるためには、どのような支援があればよいと思いますか？
(3つまで選んで○)

1 地域ぐるみで子育てができる環境づくり 2 子育てに関する相談、サポート体制の充実 3 育児に関するセミナーなどの開催 4 育児休暇制度の充実(期間の延長など) 5 男性の育児休暇取得の推奨 6 子どもの人数に応じた経済的な支援 7 保育所などの預け先の施設の充実 8 企業による育休明けの働き方に関する支援 9 子育てがしやすい税制や社会保障の実施 10 育児や住宅に対する資金貸与や補助支援 11 長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、育児時間の確保 12 支援は必要ない 13 その他()

◆「あなた自身のこと」についてお聞きします。

問20 最後にあなた自身のことについてお聞きします。それぞれの内容についてお答えください。

(1) あなたの性別をお答えください。 <u>(1つを選んで○)</u>	1 男 2 女
(2) あなたの年齢をお答えください。 <u>(平成27年1月1日現在の満年齢を記入してください)</u>	満 _____ 歳

<p>(3) あなたの居住地について、次の51区分(小学校区)からお答えください。 <u>(1つを選んで○)</u></p> <p>※日新小学校と二番丁小学校と四番丁小学校は、平成22年度から新番丁小学校へ統合。</p> <p>※松島小学校と築地小学校と新塩屋小学校は、平成22年度から高松第一小学校へ統合。</p>	<table border="0"> <tbody> <tr><td>1 新番丁</td><td>2 亀阜</td><td>3 栗林</td></tr> <tr><td>4 花園</td><td>5 高松第一</td><td>6 鶴尾</td></tr> <tr><td>7 太田</td><td>8 太田南</td><td>9 中央</td></tr> <tr><td>10 木太</td><td>11 木太北部</td><td>12 木太南</td></tr> <tr><td>13 古高松</td><td>14 古高松南</td><td>15 屋島</td></tr> <tr><td>16 屋島東</td><td>17 屋島西</td><td>18 前田</td></tr> <tr><td>19 川添</td><td>20 林</td><td>21 三溪</td></tr> <tr><td>22 仏生山</td><td>23 香西</td><td>24 一宮</td></tr> <tr><td>25 多肥</td><td>26 川岡</td><td>27 円座</td></tr> <tr><td>28 檀紙</td><td>29 弦打</td><td>30 鬼無</td></tr> <tr><td>31 下笠居</td><td>32 女木</td><td>33 男木</td></tr> <tr><td>34 川島</td><td>35 十河</td><td>36 植田</td></tr> <tr><td>37 東植田</td><td>38 上西</td><td>39 塩江</td></tr> <tr><td>40 安原</td><td>41 香南</td><td>42 大野</td></tr> <tr><td>43 浅野</td><td>44 川東</td><td>45 国分寺北部</td></tr> <tr><td>46 国分寺南部</td><td>47 庵治</td><td>48 庵治第二</td></tr> <tr><td>49 牟礼</td><td>50 牟礼北</td><td>51 牟礼南</td></tr> </tbody> </table> <p>※小学校区が、<u>御不明の場合</u>は、下記に居住地の町名を御記入ください。 高松市_____町</p>	1 新番丁	2 亀阜	3 栗林	4 花園	5 高松第一	6 鶴尾	7 太田	8 太田南	9 中央	10 木太	11 木太北部	12 木太南	13 古高松	14 古高松南	15 屋島	16 屋島東	17 屋島西	18 前田	19 川添	20 林	21 三溪	22 仏生山	23 香西	24 一宮	25 多肥	26 川岡	27 円座	28 檀紙	29 弦打	30 鬼無	31 下笠居	32 女木	33 男木	34 川島	35 十河	36 植田	37 東植田	38 上西	39 塩江	40 安原	41 香南	42 大野	43 浅野	44 川東	45 国分寺北部	46 国分寺南部	47 庵治	48 庵治第二	49 牟礼	50 牟礼北	51 牟礼南
1 新番丁	2 亀阜	3 栗林																																																		
4 花園	5 高松第一	6 鶴尾																																																		
7 太田	8 太田南	9 中央																																																		
10 木太	11 木太北部	12 木太南																																																		
13 古高松	14 古高松南	15 屋島																																																		
16 屋島東	17 屋島西	18 前田																																																		
19 川添	20 林	21 三溪																																																		
22 仏生山	23 香西	24 一宮																																																		
25 多肥	26 川岡	27 円座																																																		
28 檀紙	29 弦打	30 鬼無																																																		
31 下笠居	32 女木	33 男木																																																		
34 川島	35 十河	36 植田																																																		
37 東植田	38 上西	39 塩江																																																		
40 安原	41 香南	42 大野																																																		
43 浅野	44 川東	45 国分寺北部																																																		
46 国分寺南部	47 庵治	48 庵治第二																																																		
49 牟礼	50 牟礼北	51 牟礼南																																																		
<p>(4) あなたは高松市(合併前の地域を含む)にお住まいになって何年になりますか？ <u>(1つを選んで○)</u></p>	<table border="0"> <tbody> <tr><td>1 3年未満</td><td>2 3年以上10年未満</td></tr> <tr><td>3 10年以上20年未満</td><td>4 20年以上</td></tr> </tbody> </table>	1 3年未満	2 3年以上10年未満	3 10年以上20年未満	4 20年以上																																															
1 3年未満	2 3年以上10年未満																																																			
3 10年以上20年未満	4 20年以上																																																			
<p>(5) あなたの職業をお答えください。 ※複数に該当する方は、主たるものをお選びください。<u>(1つを選んで○)</u></p>	<table border="0"> <tbody> <tr><td>1 正社員</td></tr> <tr><td>2 パート・アルバイト</td></tr> <tr><td>3 派遣、嘱託、契約社員</td></tr> <tr><td>4 自営業主</td></tr> <tr><td>5 専業主婦(主夫)</td></tr> <tr><td>6 学生</td></tr> <tr><td>7 無職</td></tr> <tr><td>8 その他(具体的に: _____)</td></tr> </tbody> </table>	1 正社員	2 パート・アルバイト	3 派遣、嘱託、契約社員	4 自営業主	5 専業主婦(主夫)	6 学生	7 無職	8 その他(具体的に: _____)																																											
1 正社員																																																				
2 パート・アルバイト																																																				
3 派遣、嘱託、契約社員																																																				
4 自営業主																																																				
5 専業主婦(主夫)																																																				
6 学生																																																				
7 無職																																																				
8 その他(具体的に: _____)																																																				

<p>(6) 上記(5)で1～4と回答した方にお伺います。あなたの業種をお答えください。 ※複数に該当する方は、主たるものをお選びください。<u>(1つを選んで○)</u></p>	<table> <tr> <td>1 農林業</td> <td>2 水産業</td> </tr> <tr> <td>3 サービス業</td> <td>4 建設業</td> </tr> <tr> <td>5 公務</td> <td>6 教員・研究員</td> </tr> <tr> <td>7 製造業</td> <td>8 情報・通信業</td> </tr> <tr> <td>9 運輸業・郵便業</td> <td>10 金融業・保険業</td> </tr> <tr> <td>11 医療・福祉業</td> <td>12 電気・ガス・水道</td> </tr> <tr> <td>13 卸売業・小売業</td> <td>14 不動産業</td> </tr> <tr> <td>15 その他(具体的に: _____)</td> <td></td> </tr> </table>	1 農林業	2 水産業	3 サービス業	4 建設業	5 公務	6 教員・研究員	7 製造業	8 情報・通信業	9 運輸業・郵便業	10 金融業・保険業	11 医療・福祉業	12 電気・ガス・水道	13 卸売業・小売業	14 不動産業	15 その他(具体的に: _____)	
1 農林業	2 水産業																
3 サービス業	4 建設業																
5 公務	6 教員・研究員																
7 製造業	8 情報・通信業																
9 運輸業・郵便業	10 金融業・保険業																
11 医療・福祉業	12 電気・ガス・水道																
13 卸売業・小売業	14 不動産業																
15 その他(具体的に: _____)																	
<p>(7) あなたの現在の家族構成をお答えください。<u>(1つを選んで○)</u></p>	<table> <tr> <td>1 単身</td> <td>2 夫婦</td> </tr> <tr> <td>3 親子</td> <td>4 三世代(親、子、孫)</td> </tr> <tr> <td>5 その他(具体的に: _____)</td> <td></td> </tr> </table>	1 単身	2 夫婦	3 親子	4 三世代(親、子、孫)	5 その他(具体的に: _____)											
1 単身	2 夫婦																
3 親子	4 三世代(親、子、孫)																
5 その他(具体的に: _____)																	

人口減少対策やまちづくりに関することで御意見がありましたら、自由に御記入ください。

質問は以上です。御協力ありがとうございました。
 同封の返信用封筒に入れて、**7月21日(火)**までに郵便ポストに投函してください。

たかまつ創生総合戦略(仮称)に関するアンケート

皆様には、日ごろから市政に格別のご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

現在、高松市では、人口減少の克服と地域活力の向上のため、本市の実情に応じた目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示す、たかまつ創生総合戦略(仮称)の策定を進めています。

この調査は、皆様のお考えや御意向を把握し、総合戦略策定の参考とさせていただくために行うものです。

お忙しいところ、大変お手数をおかけしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

平成27年7月

高松市長 大西 秀人

【ご記入にあたってご留意いただきたいこと】

1. 本調査は、住民基本台帳を基に、過去3年間に高松市から転出した方から無作為に抽出した18歳以上の500人を対象としています。
2. 回答の結果は、全て統計的に処理し、調査票に記入された個々の内容や、あなたに関する個人データが、本調査以外の目的に使用されることは一切ありません。
3. 回答方式は、あてはまる番号に○印をつけていただくものが大半となっています。
4. 本調査は、あなた個人を対象としているものです。ご本人(宛名の方)のお考えに基づいてご記入ください。
ただし、封筒の宛名の方がお答えいただけない場合は、ご家族の方がお答えください。その際は、回答された方の年齢、職業などをお答えください。
5. 本調査の対象者は、高松市転出時のデータを基にしておりますので、さらに他の市町村へ転出されていたり、亡くなられたりした方に調査票が届いた場合は、ご了承ください。その場合は、ご回答は不要です。
6. 本調査の内容等についてご不明な点などございましたら、お手数ですが、下記までご連絡ください。

【ご記入がお済みの方は】

ご記入がお済みになりましたら、本調査票を同封の返信用封筒に入れ、密封した上で、**7月21日(火)までに**郵便ポストに投函してください。(切手は不要です)

高松市役所 市民政策局 政策課 TEL : 087-839-2135

FAX : 087-839-2125

e-mail

seisaku@city.takamatsu.lg.jp

◆「あなた自身のこと」についてお聞きします。

問1 それぞれの内容についてお答えください。

<p>(1) あなたの性別をお答えください。 <u>(1つを選んで○)</u></p>	<p>1 男 2 女</p>
<p>(2) あなたの年齢をお答えください。 (平成27年1月1日現在の満年齢を記入してください)</p>	<p>満_____歳</p>
<p>(3)あなたの高松市(合併前の地域を含む)での居住年数は何年ですか? <u>(1つを選んで○)</u></p>	<p>1 1年未満 2 1年以上5年未満 3 5年以上10年未満 4 10年以上</p>
<p>(4)あなたの職業をお答えください。 ※複数に該当する方は、主たるものをお選びください。<u>(1つを選んで○)</u></p>	<p>1 正社員 2 パート・アルバイト 3 派遣、嘱託、契約社員 4 自営業主 5 専業主婦(主夫) 6 学生 7 無職 8 その他(具体的に: _____)</p>
<p>(5)上記(4)で1～4と回答した方にお伺います。あなたの業種をお答えください。 ※複数に該当する方は、主たるものをお選びください。 <u>(1つを選んで○)</u></p>	<p>1 農林業 2 水産業 3 サービス業 4 建設業 5 公務 6 教員・研究員 7 製造業 8 情報・通信業 9 運輸業・郵便業 10 金融業・保険業 11 医療・福祉業 12 電気・ガス・水道 13 卸売業・小売業 14 不動産業 15 その他(具体的に: _____)</p>
<p>(6)あなたは、現在、結婚していますか? <u>(1つを選んで○)</u></p>	<p>1 結婚している(既婚) 2 独身(未婚) 3 独身(結婚歴あり) 4 その他(_____)</p>
<p>(7)あなたの現在の家族構成をお答えください。<u>(1つを選んで○)</u></p>	<p>1 単身 2 夫婦 3 親子 4 三世代(親、子、孫) 5 その他(具体的に: _____)</p>

項目	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
17 医療・保健	6	5	4	3	2	1
18 福祉	6	5	4	3	2	1
19 交通安全対策	6	5	4	3	2	1
20 災害への備え	6	5	4	3	2	1
21 公共サービス	6	5	4	3	2	1
22 近所づきあい	6	5	4	3	2	1
23 地域の人々の交流	6	5	4	3	2	1

問3 問2の項目のうち、高松市の魅力や誇れるものは何だと思いますか？

該当する番号に○をしてください。 (3つまで選んで○)

1 自然環境	2 緑の環境	3 生活衛生環境
4 住宅事情	5 就業の場	6 余暇活動・レジャー
7 買物の利便性	8 まちのにぎわい	9 公共交通機関の利便性
10 道路の整備状況	11 建物や街並みの景観	12 子育て環境
13 教育水準	14 生涯学習の機会	15 芸術文化活動
16 スポーツ活動	17 医療・保健	18 福祉
19 交通安全対策	20 災害への備え	21 公共サービス
22 近所づきあい	23 地域の人々の交流	

◆「転出」についてお聞きします。

問4 高松市から転出することになった主なきっかけは何ですか？ (1つを選んで○)

1 自分の仕事 (就職・転職・転勤・退職)	2 配偶者の仕事(就職・転職・転勤・退職)
3 自分の進学	4 結婚
5 出産	6 介護
7 親や子ども等との同居・近居	8 住宅購入
9 出身地にもどる	10 その他()

◆「居住地の選択」についてお聞きします。

問5 あなたが居住地を選択する時に重視することは何ですか？ (それぞれ1つを選んで○)

	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
1 自然環境が保たれている	5	4	3	2	1
2 緑の環境	5	4	3	2	1
3 生活衛生環境がよい	5	4	3	2	1
4 住宅事情がよい	5	4	3	2	1
5 就業の場に恵まれている	5	4	3	2	1
6 余暇活動・レジャーが楽しめる	5	4	3	2	1
7 買物が便利である	5	4	3	2	1
8 まちのにぎわいがある	5	4	3	2	1
9 公共交通機関が便利である	5	4	3	2	1
10 道路が整備されている	5	4	3	2	1
11 建物や街並みの景観が整っている	5	4	3	2	1
12 子育てが安心してできる	5	4	3	2	1
13 教育水準が高い	5	4	3	2	1
14 生涯学習の機会が豊富である	5	4	3	2	1
15 芸術文化活動がしやすい	5	4	3	2	1
16 スポーツ活動がしやすい	5	4	3	2	1
17 医療・保健が充実している	5	4	3	2	1
18 福祉が充実している	5	4	3	2	1
19 交通安全対策が充実している	5	4	3	2	1
20 災害に対する安全である	5	4	3	2	1
21 公共サービスが行き届いている	5	4	3	2	1
22 近所づきあいがしやすい	5	4	3	2	1
23 地域の人々の交流が活発である	5	4	3	2	1

◆ 現在の居住地と高松市を比較してください

問 6 現在の居住地と高松市で居住していた時を比較してお答えください。
 以下のそれぞれの項目について、どのように感じますか？ (それぞれ1つを選んで○)
 また、高松市より現在の居住地の方が、特に良いと感じるものがあれば、具体的な内容を記載してください。

	高松市が良い ←			→ 現在の居住地が良い		
	高松市の方が良かった	高松市の方がやや良かった	どちらともいえない	現在の方がやや良い	現在の方が良い	わからない
1 自然環境が保たれている	6	5	4	3	2	1
2 緑の環境	6	5	4	3	2	1
3 生活衛生環境がよい	6	5	4	3	2	1
4 住宅事情がよい	6	5	4	3	2	1
5 就業の場に恵まれている	6	5	4	3	2	1
6 余暇活動・レジャーが楽しめる	6	5	4	3	2	1
7 買物が便利である	6	5	4	3	2	1
8 まちのにぎわいがある	6	5	4	3	2	1
9 公共交通機関が便利である	6	5	4	3	2	1
10 道路が整備されている	6	5	4	3	2	1
11 建物や街並みの景観が整っている	6	5	4	3	2	1
12 子育てが安心してできる	6	5	4	3	2	1
13 教育水準が高い	6	5	4	3	2	1
14 生涯学習の機会が豊富である	6	5	4	3	2	1
15 芸術文化活動がしやすい	6	5	4	3	2	1
16 スポーツ活動がしやすい	6	5	4	3	2	1
17 医療・保健が充実している	6	5	4	3	2	1
18 福祉が充実している	6	5	4	3	2	1
19 交通安全対策が充実している	6	5	4	3	2	1
20 災害に対して安全である	6	5	4	3	2	1
21 公共サービスが行き届いている	6	5	4	3	2	1
22 近所づきあいがしやすい	6	5	4	3	2	1
23 地域の人々の交流が活発である	6	5	4	3	2	1

問 10 <問 7 で、2 を選択した方にお伺いします。>

できない理由は何ですか？（差支えない範囲でお答えください）

人口減少対策やまちづくりに関することで御意見がありましたら、自由に御記入ください。

質問は以上です。御協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、**7月 21 日 (火)**までに郵便ポストに投函してください。

たかまつ創生総合戦略(仮称)に関するアンケート

高松市では、今後、人口が減少していくことが予想されており、人口減少の克服と地域活力向上のための目標や具体的な施策を示す、「たかまつ創生総合戦略(仮称)」の策定を進めています。

その中で、高齢者を含めた移住対策や、産業振興などにより安定した雇用を創出し、若者から選ばれることで、ひとを呼び込む、人口の減少を抑制する取組のほか、地域と連携し、健やかで心豊かに、そして安心して暮らし続けることができる地域社会を創る取組を検討していく予定です。

そこで、将来を担う、大学生の皆さんの意見をお聞きし、参考とさせていただくため、アンケート調査を行うものです。

調査にご協力いただきますようお願いいたします。

平成27年7月

高松市長 大西 秀人

【ご記入をいただく前にお読みください】

1. 回答の結果は、全て統計的に処理し、調査票に記入された個々の内容や、あなたに関する個人データが、本調査以外の目的に使用されることは一切ありません。
2. 回答方式は、あてはまる番号に○印をつけていただくものが大半となっています。
3. 本調査は、あなた個人を対象としているものです。ご本人のお考えに基づいてご記入ください。
4. 本調査の内容等についてご不明な点などございましたら、お手数ですが、下記までご連絡ください。

高松市役所 市民政策局 政策課 TEL : 839-2135

FAX : 839-2125

e-mail

seisaku@city.takamatsu.lg.jp

◆「あなた自身のこと」についてお聞きします。

問1 それぞれの内容についてお答えください。

<p>(1) あなたの性別をお答えください。 <u>(1つを選んで○)</u></p>	<p>1 男性 2 女性</p>
<p>(2) あなたの学年・年齢をお答えください。</p>	<p>_____年 (現在) 満_____歳 (平成27年1月1日現在)</p>
<p>(3) あなたの居住地をお答えください<u>(1つを選んで○)</u></p> <p>選択した項目に合わせて、 記入をお願いします。</p>	<p>1 高松市内 _____町 (____丁目) 2 香川県内 (高松市以外) (市町名: _____) 3 その他 (_____ 都道府県 市区町村)</p>
<p>(4) あなたの出身地をお答えください。(1つを選んで○)</p> <p>選択した項目に合わせて、 記入をお願いします。</p>	<p>1 居住地と同じ市町村 (以下、居住地と違う場合) 2 香川県内 (高松市以外) (市町名: _____) 3 その他 (_____ 都道府県 市区町村)</p>
<p>(5) 現在の居住地での居住年数をお答えください。 <u>(1つを選んで○)</u></p>	<p>1 1年未満 2 1年以上5年未満 3 5年以上10年未満 4 10年以上</p>
<p>(6) 現在の居住地での家族構成をお答えください。 <u>(1つを選んで○)</u></p>	<p>1 単身 2 親子 3 三世代 (親、子、孫) 4 その他 (_____)</p>
<p>(7) 市内企業へのインターンシップ (職場体験) の有無をお答えください。<u>(1つを選んで○)</u></p>	<p>1 ある (複数社) 2 ない (今後行く予定) 3 ない (今後も行かない予定)</p>
<p>(8) 県内企業 (高松市以外) へのインターンシップ (職場体験) の有無をお答えください。 <u>(1つを選んで○)</u></p>	<p>1 ある (複数社) 2 ない (今後行く予定) 3 ない (今後も行かない予定)</p>

◆「生まれ育った地域」と「高松のまち」についてお聞きします。

問2 あなたは生まれ育った地域（出身の市区町村）が好きですか？（1つを選んで○）

1 とても好き	2 好き	3 ふつう
4 あまり好きではない	5 好きではない	

問3 今の高松のまちに対してどの程度満足していますか？（a～wまでの項目について、それぞれ数字を1つを選んで○）

項 目	満 足	満 足 や や	ふ つ う	不 満 や や	不 満	な い わ か ら
例 （記載例）●●環境	6	5	4	3	2	1
a 自然環境	6	5	4	3	2	1
b 緑の環境	6	5	4	3	2	1
c 生活衛生環境	6	5	4	3	2	1
d 住宅事情	6	5	4	3	2	1
e 就業の場	6	5	4	3	2	1
f 余暇活動・レジャー	6	5	4	3	2	1
g 買物の利便性	6	5	4	3	2	1
h まちのにぎわい	6	5	4	3	2	1
i 公共交通機関の利便性	6	5	4	3	2	1
j 道路の整備状況	6	5	4	3	2	1
k 建物や街並みの景観	6	5	4	3	2	1
l 子育て環境	6	5	4	3	2	1
m 教育水準	6	5	4	3	2	1
n 生涯学習の機会	6	5	4	3	2	1
o 芸術文化活動	6	5	4	3	2	1
p スポーツ活動	6	5	4	3	2	1
q 医療・保健	6	5	4	3	2	1
r 福祉	6	5	4	3	2	1
s 交通安全対策	6	5	4	3	2	1
t 災害への備え	6	5	4	3	2	1
u 公共サービス	6	5	4	3	2	1
v 近所づきあい	6	5	4	3	2	1
w 地域の人々の交流	6	5	4	3	2	1

問4 問3の項目のうち、高松市の魅力や誇れるものは何だと思いますか？
該当する番号に○をしてください。 (3つまで選んで○)

1 自然環境	2 緑の環境	3 生活衛生環境
4 住宅事情	5 就業の場	6 余暇活動・レジャー
7 買物の利便性	8 まちのにぎわい	9 公共交通機関の利便性
10 道路の整備状況	11 建物や街並みの景観	12 子育て環境
13 教育水準	14 生涯学習の機会	15 芸術文化活動
16 スポーツ活動	17 医療・保健	18 福祉
19 交通安全対策	20 災害への備え	21 公共サービス
22 近所づきあい	23 地域の人々の交流	

◆「居住地の選択」についてお聞きします。

問5 居住地を選択できるとした時に重視することは何ですか？ (それぞれ1つを選んで○)

	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例 (記載例) ●●がよい	5	4	3	2	1
a 自然環境が保たれている	5	4	3	2	1
b 緑の環境	5	4	3	2	1
c 生活衛生環境がよい	5	4	3	2	1
d 住宅事情がよい	5	4	3	2	1
e 就業の場に恵まれている	5	4	3	2	1
f 余暇活動・レジャーが楽しめる	5	4	3	2	1
g 買物が便利である	5	4	3	2	1
h まちのにぎわいがある	5	4	3	2	1
i 公共交通機関が便利である	5	4	3	2	1
j 道路が整備されている	5	4	3	2	1
k 建物や街並みの景観が整っている	5	4	3	2	1
l 子育てが安心してできる	5	4	3	2	1
m 教育水準が高い	5	4	3	2	1

	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
n 生涯学習の機会が豊富である	5	4	3	2	1
o 芸術文化活動がしやすい	5	4	3	2	1
p スポーツ活動がしやすい	5	4	3	2	1
q 医療・保健が充実している	5	4	3	2	1
r 福祉が充実している	5	4	3	2	1
s 交通安全対策が充実している	5	4	3	2	1
t 災害に対して安全である	5	4	3	2	1
u 公共サービスが行き届いている	5	4	3	2	1
v 近所づきあいがしやすい	5	4	3	2	1
w 地域の人々の交流が活発である	5	4	3	2	1

◆「卒業後のこと」についてお聞きします。

問6 卒業後の進路の希望についておたずねします。 (1つを選んで○)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 進学 | 2 就職 |
| 3 自分で会社をつくる | 4 家業を継ぐ(家業を手伝う) |
| 5 すぐに結婚して専業主婦・主夫になる | 6 わからない |
| 7 その他 () | |

問7 卒業後の居住予定地についておたずねします(1つを選んで○)。選択した項目に合わせて記入をお願いします。

- | | |
|--------------------|--|
| 1 高松市内 | |
| 2 高松市以外の県内(市町名:) | |
| 3 県外(都道府県・市区町村名:) | |
| 4 わからない | |

◆「将来の結婚と子育て」についてお聞きします。

問13 将来の結婚について、どのようにお考えですか？

あなたの考えに近いものをお選びください。 (1つを選んで○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 結婚するつもりである | 2 必ずしも結婚にこだわらない |
| 3 結婚したくない | 4 わからない |
| 5 その他 () | |

問14 将来の子育てについて、どのようなイメージを持っていますか？ (2つまで選んで○)

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1 楽しい | 2 にぎやか | 3 充実感がある |
| 4 お金がかかる | 5 時間がとられる | 6 不安がある |
| 7 その他 () | | |

問15 あなたにとって、将来の理想的な子どもの数を記入してください。

人

人口減少対策やまちづくりに関することでご意見がありましたら、自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

たかまつ創生総合戦略(仮称)に関するアンケート

高松市では、今後、人口が減少していくことが予想されており、人口減少の克服と地域活力向上のための目標や具体的な施策を示す、「たかまつ創生総合戦略(仮称)」の策定を進めています。

その中で、高齢者を含めた移住対策や、産業振興などにより安定した雇用を創出し、若者から選ばれることで、ひとを呼び込む、人口の減少を抑制する取組のほか、地域と連携し、健やかで心豊かに、そして安心して暮らし続けることができる地域社会を創る取組を検討していく予定です。

そこで、将来を担う、高校3年生の皆さんの意見をお聞きし、参考とさせていただくため、アンケート調査を行うものです。

調査にご協力いただきますようお願いいたします。

平成27年7月

高松市長 大西 秀人

【ご記入をいただく前にお読みください】

1. 回答の結果は、全て統計的に処理し、調査票に記入された個々の内容や、あなたに関する個人データが、本調査以外の目的に使用されることは一切ありません。
2. 回答方式は、あてはまる番号に○印をつけていただくものが大半となっています。
3. 本調査は、あなた個人を対象としているものです。ご本人のお考えに基づいてご記入ください。
4. 本調査の内容等についてご不明な点などございましたら、お手数ですが、下記までご連絡ください。

高松市役所 市民政策局 政策課 TEL : 839-2135

FAX : 839-2125

e-mail

seisaku@city.takamatsu.lg.jp

◆「あなた自身のこと」についてお聞きします。

問1 それぞれの内容についてお答えください。

<p>(1) あなたの性別をお答えください。 <u>(1つを選んで○)</u></p>	<p>1 男性 2 女性</p>
<p>(2) あなたの居住地をお答えください <u>(1つを選んで○)</u></p> <p>選択した項目に合わせて、 記入をお願いします。</p>	<p>1 高松市内 _____ 町 (_____ 丁目)</p> <p>2 香川県内 (高松市以外) (市町名: _____)</p> <p>3 その他 (_____ 都道府県 市区町村)</p>
<p>(3) あなたの出身地をお答えください。 <u>(1つを選んで○)</u></p> <p>選択した項目に合わせて、 記入をお願いします。</p>	<p>1 居住地と同じ市町村 (以下、居住地と違う場合)</p> <p>2 香川県内 (高松市以外) (市町名: _____)</p> <p>3 その他 (_____ 都道府県 市区町村)</p>
<p>(4) 現在の居住地での居住年数 をお答えください。 <u>(1つを選んで○)</u></p>	<p>1 1年未満 2 1年以上5年未満</p> <p>3 5年以上10年未満 4 10年以上</p>
<p>(5) あなたの家族構成をお答え ください。 <u>(1つを選んで○)</u></p>	<p>1 単身 2 親子</p> <p>3 三世代 (親、子、孫)</p> <p>4 その他 (_____)</p>
<p>(6) 市内企業へのインターンシ ップ (職場体験) の有無をお答 えください。 <u>(1つを選んで○)</u></p>	<p>1 ある (複数社) 2 ない (今後行く予定)</p> <p>3 ない (今後も行かない予定)</p>
<p>(7) 県内企業 (高松市以外) への インターンシップ (職場体験) の有無をお答えください。 <u>(1つを選んで○)</u></p>	<p>1 ある (複数社) 2 ない (今後行く予定)</p> <p>3 ない (今後も行かない予定)</p>

◆「生まれ育った地域」と「高松のまち」についてお聞きします。

問2 あなたは生まれ育った地域（出身の市区町村）が好きですか？（1つを選んで○）

1 とても好き	2 好き	3 ふつう
4 あまり好きではない	5 好きではない	

問3 今の高松のまちに対してどの程度満足していますか？（a～wまでの項目について、それぞれ数字を1つ選んで○）

項目	満足	満足 やや	ふつう	不満 やや	不満	わからない
例 (記載例) ●●環境	6	5	4	3	2	1
a 自然環境	6	5	4	3	2	1
b 緑の環境	6	5	4	3	2	1
c 生活衛生環境	6	5	4	3	2	1
d 住宅事情(家を買う・借りる)	6	5	4	3	2	1
e 就業の場	6	5	4	3	2	1
f 余暇活動・レジャー	6	5	4	3	2	1
g 買物の利便性	6	5	4	3	2	1
h まちのにぎわい	6	5	4	3	2	1
i 公共交通機関の利便性	6	5	4	3	2	1
j 道路の整備状況	6	5	4	3	2	1
k 建物や街並みの景観	6	5	4	3	2	1
l 子育て環境	6	5	4	3	2	1
m 教育水準	6	5	4	3	2	1
n 生涯学習の機会	6	5	4	3	2	1
o 芸術文化活動	6	5	4	3	2	1
p スポーツ活動	6	5	4	3	2	1
q 医療・保健	6	5	4	3	2	1
r 福祉	6	5	4	3	2	1
s 交通安全対策	6	5	4	3	2	1
t 災害への備え	6	5	4	3	2	1
u 公共サービス	6	5	4	3	2	1
v 近所づきあい	6	5	4	3	2	1
w 地域の人々の交流	6	5	4	3	2	1

問4 問3の項目のうち、高松市の魅力や誇れるものは何だと思いますか？
該当する番号に○をしてください。 (3つまで選んで○)

1 自然環境	2 緑の環境	3 生活衛生環境
4 住宅事情	5 就業の場	6 余暇活動・レジャー
7 買物の利便性	8 まちのにぎわい	9 公共交通機関の利便性
10 道路の整備状況	11 建物や街並みの景観	12 子育て環境
13 教育水準	14 生涯学習の機会	15 芸術文化活動
16 スポーツ活動	17 医療・保健	18 福祉
19 交通安全対策	20 災害への備え	21 公共サービス
22 近所づきあい	23 地域の人々の交流	

◆「居住地の選択」についてお聞きします。

問5 居住地を選択できるとした時に重視することは何ですか？ (それぞれ1つを選んで○)

	重要	やや重要	どちらとも いえない	あまり重要 でない	重要 でない
例 (記載例) ●●がよい	5	4	3	2	1
a 自然環境が保たれている	5	4	3	2	1
b 緑の環境	5	4	3	2	1
c 生活衛生環境がよい	5	4	3	2	1
d 住宅事情(家を買う・借りる)がよい	5	4	3	2	1
e 就業の場に恵まれている	5	4	3	2	1
f 余暇活動・レジャーが楽しめる	5	4	3	2	1
g 買物が便利である	5	4	3	2	1
h まちのにぎわいがある	5	4	3	2	1
i 公共交通機関が便利である	5	4	3	2	1
j 道路が整備されている	5	4	3	2	1
k 建物や街並みの景観が整っている	5	4	3	2	1
l 子育てが安心してできる	5	4	3	2	1
m 教育水準が高い	5	4	3	2	1
n 生涯学習の機会が豊富である	5	4	3	2	1

	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
o 芸術文化活動がしやすい	5	4	3	2	1
p スポーツ活動がしやすい	5	4	3	2	1
q 医療・保健が充実している	5	4	3	2	1
r 福祉が充実している	5	4	3	2	1
s 交通安全対策が充実している	5	4	3	2	1
t 災害に対して安全である	5	4	3	2	1
u 公共サービスが行き届いている	5	4	3	2	1
v 近所つきあいがしやすい	5	4	3	2	1
w 地域の人々の交流が活発である	5	4	3	2	1

◆「卒業後のこと」についてお聞きします。

問6 高校卒業後の進路の希望についておたずねします。(1つを選んで○)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 進学→問7へ | 2 就職 |
| 3 自分で会社をつくる | 4 家業を継ぐ(家業を手伝う) |
| 5 すぐに結婚して専業主婦・主夫になる | 6 わからない |
| 7 その他 () | |

「進学」以外選択 → 問11へ

問7 第1志望の進学予定先を選び、学部又は学科等を記入してください (1つを選んで○)

- | | | |
|-----------|------|--------|
| 1 大学 | 2 短大 | 3 専門学校 |
| 4 その他 () | | |

【進学予定先の学部又は学科等】

問8 進学先を探そうとする場合、どのようなことを重視しますか？ (3つまで選んで○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 学びたい学部・学科等がある | 2 校風や雰囲気が良い |
| 3 自分の可能性を広げられる | 4 就職に有利である |
| 5 自宅から通える | 6 資格の取得に有利である |
| 7 偏差値が自分に合っている | 8 専門知識を深く学べる |
| 9 将来の選択肢が増える | 10 学生生活が楽しめる |
| 11 学習しやすい環境が整っている | 12 伝統や実績がある |
| 13 学費が低い | 14 教授・講師陣が魅力的である |
| 15 その他 () | |

問9 問7で記入した進学予定先は県内・県外ですか？
県外の場合は都道府県名を記入してください。

- | | | |
|------|----------|-------|
| 1 県内 | 2 県外 () | 都道府県) |
|------|----------|-------|

問10 県内にある大学の情報を得たことがありますか？ (1つを選んで○)

- | | | |
|------|-----------------|-----------------|
| 1 ある | 2 ない (調べる予定はある) | 3 ない (調べる予定もない) |
|------|-----------------|-----------------|

問11 高校卒業後 (進学予定者は大学等卒業後) の居住予定地についておたずねします。
(1つを選んで○) 選択した項目に合わせて記入をお願いします。

- | | |
|----------------------|--|
| 1 高松市内 | |
| 2 高松市以外の県内 (市町名 :) | |
| 3 県外 (都道府県・市区町村名 :) | |
| 4 わからない | |

問12 問11の居住地を選んだ理由は何ですか？ (2つまで選んで○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 進学希望の学校があるから | 2 希望する就職先の企業があるから |
| 3 魅力のある都市があるから | 4 自分の出身地であるから |
| 5 両親 (親戚) が住んでいるから | 6 生活費が安いから |
| 7 生活する上で利便性が高いから | 8 その他 () |

問 13 就職（将来も含む）を希望する業種についておたずねします。 （1つを選んで○）

1 農林業	2 水産業	3 サービス業	4 建設業
5 公務	6 教員・研究員	7 製造業	8 情報・通信業
9 運輸業・郵便業	10 金融業・保険業	11 医療・福祉業	12 電気・ガス・水道
13 卸売業・小売業	14 不動産業	15 まだ決めていない	
16 その他(具体的に:)

問 14 就職先を探そうとする場合、どのようなことを重視しますか？ （3つまで選んで○）

1 大企業（有名企業）である	2 自分の技術や資格を活かせる
3 自分の夢を実現できる	4 人や地域のためになる
5 雇用が安定している（将来性がある）	6 高収入である
7 男女格差がない	8 <u>福利厚生</u> が充実している
9 残業が少ない	10 休みがとりやすい
11 高度な技術がある	12 通勤が便利（転勤がない）
13 先輩や友人がいる	14 就職先周辺の住環境が良い
15 その他（	）

【福利厚生】企業が従業員やその家族に対して実施する社宅・社員寮などの制度

問 15 高松市内に、問 14 で選択した項目を満たす企業はありますか？ （1つを選んで○）

1 ある（複数社）	2 ある（1社）	3 ない	4 わからない
-----------	----------	------	---------

問 16 高松市内の企業の就職情報を得たことがありますか？ （1つを選んで○）

また、「1 ある」と回答した方は、どのような手段でその情報を得たかをお答えください。

1 ある]
[どのような手段で得ましたか？	
2 ない（調べる予定はある）	
3 ない（調べる予定もない）	

◆「将来の結婚と子育て」についてお聞きします。

問17 将来の結婚について、どのようにお考えですか？

あなたの考えに近いものをお選びください。 (1つを選んで○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 結婚するつもりである | 2 必ずしも結婚にこだわらない |
| 3 結婚したくない | 4 わからない |
| 5 その他 () | |

問18 将来の子育てについて、どのようなイメージを持っていますか？ (2つまで選んで○)

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1 楽しい | 2 にぎやか | 3 充実感がある |
| 4 お金がかかる | 5 時間がとられる | 6 不安がある |
| 7 その他 () | | |

問19 あなたにとって、将来の理想的な子どもの数を記入してください。

人

人口減少対策やまちづくりに関することでご意見がありましたら、自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	第 1 回たかまつ創生総合戦略懇談会
開催日時	平成 27 年 6 月 16 日（火）19 時 00 分～21 時 00 分
開催場所	高松市役所 1 3 階 大会議室
議 題	(1) 会長・副会長の選任について (2) たかまつ創生総合戦略（仮称）について (3) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員 （22 名）	上田委員、上原委員、国見委員、糸井委員、桑村委員、坂口委員、白薊委員、鈴木委員、高嶋委員、滝川委員、佃委員、徳倉委員、中橋委員、西岡委員、野田委員、花澤委員、原委員、藤本委員、古川委員、槇田委員、柳委員、頼富委員、淀谷オブザーバー
傍 聴 者	3 人 （定員 1 0 人）
担当課及び連絡先	政策課 839-2135

会議の経過及び結果

会議の冒頭、委嘱状を交付し、市長からの挨拶の後、議事に移った。

(1) 会長・副会長の選任について

たかまつ創生総合戦略懇談会設置要綱第 4 条第 1 項の規定に基づき、委員の互選により会長、副会長が選任された。なお、たかまつ創生総合戦略懇談会委員に高松市総合計画審議会委員も兼ねてもらうことから、高松市総合計画審議会の会長、副会長も同委員を選任することとした。
会長 佃 昌道 委員 副会長 野田 法子 委員

(2) 会議の公開について

本懇談会では、個人情報等、非公開となるような事項の審議は想定されないことから、今後の会議について公開とすることとした。

(3) たかまつ創生総合戦略（仮称）について

事務局から、本市の人口推移及び人口推計（シミュレーション）、本市の創生総合戦略の考え方について説明し、各委員に自己紹介も兼ねて、発言を求めた。

（委員）

ソーシャルワーカーをしているが、この職種は代りがいないため、働きながら子育てをすることは難しい。専門職の女性は育児休業などが取得しにくいのが現状である。女性が働きながら子育てしやすい高松市になってほしい。

会議の経過及び結果

(委員)

働きながら、小・中学校で PTA 役員となり、学校と連携し保護者や教師の意見を聞きながら子どもたちのために何ができるかについて考えてきた。また、現在、高松市 P T A 連絡協議会に所属しており、高松市内の小・中学校は学校ごとに活動などが異なるため、様々な方の意見を聞き参考にしながら、学校役員として活動している。

(委員)

地元の中小企業に勤めており、ライフワークで地域のイベントに携わっている。今回のたかまつ創生総合戦略の策定は、全国或いは全世界との戦いであるが、自分たちが住むまちを良いまちにするだけではこの戦いに勝つことはできず、人口増加につながらないと考えている。他のまちにないものは、人と人との交流により経験を積み、他のまちと比較しないと気づきにくい。

子どもの頃、高松市は面白くなく退屈なまちだと感じていたが、ある雑誌で「地方で輝く都市」に入っていた。そして、気がつくともみやすく明るく楽しいまちになっていた。

現在、どこの地方も頑張っているが、どのように高松市を売り出せば関心を持ってもらえ、移住や定住が促進できるかについて共有できる価値を明文化する作業が必要である。内実を固めるとともに宣伝にも積極的に取り組んでいく必要がある。

(委員)

地元紙では幸福学を紙面で紹介しており、様々な各種アンケートも実施している。あるアンケートで、香川県は男性が下位から 7～8 番目であり、女性は下位から 2 番目であった。その理由は、災害が少なく、温暖であり、商店街もあるなど、自分たちが住んでいるまちの良さに気がついていないことであった。これは、地元紙として反省すべき点であると感じている。人口減少の抑制策として「若者から選ばれるまちづくり」「子どもを生み育てやすいまちづくり」について懇談会で議論を深めていきたい。

(委員)

東京で生まれ育ち平成 27 年 4 月に移住してきたところである。香川県には 12 年前に仕事で住んでいたことがある。現在、地域イベントプロデューサーという肩書きを持ち、フリーランスで仕事をしている。2012 年にサンポート高松トライアスロン大会のエキスカッションのイベントとして、まちを遊ぶイベント「四国お遍路ゲイン」という大会を開催した。東京でフルタイムの仕事をしなが、土日は香川に来てイベントを実施することを繰り返しており、移住したいと考えた。自らの経験を I ターンのサポートとして、役に立てるのではないかと考えている。

また、今後は地域の人が自分のこととして捉えられるようなスポーツ大会が必要になってくると考えている。そこで交通のアクセスが良い高松はスポーツツーリズムとして適した地域であるため、イベントで集客し、観光につなげていくことができればと思う。

会議の経過及び結果

(委員)

建築と都市計画を専門とし、日本の美しい風景を残すために自分ができることは何かと考えていたところ、四国経済産業局で四国4県を取材して回るという仕事の募集を見て、Iターンで2010年に移住した。

若者で知り合いのいない状況で移住したが、4年間、経済産業局で働いた後、独立し食材を届ける情報誌の会社を立ち上げた。このように高松市を選び移住したのは高松市に魅力があるということである。その魅力を発信できればと考えている。ターミナル駅から島まで20分程度で行け、島へのアクセスが良いことが魅力であると感じている。

人口減少が続いているため、地域間連携が非常に重要であると思う。四国では、若者が移住しているポイントがいくつかある。四国全体で人口減少が10年、20年先行しているが、民間活動や中小企業が地域おこしをしている事例も多くあるため、それらを参考にしたい。

(委員)

人口減少をどのように止めていくか、新規の事業創生支援、第二の事業創生支援、地域の中核企業に対する支援など、従業員を増やす施策をすることで、高松市に貢献できればと考えている。三豊市の事例では、廃校になった箱浦小学校に植物工場を誘致し、2、3年後に雇用を生み出せるよう現在取り組んでいる。このように新しい事業を高松市で創生し、人口増加につなげることに貢献できればと考えている。高松市単体ではなく、近隣市町、香川県、四国エリアで地域創生を考えていく必要がある。

(委員)

労働組合の役員をしており、働く人の立場で発言する。人口減少が前提で話が進んでいるが、これは日本全体の問題であると考えている。男性の働き方に問題があるのではないかと考えている。男性の働き方を変える、また、周りからの視点を変えなければ、女性が子どもを生み育てることが難しいと思う。また、地域ではコミュニティの再生が重要であると考えている。

(委員)

現在、高松市内の大学生を育てている立場であり、看護職の養成（特に地域包括ケア）に関わっている。今日の資料を見ると、少子高齢化から人口減少にキーワードが置き換わり、本当に危機であると感じている。「人口が減少したところに繁栄はなし」ということで、市民とこの危機をどのように理解し分かち合うか、どれだけの市民がこの危機を危機として捉えているか疑問である。また、たかまつ創生総合戦略と第6次総合計画の視点があるが、「市民と行政がともに力を発揮できるまち」の項目は全ての視点に必要であり、この危機を市民に発信していくことが必要であると思う。

(委員)

公民館からコミュニティセンターになって約10年が経過した。行政からさまざまな支援をしていただいている。現在、44の協議会があり、今後やるべきことは、各地区校区のコミュニティセンターのネットワーク化である。各協議会が行政と話し合うことが重要であり、縦・横・斜めに情報をより迅速に流すことが重要である。

会議の経過及び結果

(委員)

夫婦ともに高松市の出身であり、平成27年3月末にUターンで高松市に戻ってきた。東京ではメーカーに勤務後、NPO法人ファザーリングジャパンで少子化対策や男女共同参画などに関する活動をしており、平成27年4月に会社を立ち上げた。Uターンや子育て、男女共同参画の切り口からの発言になると思う。

「高松市の良さを可視化する」「当事者意識を持つ」という2つのテーマを持っており、特定の市民だけの話ではなく、全ての市民が当事者意識を持てるような市政や方向性をどのように打ち出すかであると考えている。また、Uターンしたい人は非常に多いため、パワーのある人に帰って来てもらい、起業してもらい雇用を生み出すのが理想的ではないかと考えている。

(委員)

子育て支援活動をしており、また、国のまち・ひと・しごと創生会議や香川県のまち・ひと・しごと創生会議に携わっている。まず「高松らしさ」をどのように打ち出していくかであるが、香川県などでも問題となっているのは少子化と20～39歳までの女性の流出である。

しかし、高松市では、25～39歳は転入超過になっている。県内の移動、四国内の移動が多いということは高松市が四国あるいは香川県の魅力の中心になっているからだと考えられる。

また、今日の資料には「教育」という言葉が少ない印象である。他市と比べて学生が多いため、次世代を担う子どもたちに、まちづくりにかかわってもらおう取組は可能である。そして、教育の中で、高松市の魅力を出来る限り早い段階で伝えたり、魅力的な企業があることを伝えたりする必要がありと考えている。さらに高齢者から子どもたちに魅力を伝えていくこともできると思う。

(委員)

高松市医師会の女性医師部長をしており、高松赤十字病院にいた時、心臓病を持つ胎児の母親に出会った。米国では小児科医は胎児の頃から寄り添うことになっており、家庭医を見つけ、その家庭医は生涯その家族に寄り添っていくという仕組みになっている。

日本では、この制度が国の事業として掲げられているが、実際には進んでいない。このような取組ができていないのは大分県のみである。産婦人科や精神科など日本では様々な障壁があり進んでいないのが現状である。子育てと母親の就業の両立をする上で、小児科医からも批判がくることもあるが、病児保育も必要である。子育て支援のため、親、家庭、学校、地域などの声を届けていけたらと思う。

会議の経過及び結果

(委員)

農業を取り巻く環境は非常に厳しくなっており、昨年6月24日の農林水産業・地域の活力創造プランの改正に伴い、農業や農協に関する改革に取り組んでいる。毎年、優良な農地が住宅に転用されている。

しかし、高松市は、平成24年にコンパクト・エコシティ特区に認められ、農業生産法人要件が4要件から2要件に緩和された。これについては農業への取組がしやすくなったと考えている。高齢化は進んでいるが、いかに若い力を活用していくかが課題であると思う。

香川県の農業は、平成25年4月より香川県1農協という体制になった。これは全国でも最大規模であり、現在、経営管理の高度化を目指して取り組んでいるところである。

また、山口県の周防大島町は日本一高齢化の島と言われているが、最近、若い方の移住が進み、まちが潤ってきていると聞いている。まちがどのように変化してきているか実態を確認したい。

(委員)

地域活性化に貢献する研究をすることを目的として発足した香川大学大学院で研究科長をしている。修了生は300名程度になり、本年度の研究生の35%（3人に1人）は女性が占めている。また、年齢層は様々であり、7割以上が社会人である。修了生に協力してもらい、地域活性化につながる取組をしていければと考えている。

高松市の今後の戦略を考えていくということがテーマであり、高松市の独自性を打ち出したいということであったが、資料に記載されているキーワードは一般的なものであり、高松市の固有性を示す言葉としてはインパクトに欠けていると思う。

また、雇用を生み出すのは産業的な側面であるが、それを感じさせる言葉が中身まで見て行かないと分からないため、高松市の目指すところの発信が十分でないと思う。他市では取り組んでいないような取組に関するアイデアに気づき、特色のある取組につなげてほしいと考えている。

(委員)

四国運輸局企画観光部交通企画課に勤めている。また、国の職員であるため、地方創生を推し進めたいという立場であり、この取組のコンシエルジュにもなっている。

「高松らしさ」の1つとしては、公共交通の良さが考えられるが、国土交通省の施策としては、都市のコンパクトシティ化と公共交通のネットワーク、この両者を一体として取り組んでいくことである。

高松市では全国でも数少ない公共交通利用促進条例を制定しており、昨年、国土交通省の大臣賞を受賞している。このような取組を推し進めることができる総合計画と総合戦略になればと思う。

もう1つは、観光について、人口減少抑制策として整理されているが、一般的に観光は交流人口策であるため、観光施策を打つことで魅力的なまちをつくることは人口減少に対応する戦略、定住人口の減少を交流人口で補うという考え方として整理したほうが具体的な施策に結びつくのではないかと。

会議の経過及び結果

(委員)

人口減少という事象については認識のとおりであるが、人口減少が都市に与えるダメージについての説明が不足していると思う。市民の共通認識として持つておく必要があると思う。

また高松市は、海があり農地があるため、独立しても暮らしていけるまちであるため、世界レベルの食料争奪戦に巻き込まれることがない都市である。このような点をブラッシュアップして戦略を練っていただければと考えている。

(委員)

高松市は、税金が高いが、住みたいまちであると感じている。まず、市長のリーダーシップの発揮により、どこよりも早く手をあげて取り組んでいくこと（例：教育であれば高校の無償化など）が必要であると思う。また、高松市で育った人が一度は出て行っても、戻ってくるのが一番であると思う。

(委員)

高松市では、卸売業や小売業の従業員数や売上が高くなっている。ただし、商業の振興だけでは不十分であるため、製造業の振興が大切である。それについては、基盤整備や中小企業の振興を進めてほしい。

また、就業環境の整備は、都会に出ている学生や地元の学生は、高松市に優良企業があることを知らないし、大学側もそれを伝えることができているため情報発信が必要である。若者に限らず、高松市に戻ってきたい人も多いため、積極的な取組が必要である。さらに、高松市に弱みがある場合は、地域間連携により取組を進めていくのも方法の1つであると考えている。

(委員)

人口減少については、大学進学時に人口が減少する傾向にあるが、高松市には大学があるため、他市にはない優位性があると考えている。しかし、香川県からは25%しか香川大学に入学しておらず、25%は岡山県へ、残り50%は他県となっているため、大学等の魅力向上に取り組む18歳時の転出を抑制することが必要である。

また、香川県の中核企業を育てて働く場をたくさん作ることで、就職のタイミングで帰って来てもらう取組も必要である。特に、女性が働く場が少ないため、対応が必要であると思う。

総合戦略ではKPIを立て、PDCAのCとAをきちんと行うことが重要であると考えている。

会議の経過及び結果

(委員)

高松市婦人団体連絡協議会の会長を務めているが、生活者の視点で活動している地域団体である。現在、多様化していく時代にどのようなことにも対応できる団体になっている。

人口減少の中で女性が子育てをしながらも働きやすい環境の整備、高齢者も働きながら元気で生活できる社会が作れば良いと考えている。人生第1義務教育の時代を生きてきたが、時代が変化し、これからは第2の義務教育で仕切り直して教育が必要であると考えている。シニアリーダーと次世代リーダーの養成が必要になってきているため、学習プログラムを組んでいる。

また、若者に選ばれるまちづくりは良いが、高齢者が選ぶまちづくりはどこにあるか。高齢者が生きやすいまちづくりという視点が必要だと思う。

(委員)

18歳以上の人口の定着は非常に難しいと考えている。その一方で、もう一度学ぶことは大切であり、高齢者等への学びのチャンスはいつでもあれば良いと思う。高齢者がここに住みたいというマインドは大きいいため、教育や地域貢献、医療などを含めた高齢者が住みやすいまちづくりができれば、子どもたちも住みやすいまちづくりにつながるのではないかと考えている。

(オブザーバー)

現在、香川県の総合計画及び総合戦略の策定に携わっている。地域間連携や当事者意識などのキーワードは新たな気づきにつながった。

会長の提案で、次回の会議は、グループに分かれて、ディスカッションを行い、たかまつ創生総合戦略と第6次総合計画との関係やキーワードについて高松市らしさが出ているか、また、基本目標について協議を行うこととした。

(閉会)

たかまつ創生総合戦略（仮称）についての御意見等記載用紙

委員氏名

御意見等がある場合、欠席時はあらかじめ、又は会議開催後 1 週間以内に御提出ください。

送付先 〒760-8571 高松市番町一丁目8番15号
高松市役所・政策課（審議会・懇談会担当）
TEL 839-2135 FAX 839-2125
メールアドレス seisaku@city.takamatsu.lg.jp

たかまつ創生総合戦略（仮称）についての御意見等記載用紙

委員氏名

ページ	項目等	御意見等の内容

御意見等がある場合、欠席時はあらかじめ、又は会議開催後 1 週間以内に御提出ください。

送付先 〒760-8571 高松市番町一丁目8番15号
高松市役所・政策課（審議会・懇談会担当）
TEL 839-2135 FAX 839-2125
メールアドレス seisaku@city.takamatsu.lg.jp

第2回たかまつ創生総合戦略懇談会の流れ（予定）

日時：平成27年7月28日（火） 午後6時30分～

場所：市役所13階 大会議室

1 開会

2 議題

(1) たかまつ創生総合戦略（仮称）の検討について（90分）

- ・ 事務局説明（5分）
- ・ 検討1 施策の基本的方向
- ・ 検討2 「高松らしさ」と具体的な施策

※ グループ（5人×5グループ）に分かれて御協議いただいた後、全体共有します。（グループの編成は、受付時に決定します。）

※ 全体共有した内容への御意見等は、8月上旬に照会する予定です。

(2) その他

3 閉会

高松市 御中

市民意識調査(市民アンケート) 集計結果(速報)

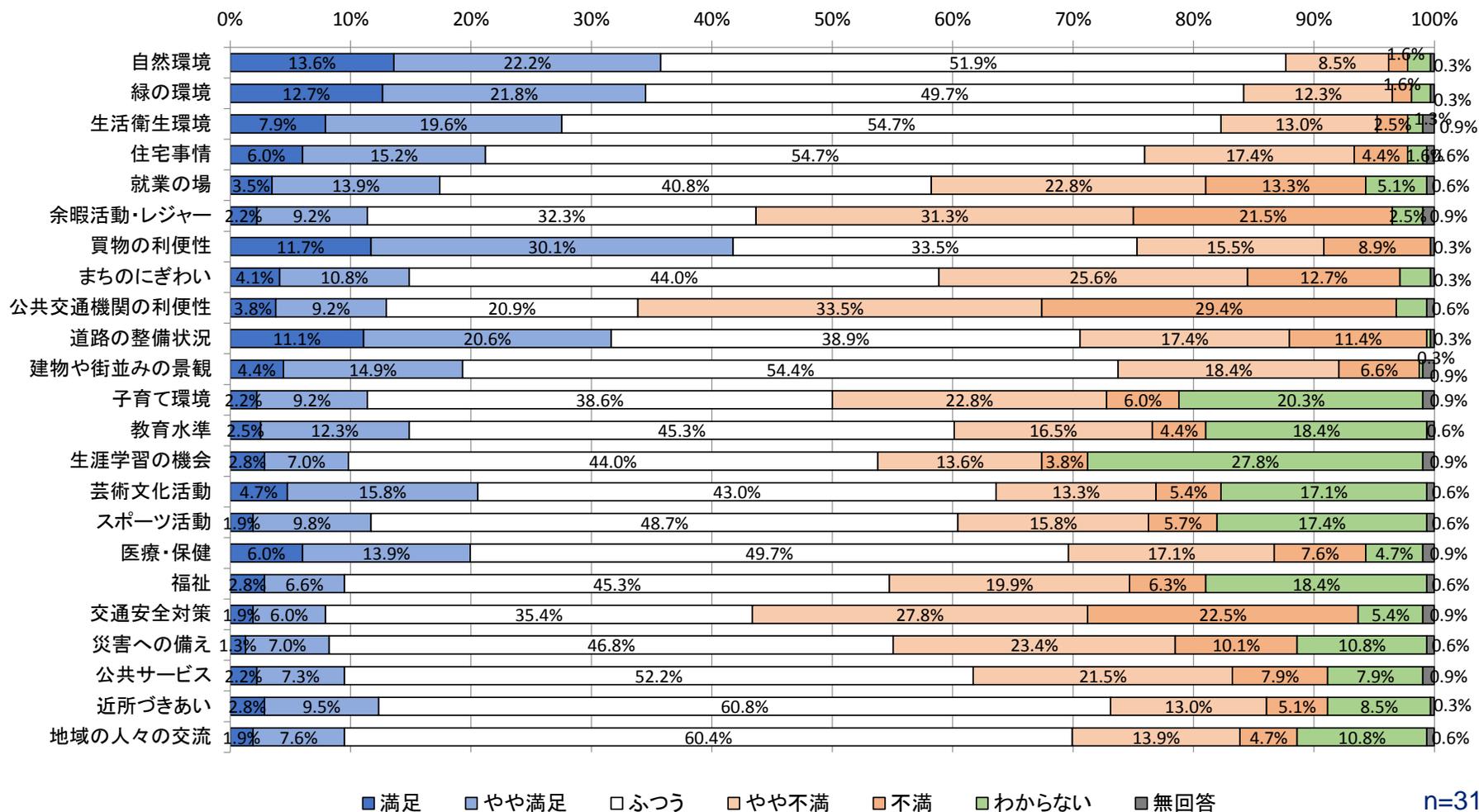
2015年7月23日(木)

有限責任監査法人 トーマツ

期間:7月6日~7月17日市役所到達分まで
郵送数:1,500
回収数:316件(21.1%)
※速報版のため、最終結果ではありません

問1 高松市のまちに対しての満足度

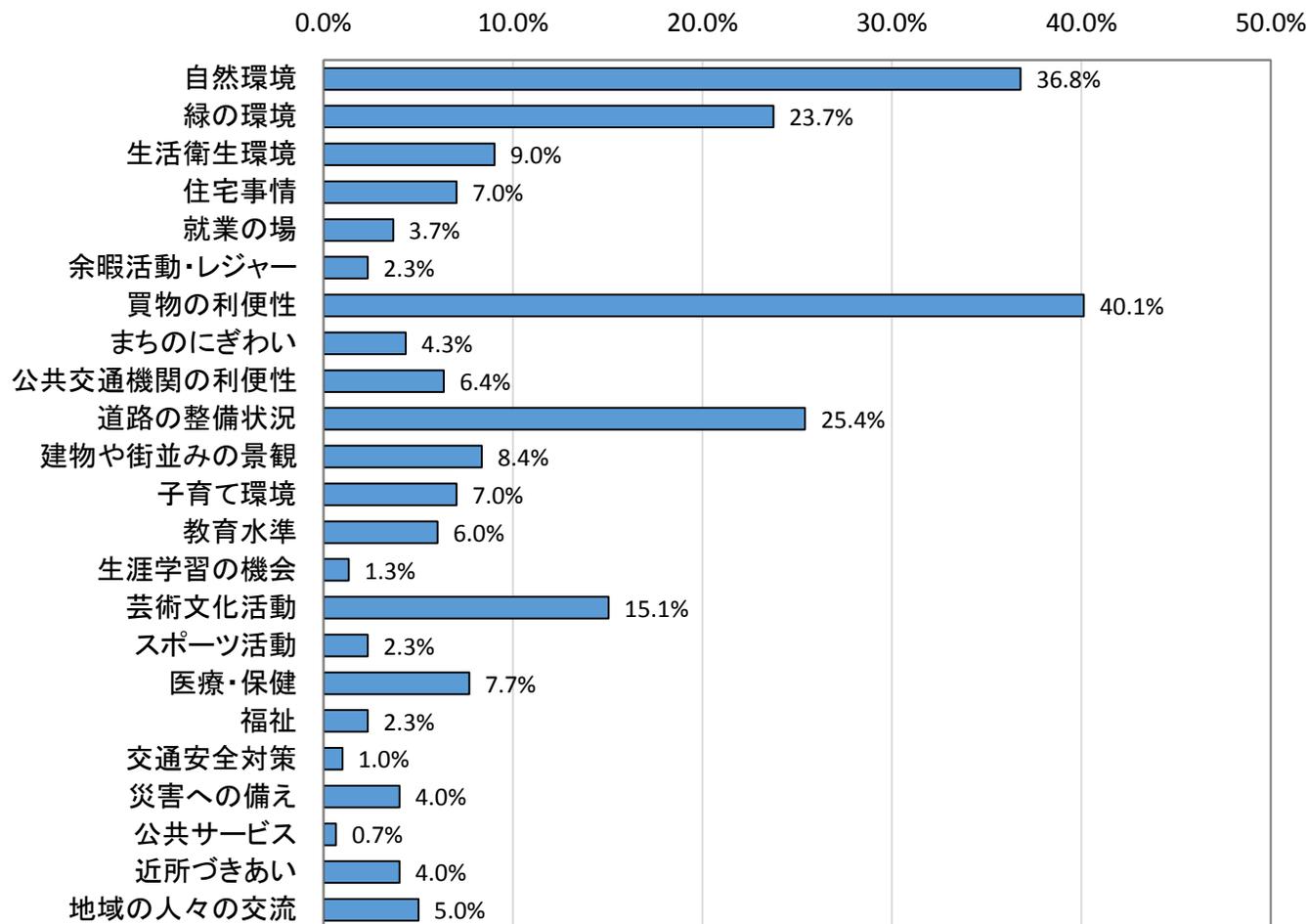
- 「買い物の利便性」、「自然環境」、「緑の環境」、「道路の整備状況」等は満足度が高くなっています。
- 「公共交通機関の利便性」「余暇活動・レジャー」「交通安全対策」等は不満度が高く、満足と回答した人の割合を上回っています。



n=316

問2 高松市の魅力・誇れるもの

- 高松市の魅力・誇れるものとして、「買物の利便性」がもっとも高く、次いで「自然環境」「道路の整備状況」と続いています。

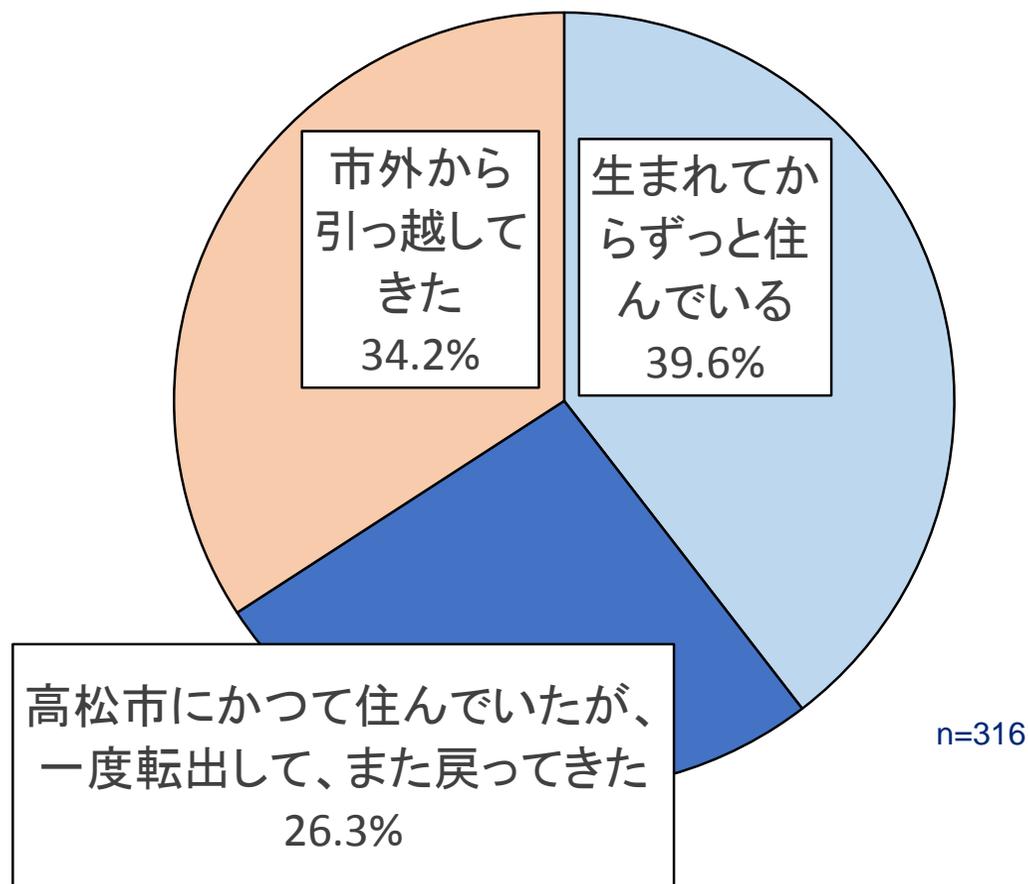


※3つまで選択

n=299

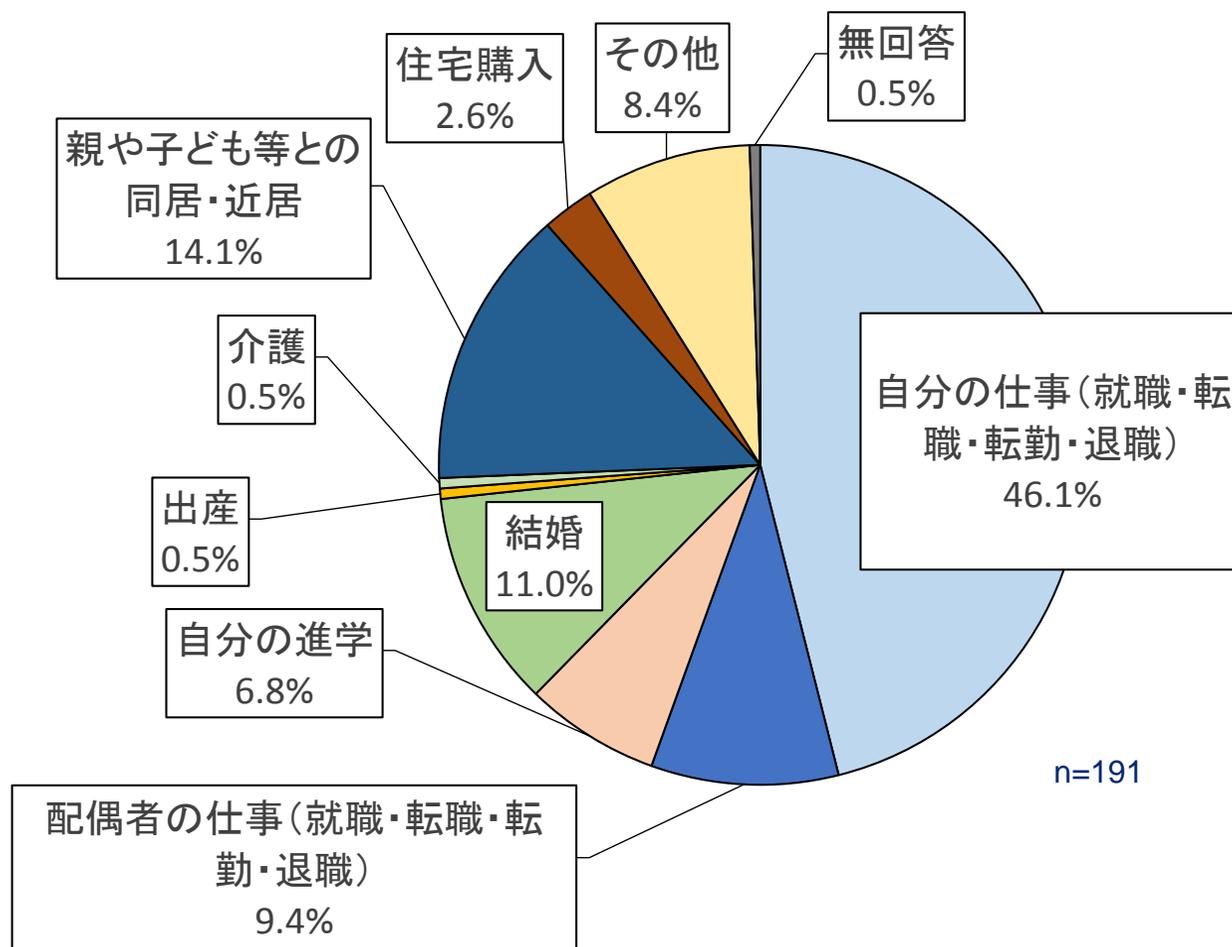
問3 高松市での居住歴

- 「生まれてからずっと住んでいる」が39.6%ともっとも高くなっていますが、「市外から引っ越してきた」「高松市にかつて住んでいたが、一度転出して、また戻ってきた」という回答とあまり大差はありません。



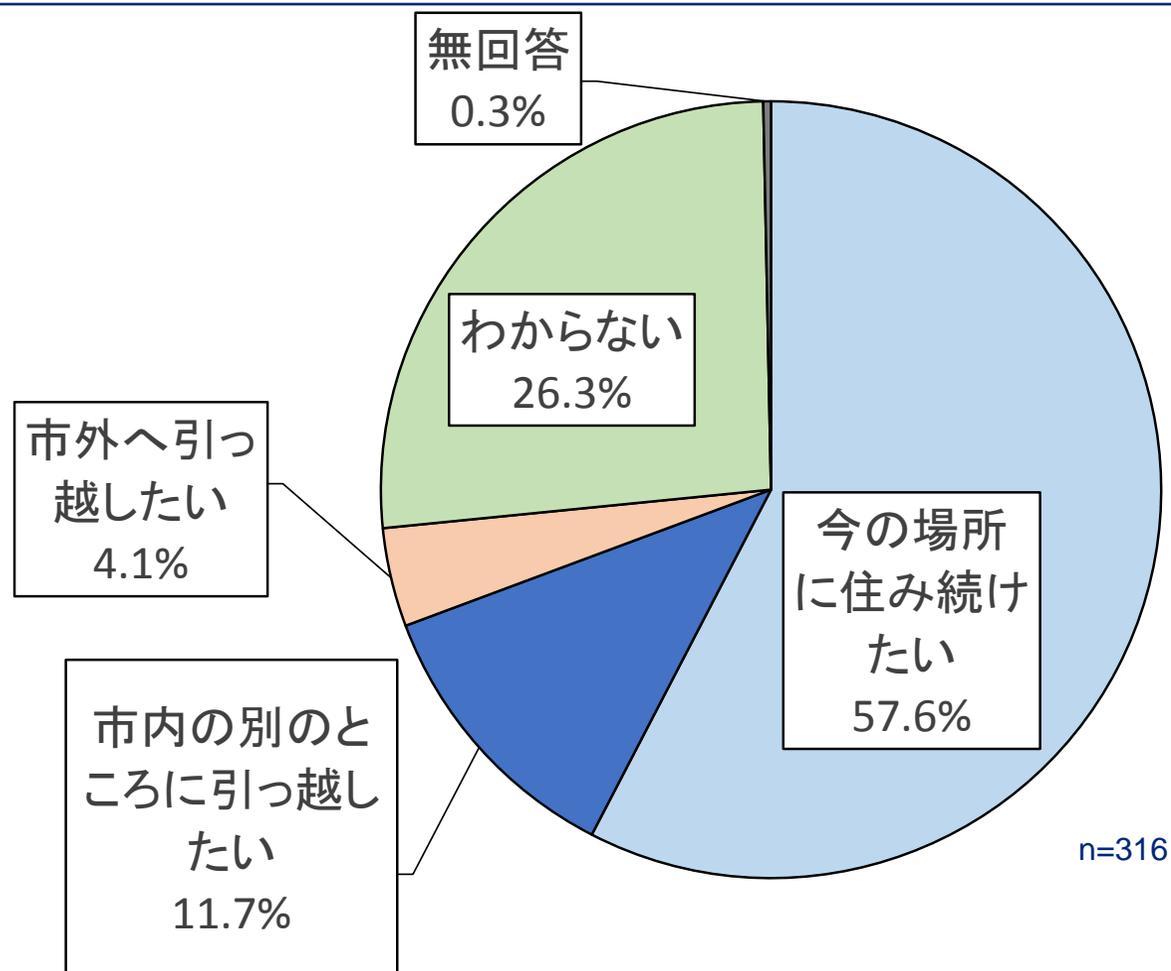
問4 高松市に住むきっかけ

➤ 「自分の仕事(就職・転職・転勤・退職)」を理由とした回答が46.1%と半数近く占めています。



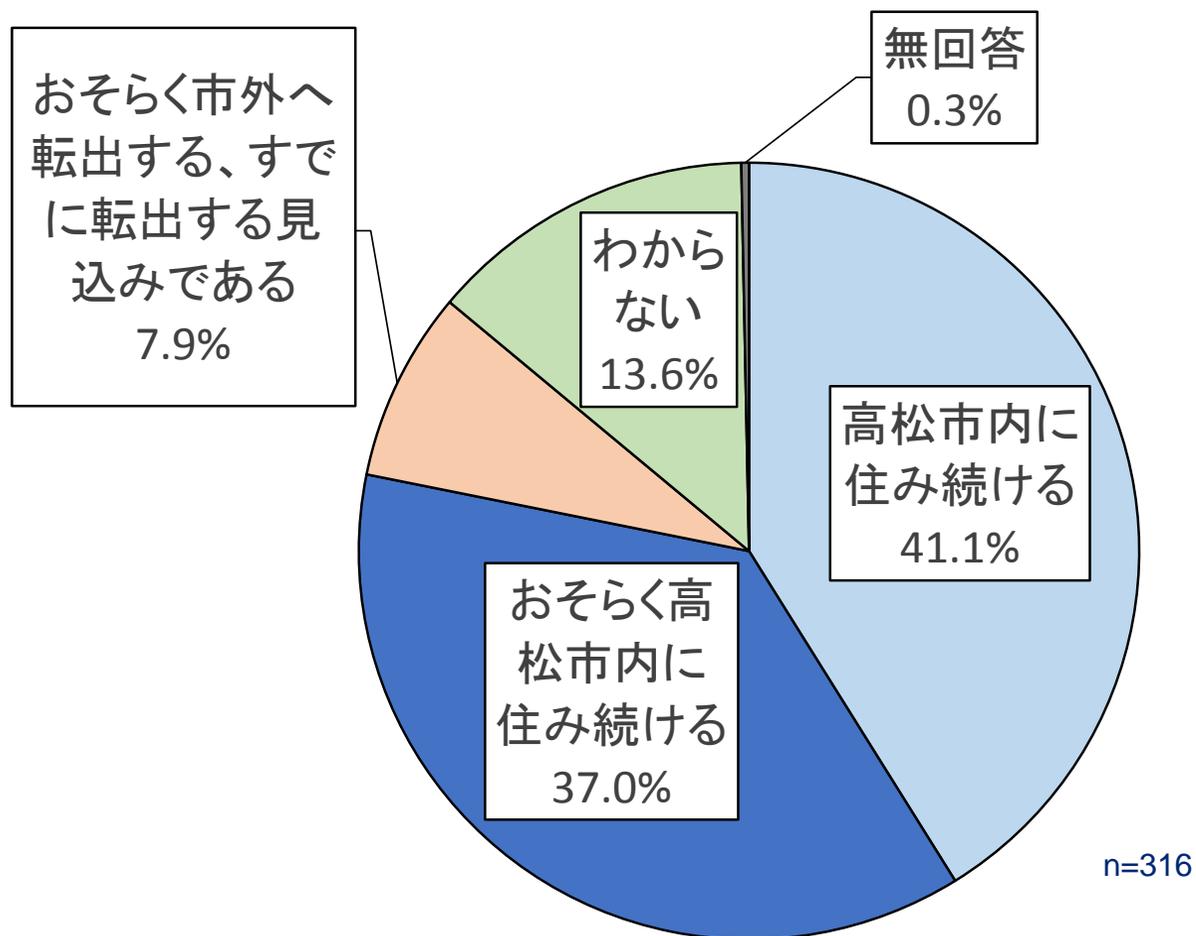
問5 高松市での居住意向(希望)

- 「今の場所に住み続けたい」との回答がもっとも多く、57.6%を占めています。
- 高松市内での居住を継続して希望している市民(今の場所に住み続けたい、市内の別のところに引っ越したい、の合計)は69.3%となっています。



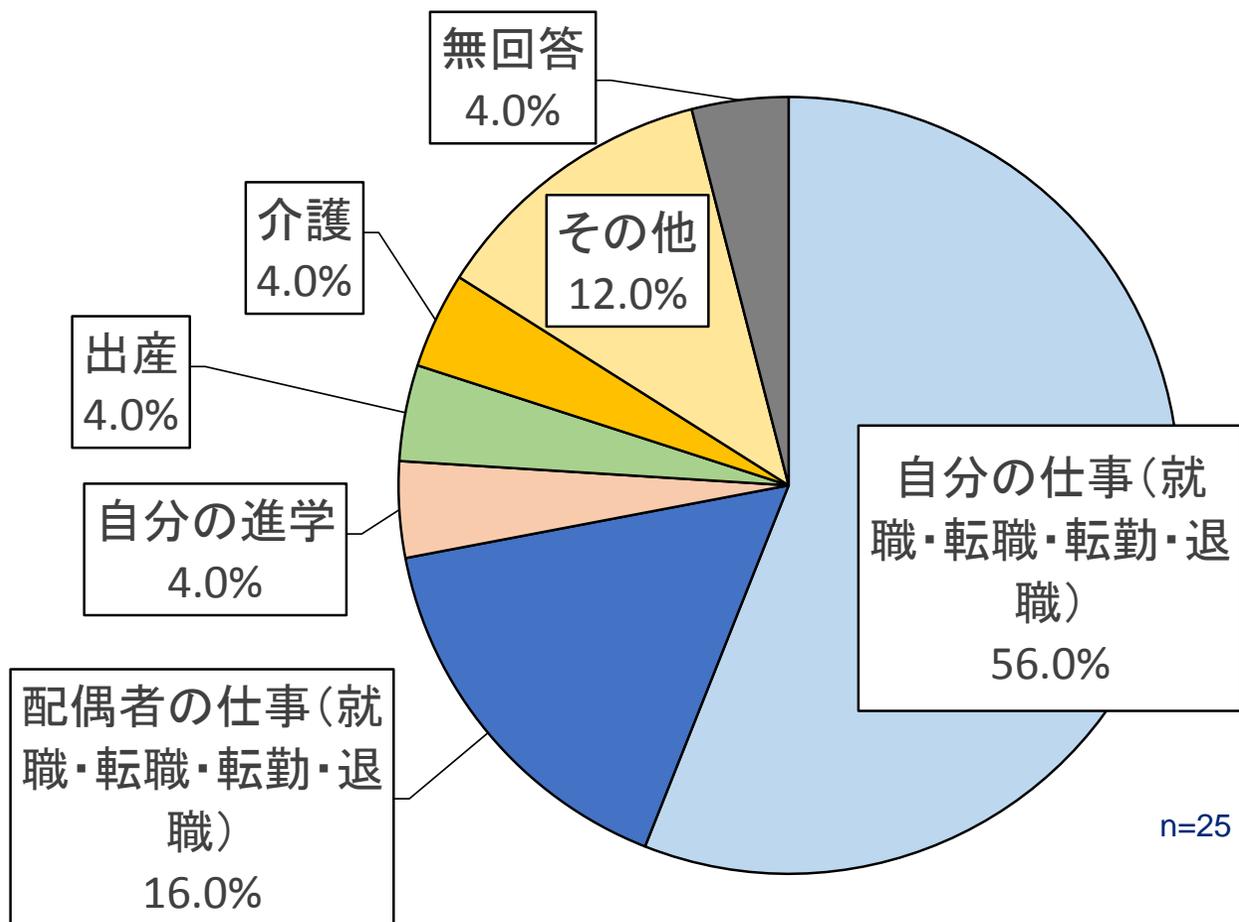
問6 高松市での居住見通し

- 高松市内に住み続ける(高松市内に住み続ける、おそらく高松市内に住み続ける、の合計)と回答した割合は78.1%であり、市外への転出する見込み(7.9%)を大きく上回っています。



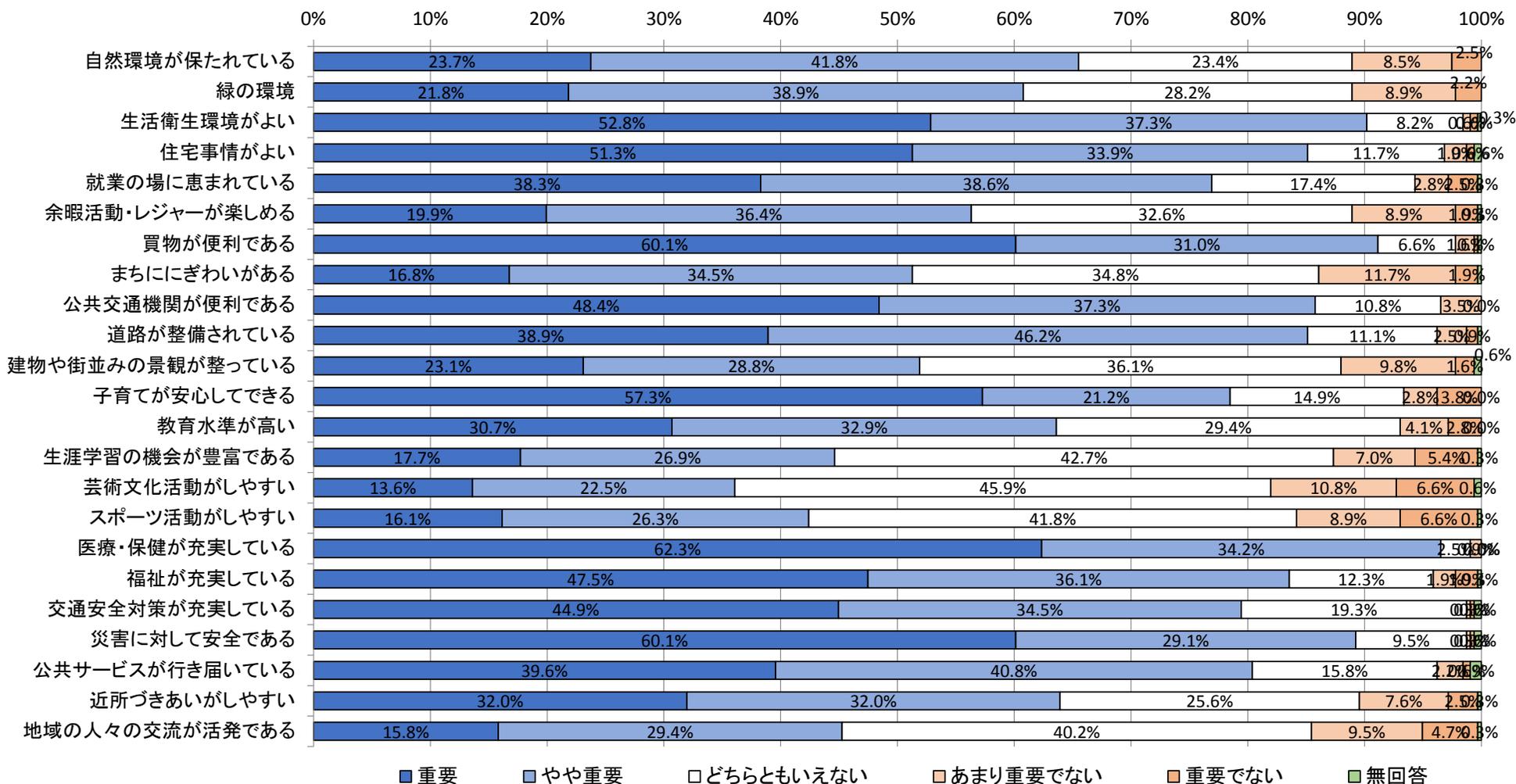
問7 高松市から市外へ転出する理由

➤ 「転出する見込み」と回答した人のうち、半数以上が「自分の仕事の都合」を転出の理由としています。



問8 居住地選択時に重視する点

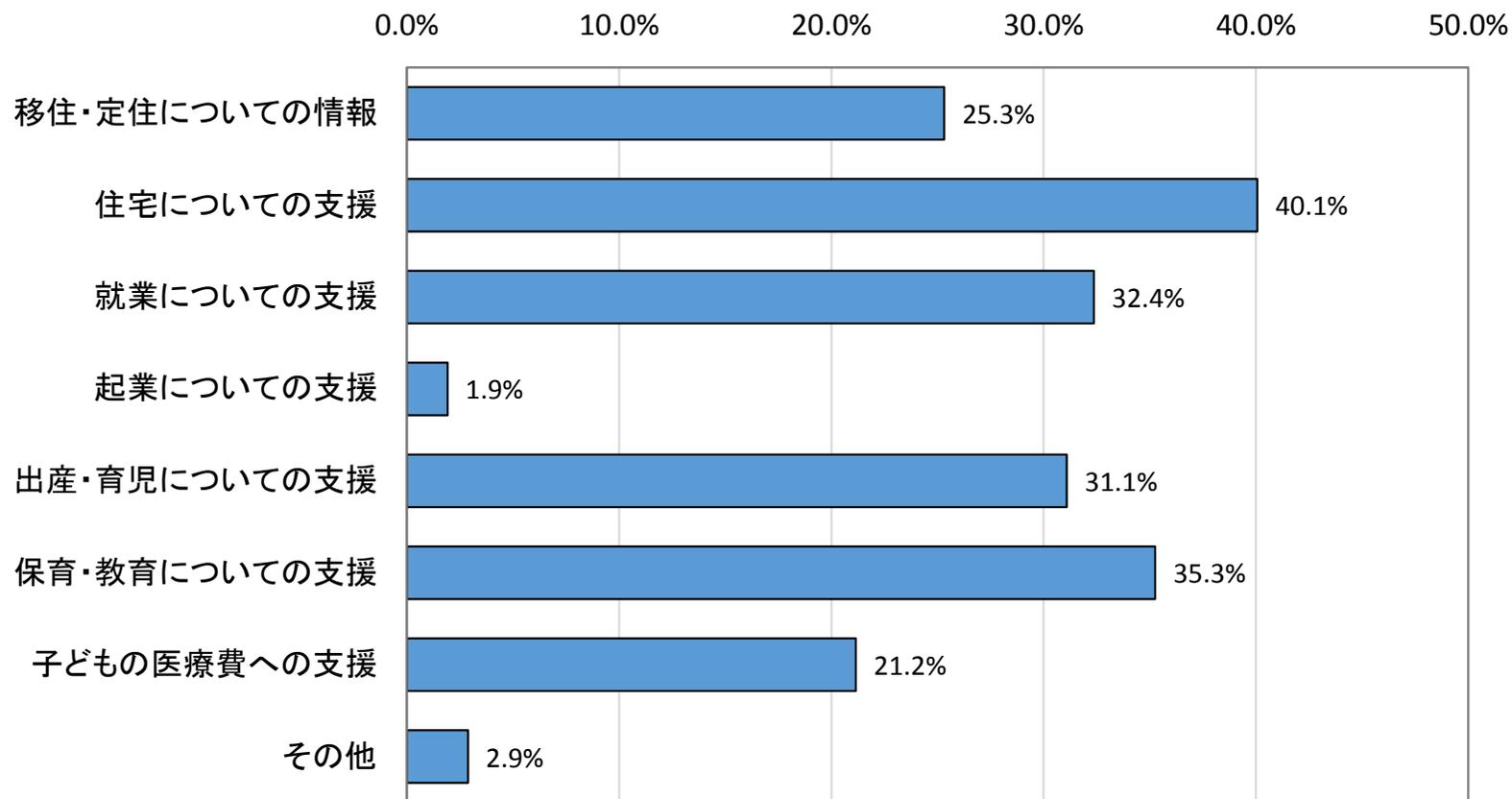
➤ 居住地を選択する際、「医療・保健が充実している」ことを重視するという割合がもっとも高く、次いで「買い物が便利である」「生活衛生環境がよい」と続いています。



n=316

問9 居住地を決定する際の必要な情報・支援

- 居住地を決定する際の必要な情報・支援の内容として、「住宅についての支援」という回答割合がもっとも高く、次いで「保育・教育についての支援」「就業についての支援」と続いています。

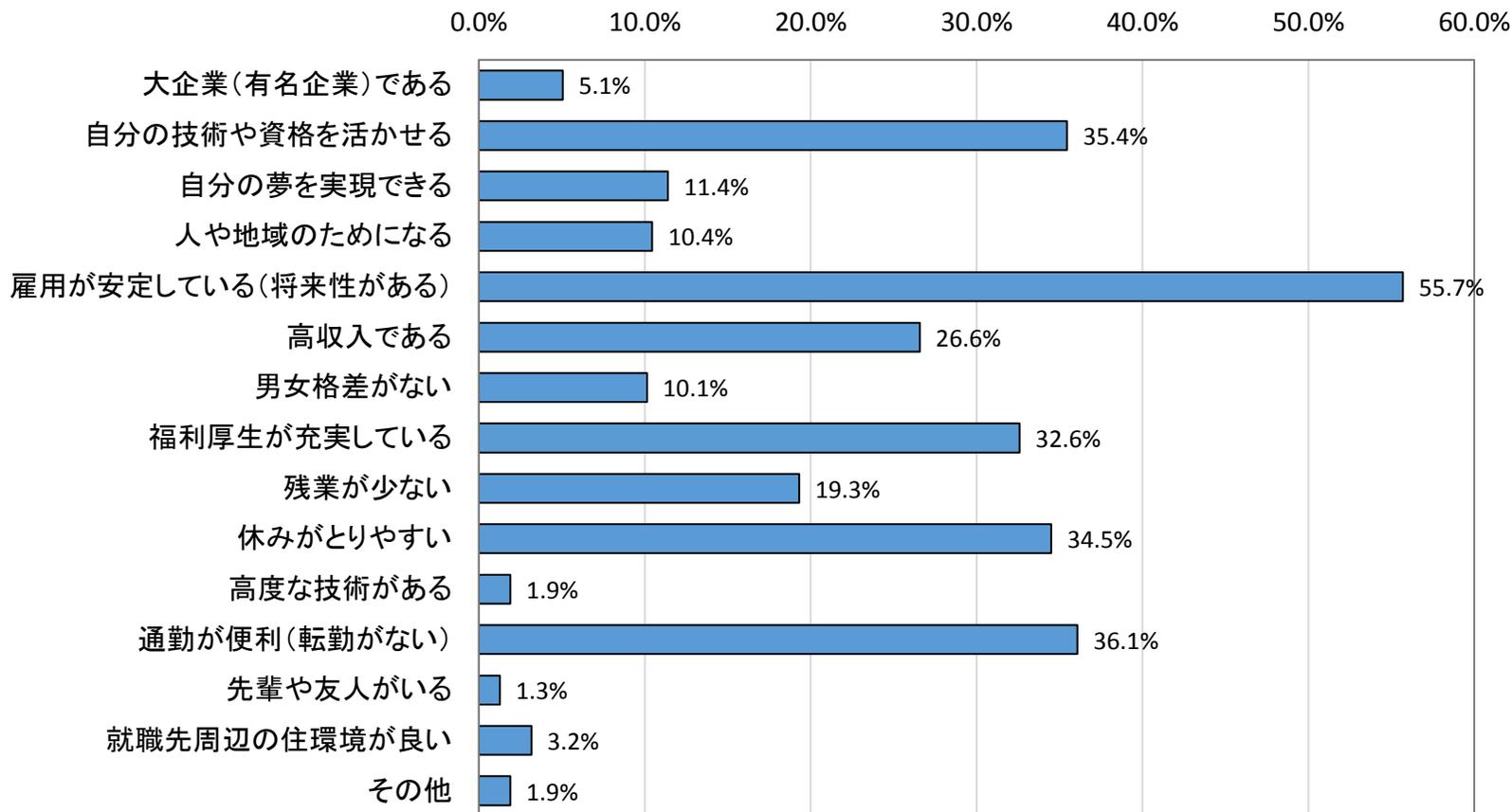


※2つまで選択

n=312

問10 就職先を選択する際の重視点

➤ 「雇用が安定している(将来性がある)」との回答割合が50%を超え、もっとも高く、「通勤が便利(転勤がない)」「自分の技術や資格を活かせる」「休みがとりやすい」「福利厚生が充実している」の各理由がほぼ同じ回答割合となっています。

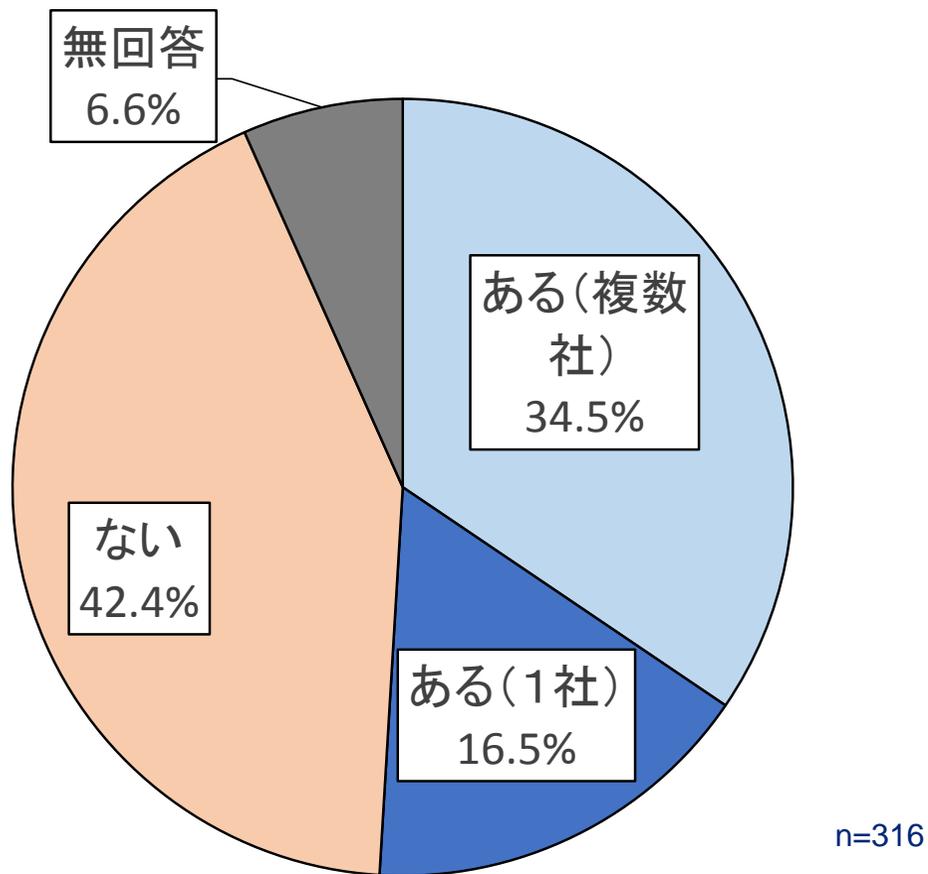


n=316

※3つまで選択

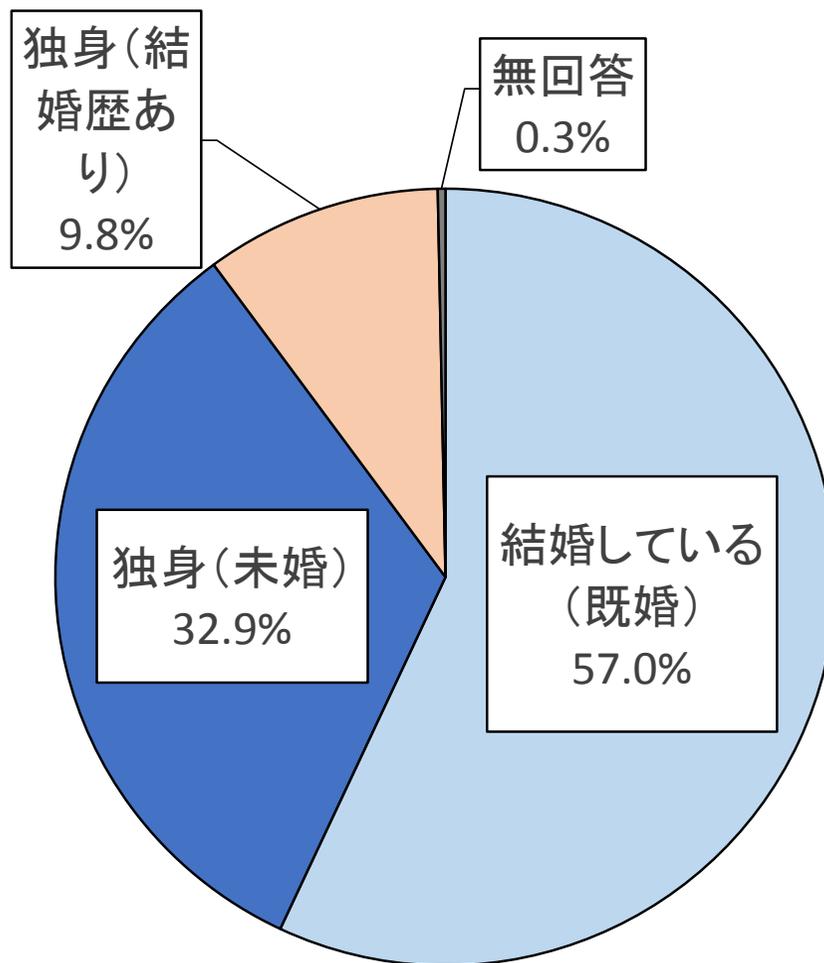
問11 高松市内での「就職先を選択する際の重視点(問10)」を満たす企業の有無

- 「ある(複数社)」「ある(1社)」と回答した割合が51.0%と半数を超えていますが、「ない」との回答も42.4%となっています。



問12 結婚の有無

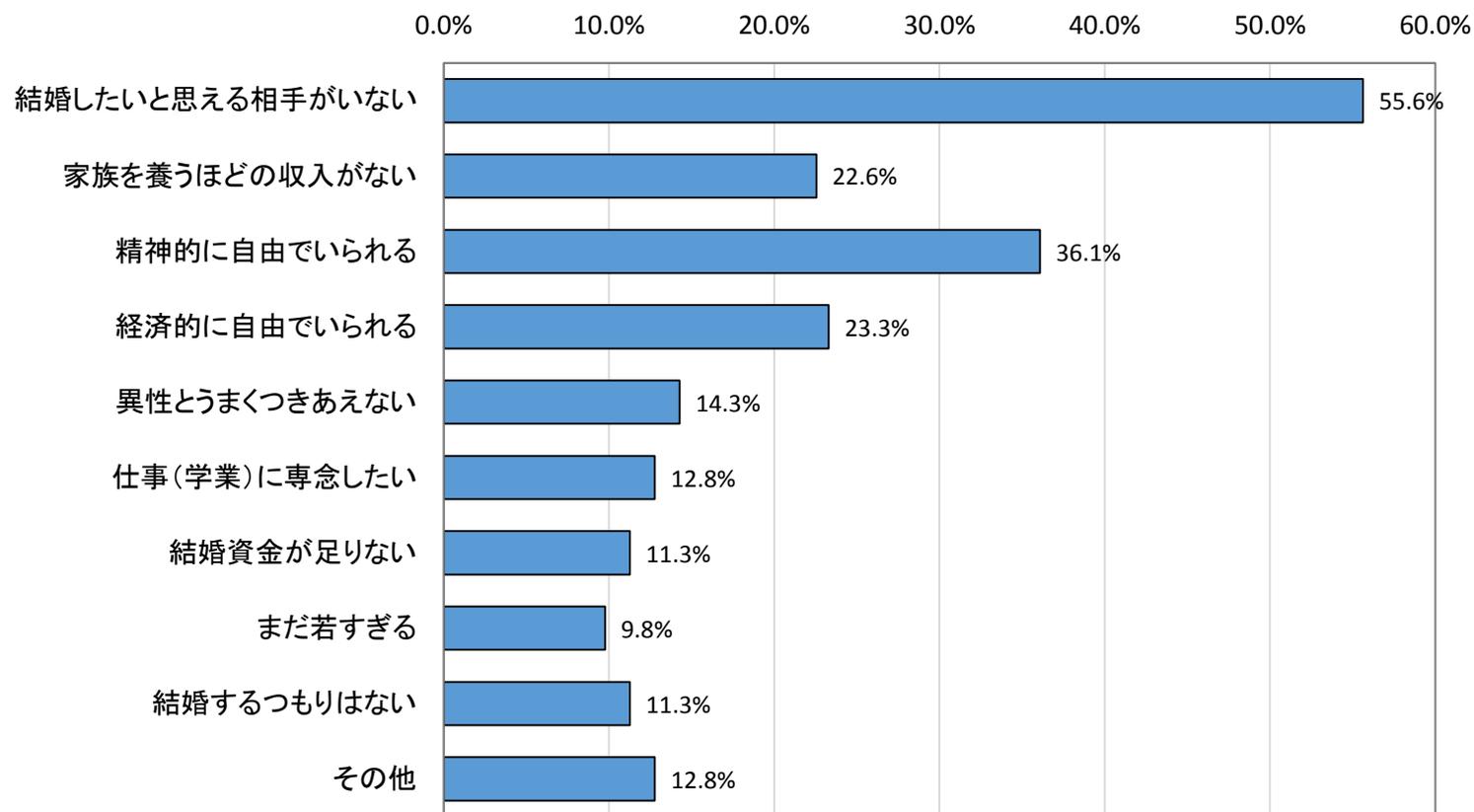
➤ 「結婚している(既婚)」の回答割合がもっとも高く、57.0%となっています。



n=316

問13 結婚していない理由

- 「独身(未婚)」「独身(結婚歴あり)」と回答した人のうち、結婚していない理由として、半数以上の回答が「結婚したいと思える相手がない」と回答しています。

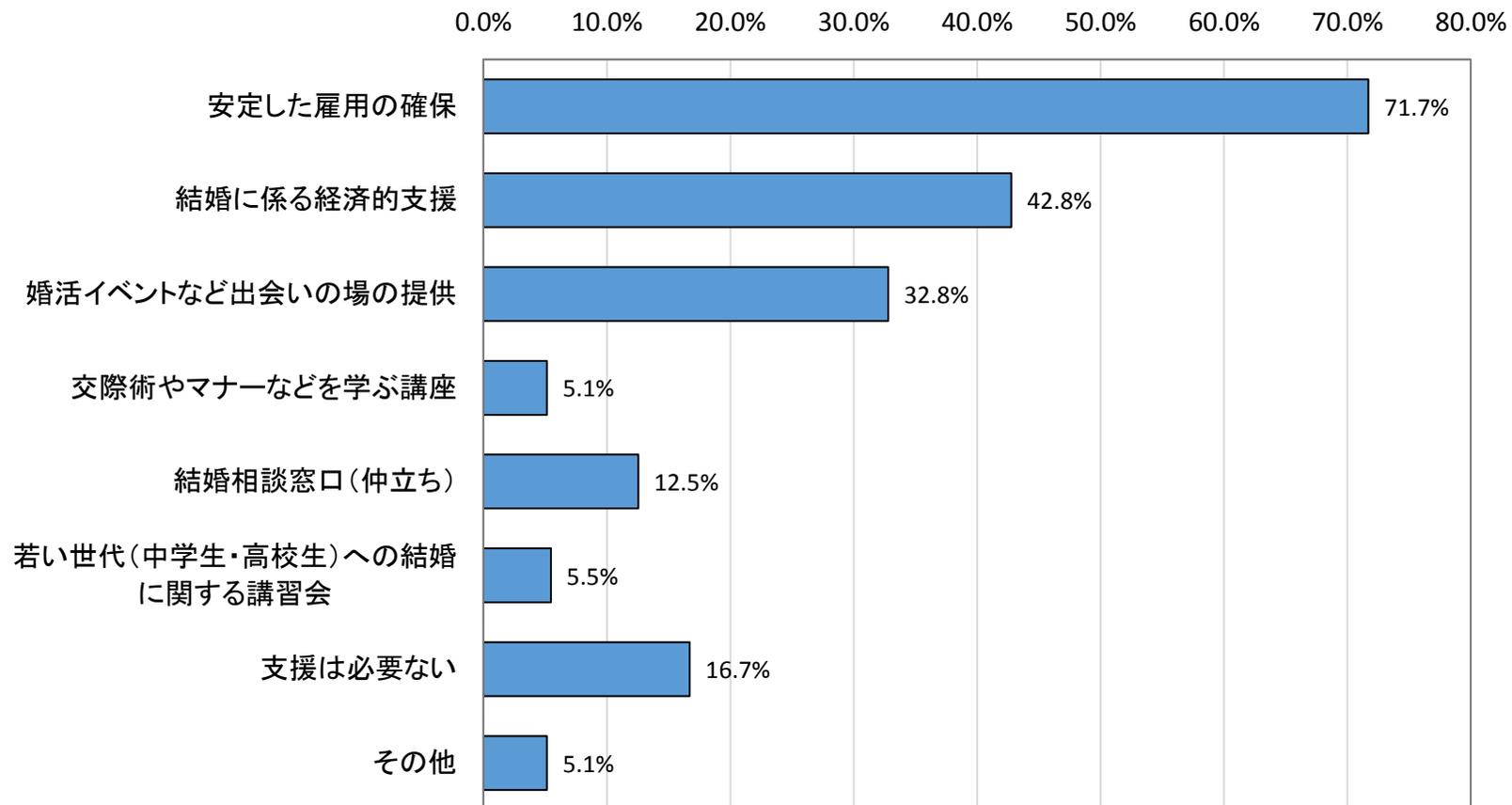


※3つまで選択

n=133

問14 結婚しやすい環境をつくるための支援

➤ 「安定した雇用の確保」と回答した割合が71.7%と突出して高くなっています。

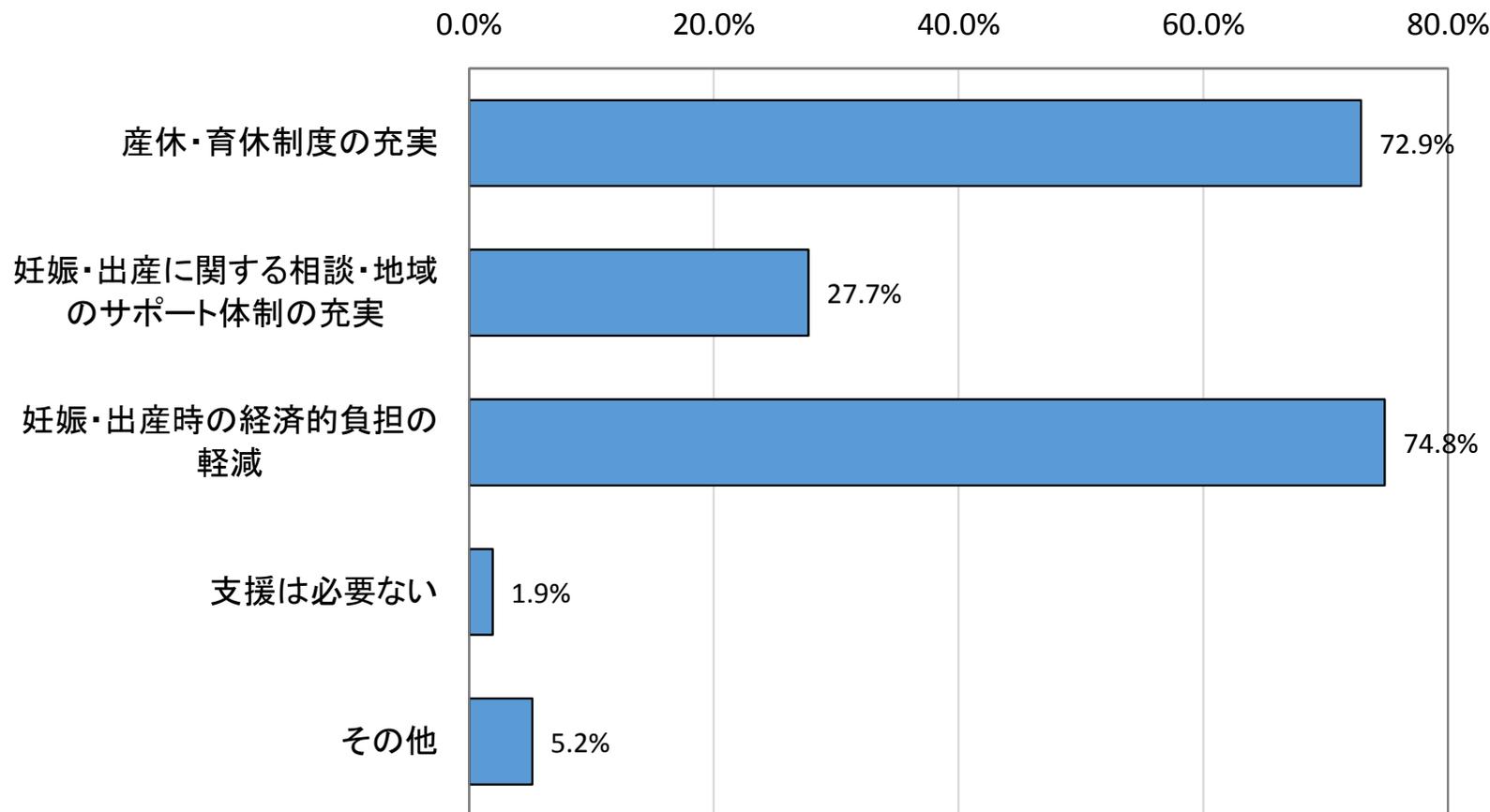


※3つまで選択

n=311

問15 出産しやすい環境をつくるための支援

- 「妊娠・出産時の経済的負担の軽減」「産休・育休制度の充実」と回答した割合がそれぞれ70%以上と高くなっています。

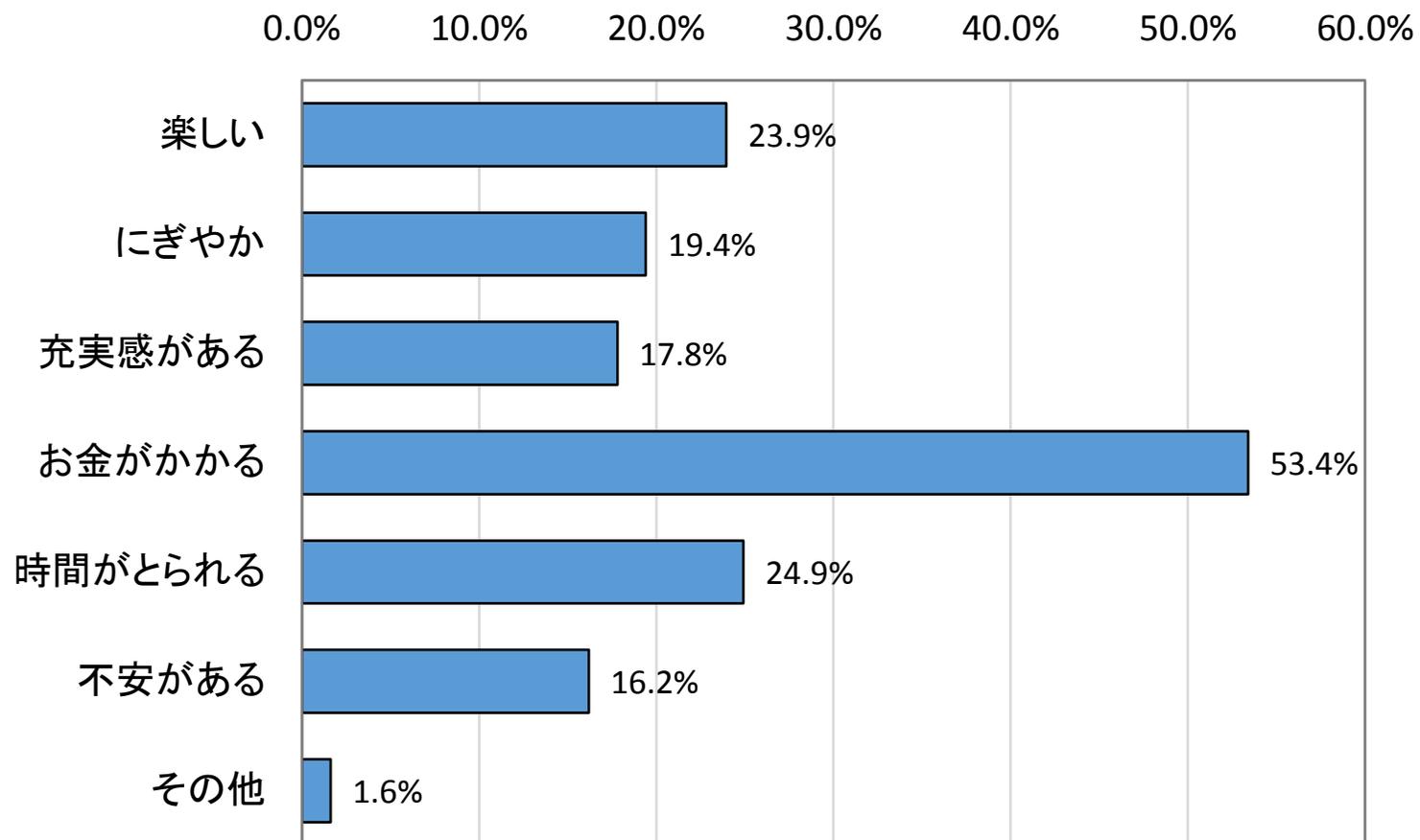


※2つまで選択

n=310

問16 子育てのイメージ

➤ 子育てのイメージとして、「お金がかかる」という回答割合が突出して高く、53.4%となっています。



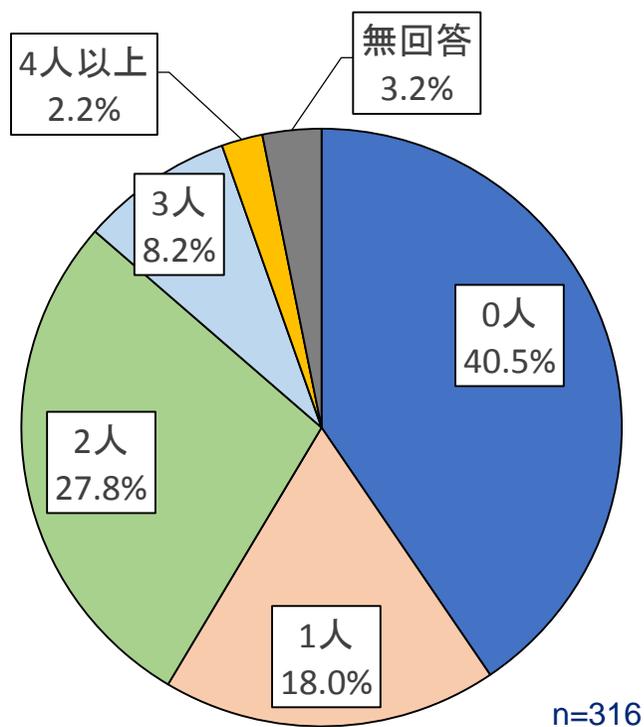
※2つまで選択

n=309

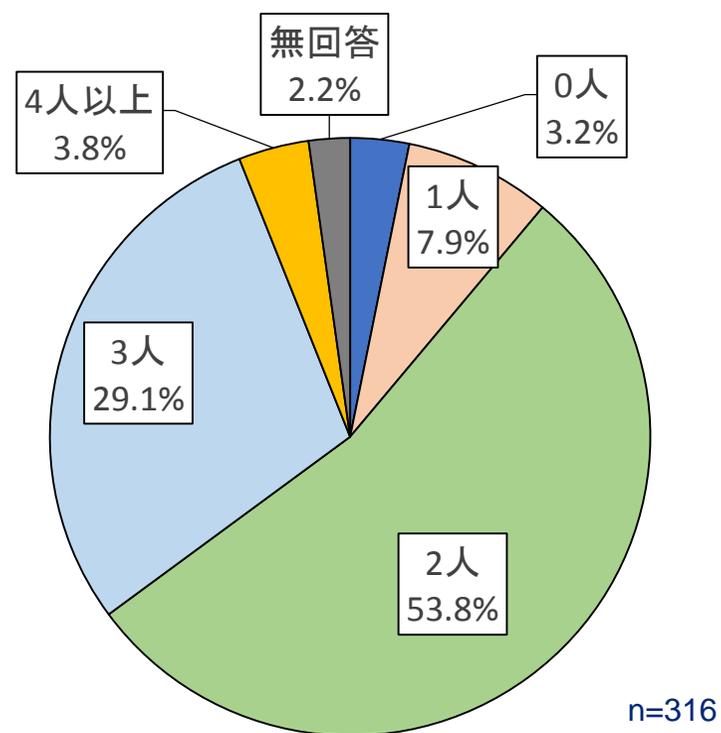
問17 現在の子どもの人数・理想的な子どもの人数

- 既婚者、未婚者を問わず、現在の子どもの人数と理想的な子どもの人数を調査したところ、理想的な子どもの人数として「2人」の回答割合が突出して高く、53.8%となっています。

現在の子どもの人数

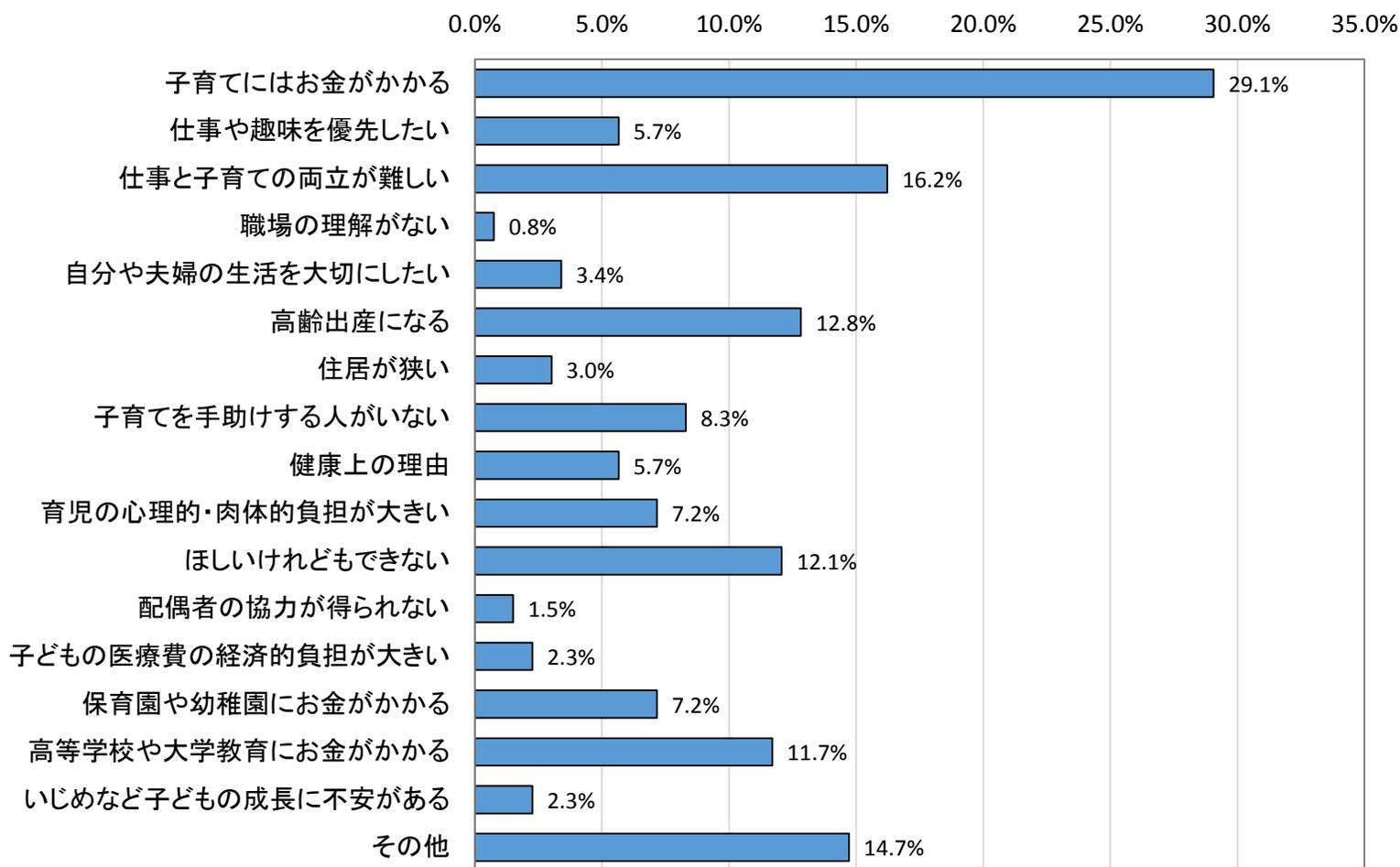


理想的な子どもの人数



問18 「現在の子ども数」が「理想的な子ども数」より少ない理由

➤ 「子育てにはお金がかかる」の回答割合が29.1%ともっとも高く、次いで「仕事と子育ての両立が難しい」等が続いています。

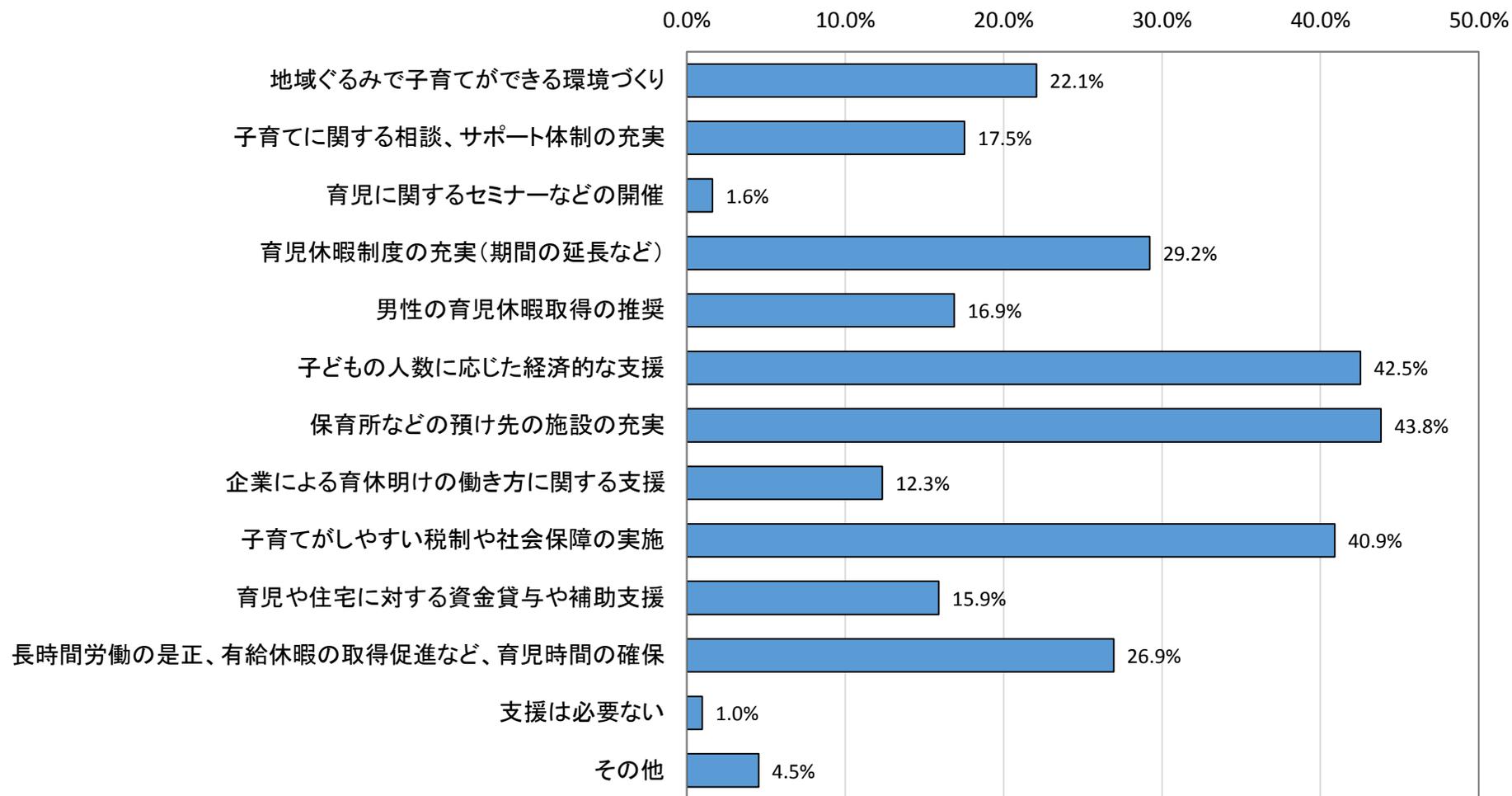


※3つまで選択

n=265

問19 子育てしやすい環境をつくるための支援

➤ 「保育所などの預け先の施設の充実」「子どもの人数に応じた経済的な支援」「子育てがしやすい税制や社会保障の実施」の回答割合が40%を超え高くなっています。

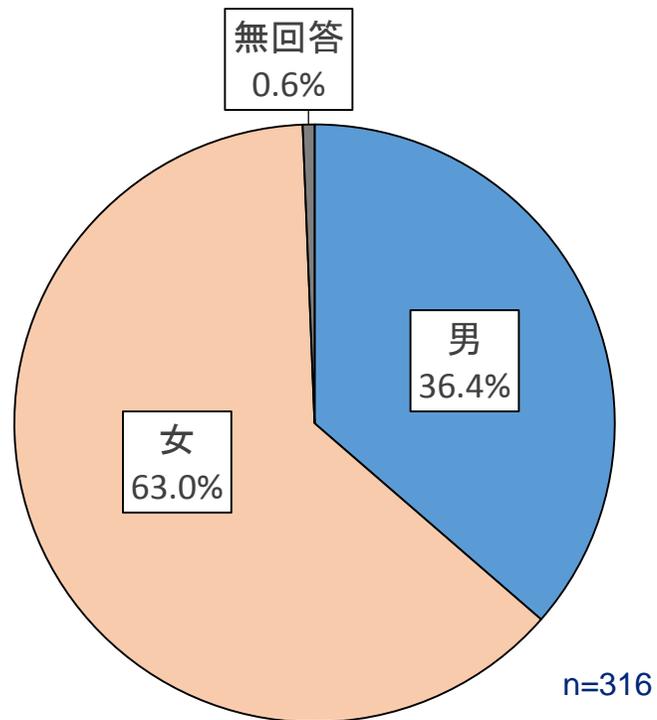


※3つまで選択

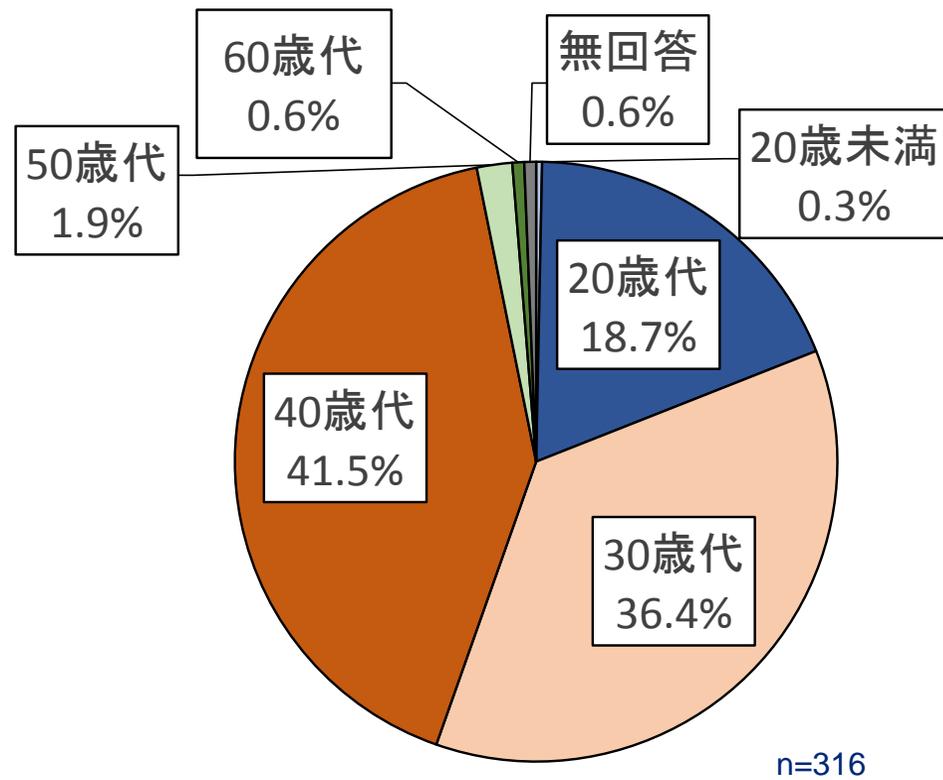
n=308

回答者の属性 1/4

①性別

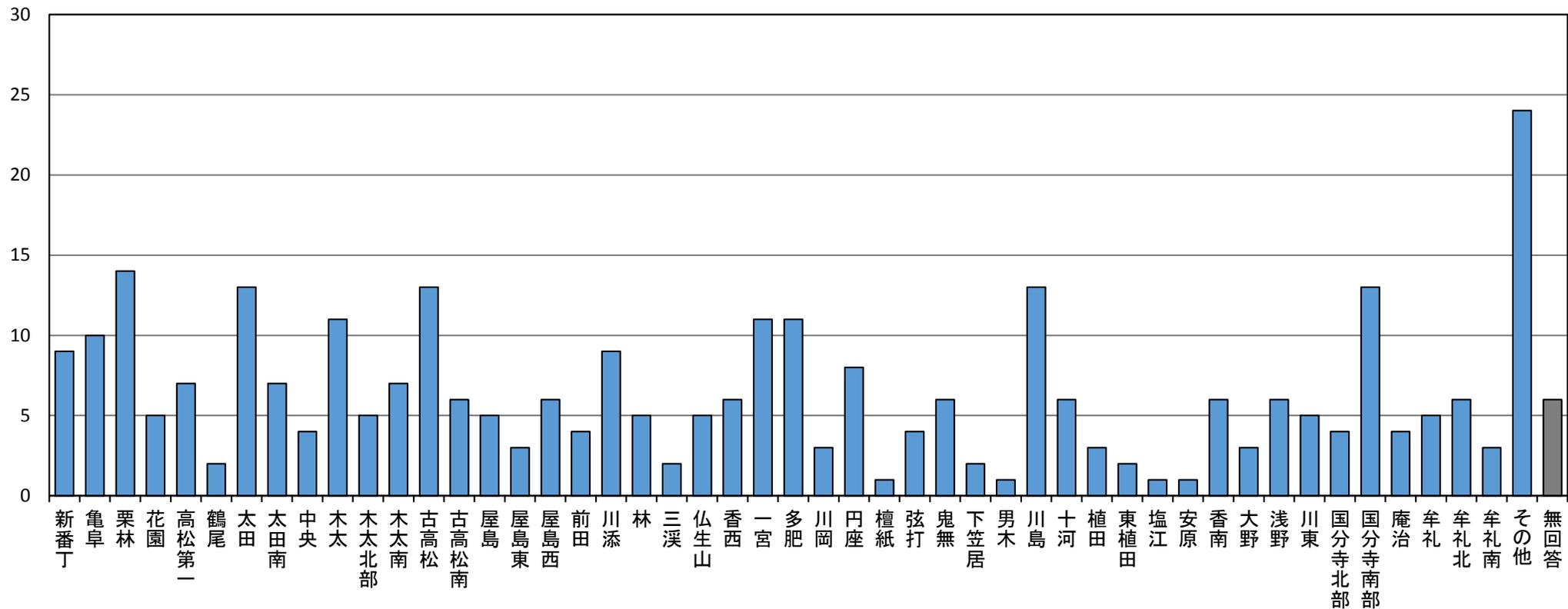


②年代



回答者の属性 2/4

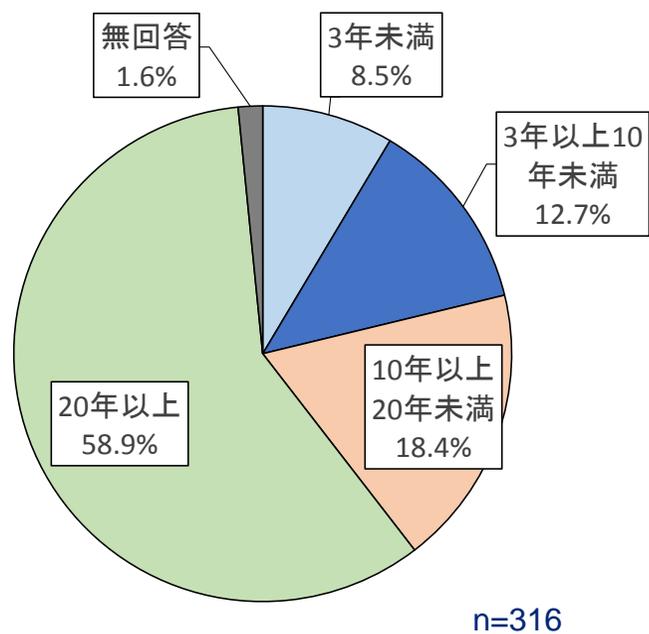
③居住地



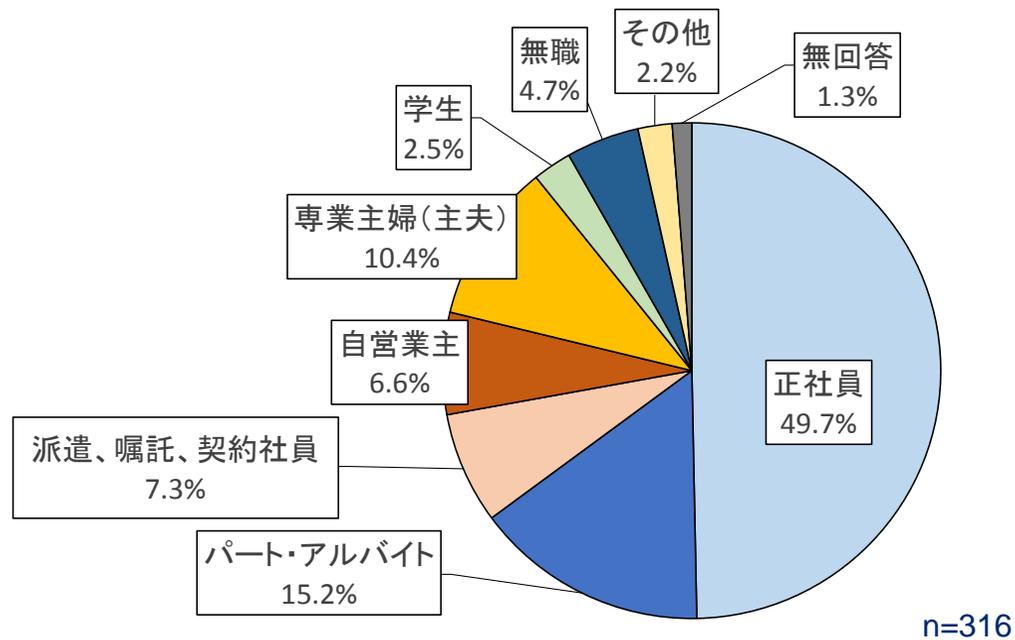
n=316

回答者の属性 3/4

④居住年数

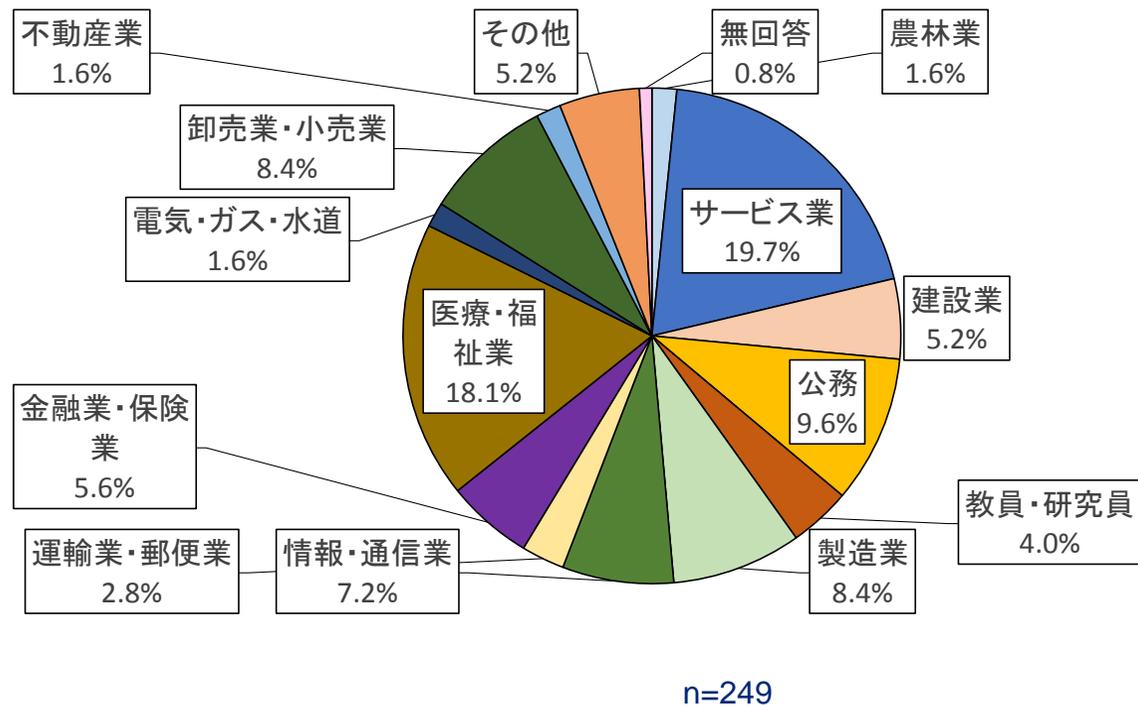


⑤職業

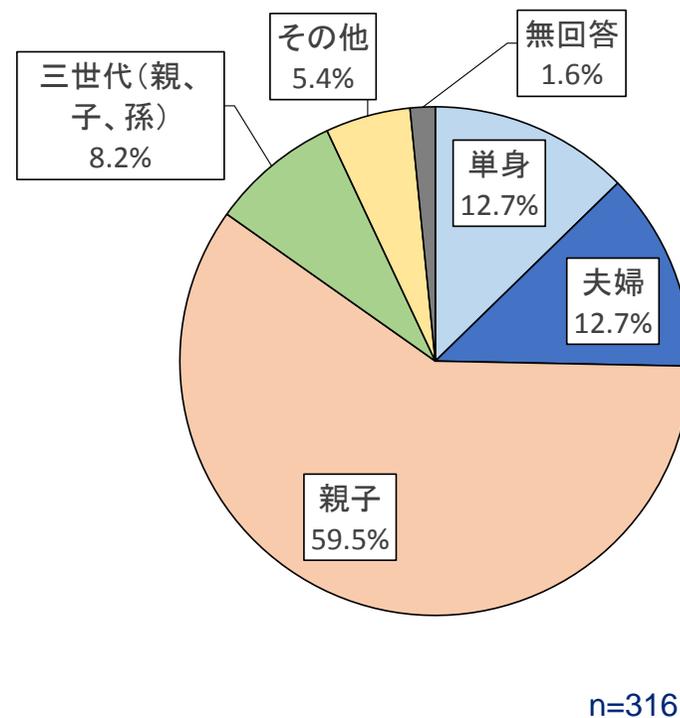


回答者の属性 4/4

⑥業種



⑦家族構成



Deloitte. トーマツ.

トーマツグループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームおよびそれらの関係会社(有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング株式会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー株式会社および税理士法人トーマツを含む)の総称です。トーマツグループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各社がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー等を提供しています。また、国内約40都市に約7,300名の専門家(公認会計士、税理士、コンサルタントなど)を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はトーマツグループWebサイト(www.tohmatsu.com)をご覧ください。

Deloitte(デロイト)は、監査、税務、コンサルティングおよびファイナンシャル アドバイザリーサービスを、さまざまな業種にわたる上場・非上場のクライアントに提供しています。全世界150を超える国・地域のメンバーファームのネットワークを通じ、デロイトは、高度に複合化されたビジネスに取り組むクライアントに向けて、深い洞察に基づき、世界最高水準の陣容をもって高品質なサービスを提供しています。デロイトの約200,000名を超える人材は、“standard of excellence”となることを目指しています。

Deloitte(デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(“DTTL”)ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数指します。DTTLおよび各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL(または“Deloitte Global”)はクライアントへのサービス提供を行いません。DTTLおよびそのメンバーファームについての詳細は www.tohmatsu.com/deloitte/ をご覧ください。

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited

高松市 御中

市民意識調査(転出者アンケート) 集計結果(速報)

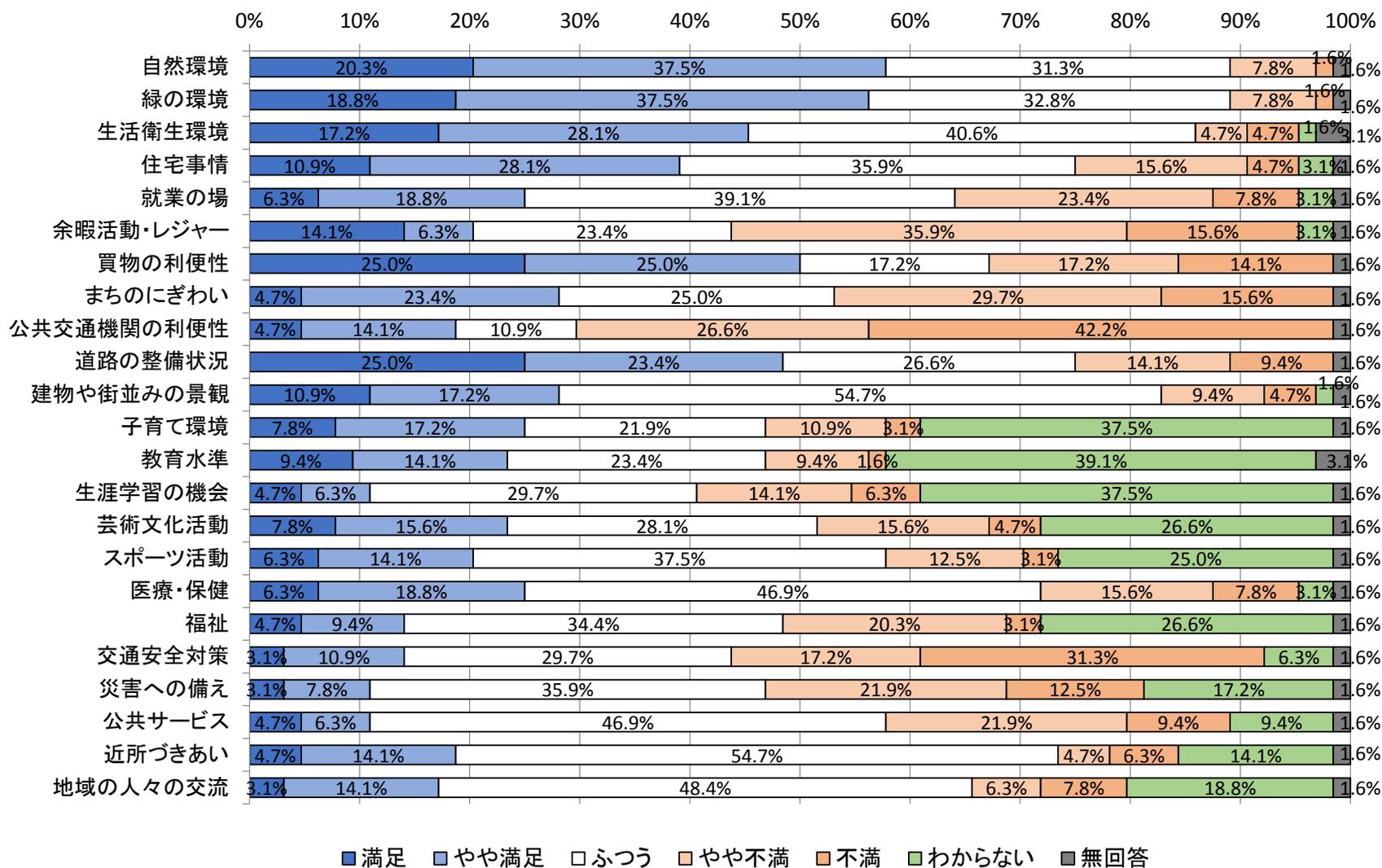
2015年7月23日(木)

有限責任監査法人 トーマツ

期間:7月6日~7月17日市役所到達分まで
郵送数:500
回収数:64件(12.8%)
※速報版のため、最終結果ではありません

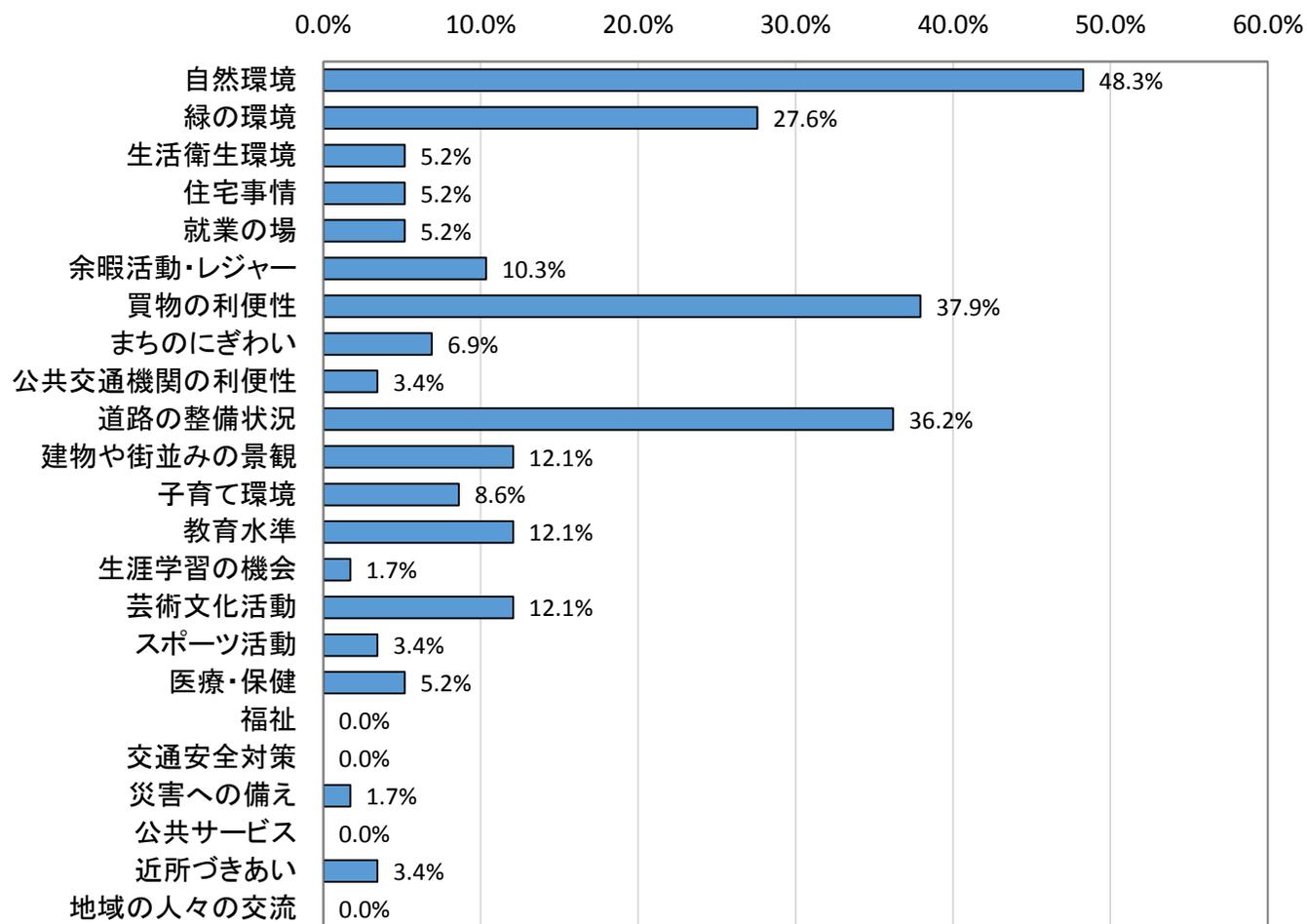
問2 高松市居住時の満足度

- 「自然環境」「緑の環境」「買い物の利便性」「道路の整備状況」等は満足度が高くなっています。
- 「公共交通機関の利便性」「余暇活動・レジャー」「交通安全対策」等は不満度が高く、満足と回答した人の割合を上回っています。



問3 高松市の魅力・誇れるもの

➤ 高松市の魅力・誇れるものとして、「自然環境」が48.3%ともっとも高く、次いで「買物の利便性」「道路の整備状況」と続いています。

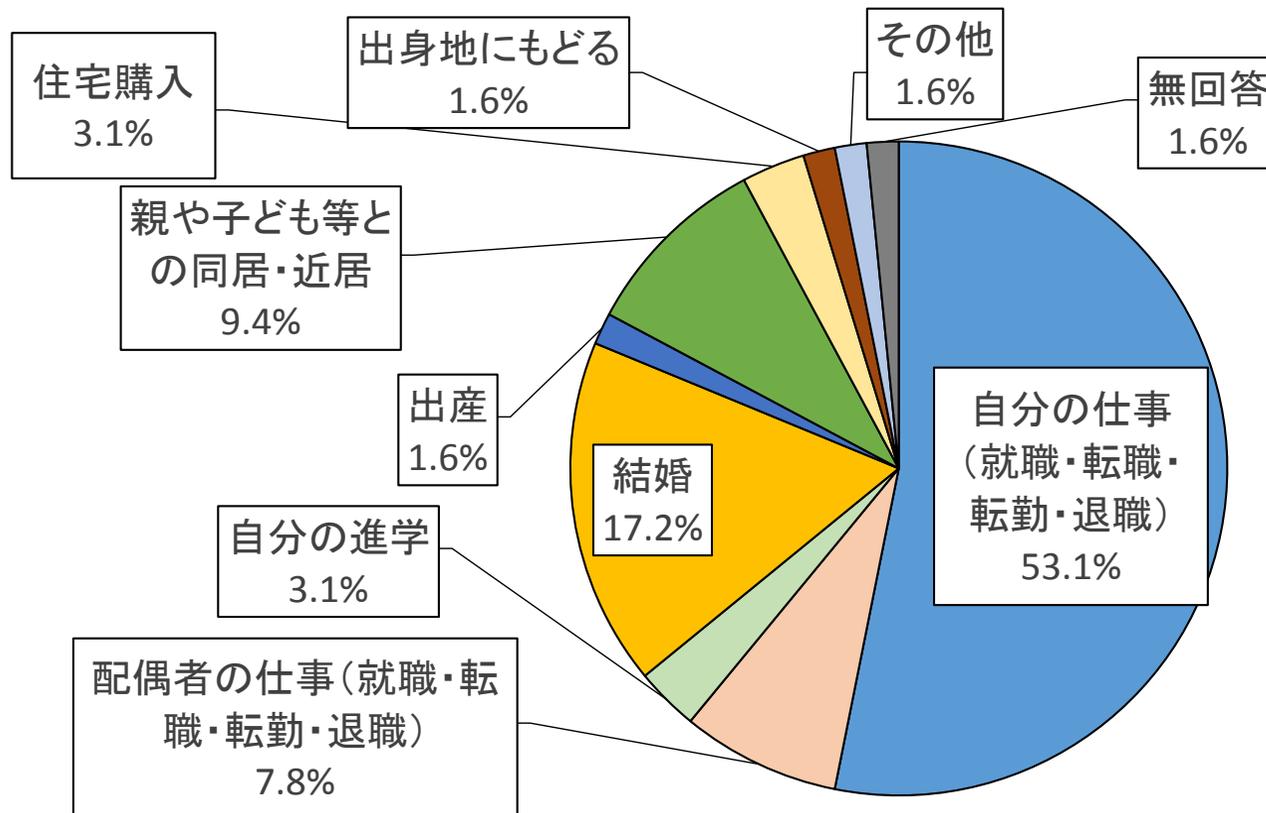


※3つまで選択

n=58

問4 転出理由

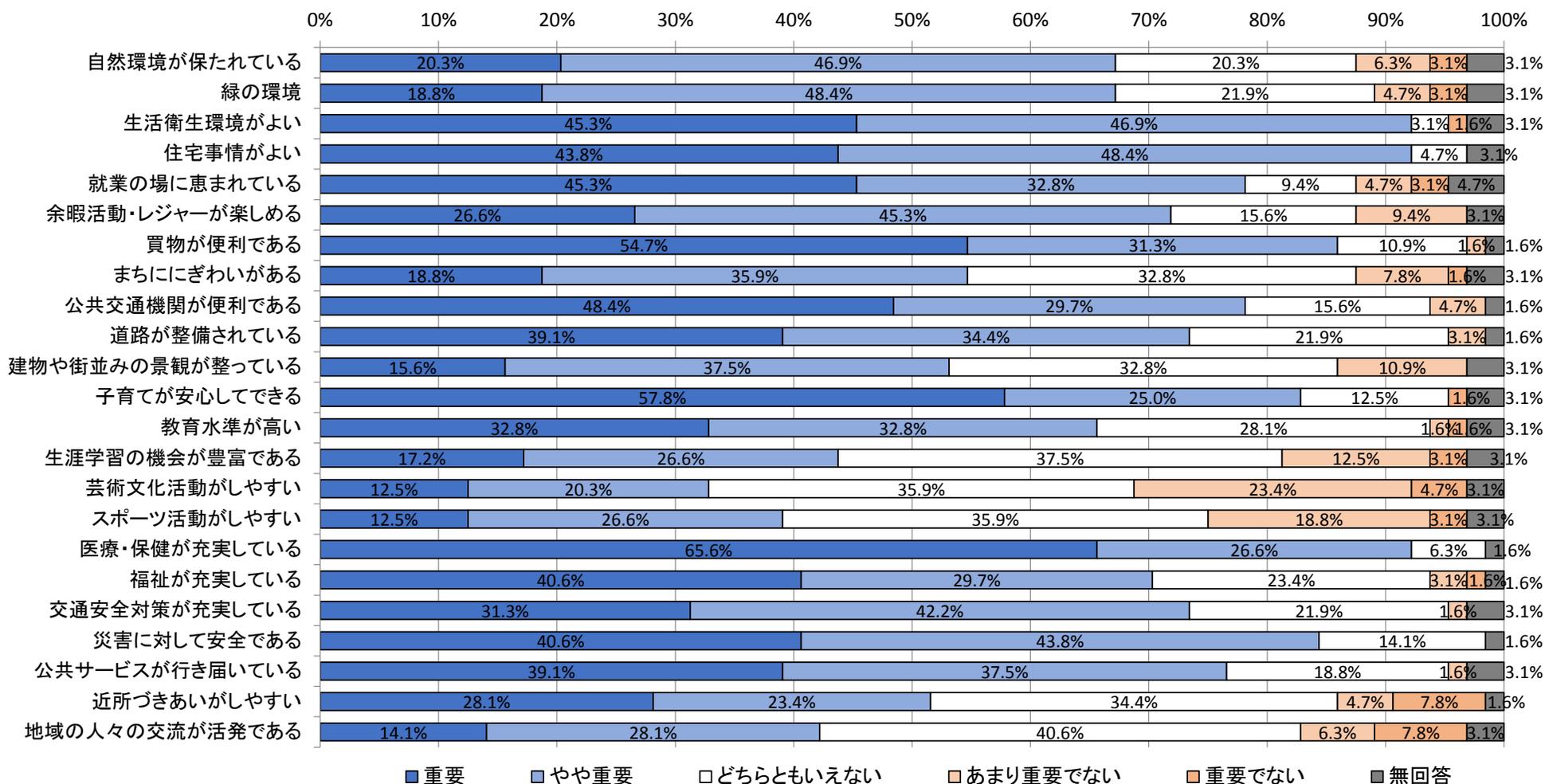
➤ 「自分の仕事(就職・転職・転勤・退職)」を理由とした回答が53.1%と最も高く、過半数となっています。



n=64

問5 居住地選択時に重視する点

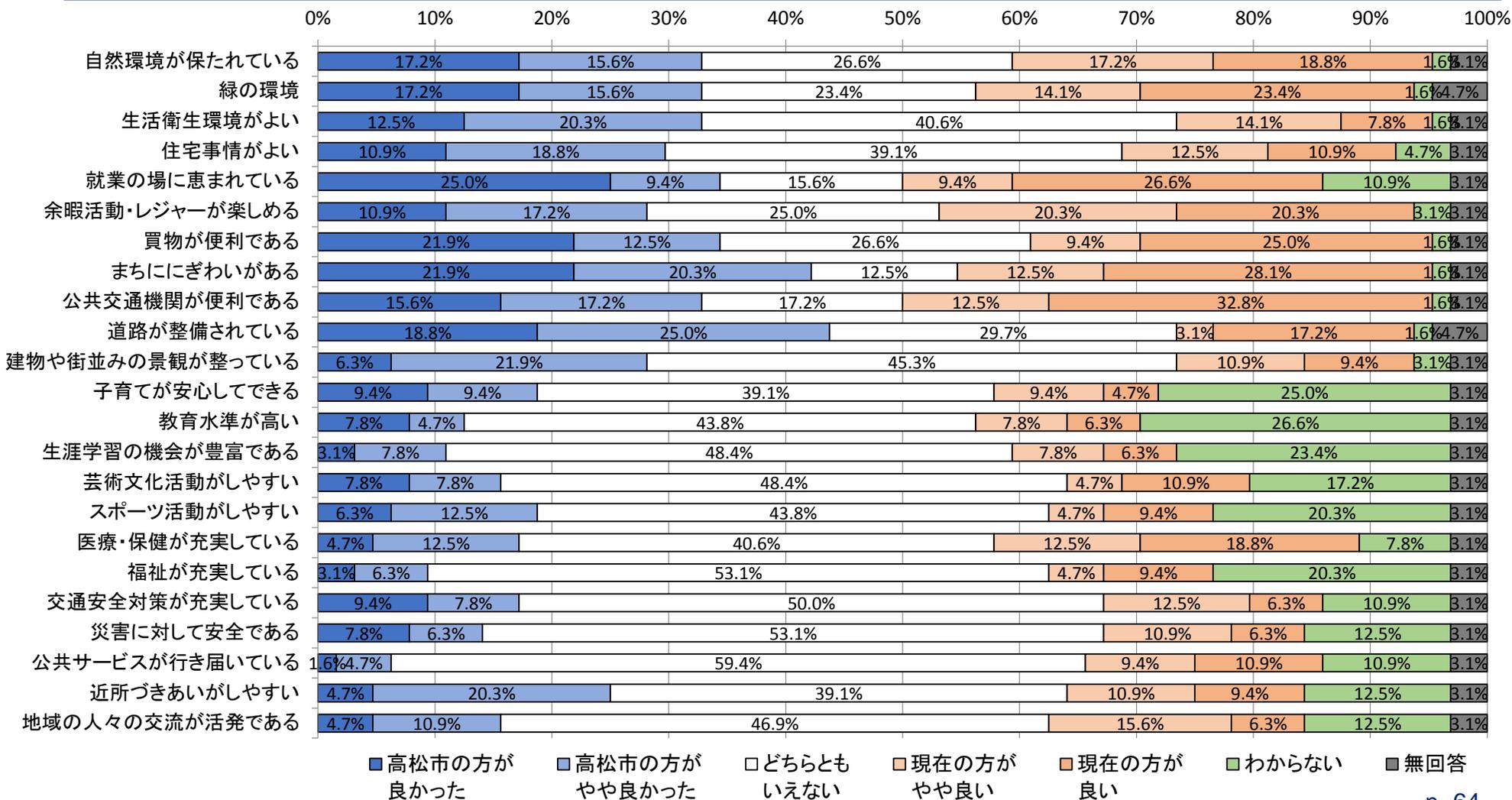
▶ 居住地を選択する際、「生活衛生環境がよい」「住宅事情がよい」「医療・保健が充実している」という点を重視する回答割合が高くなっています。



n=64

問6 現在の居住地と高松市との比較満足度

➤ 「道路が整備されている」「まちなにぎわいがある」という点は、転居先よりも高松市の方が良かったとの回答割合が高くなっています。そのほか、「どちらともいえない」「わからない」という回答が多くなっていますが、「子育てが安心してできる」「近所づきあいがしやすい」という理由も高松市の方が良かったという傾向を示しています。

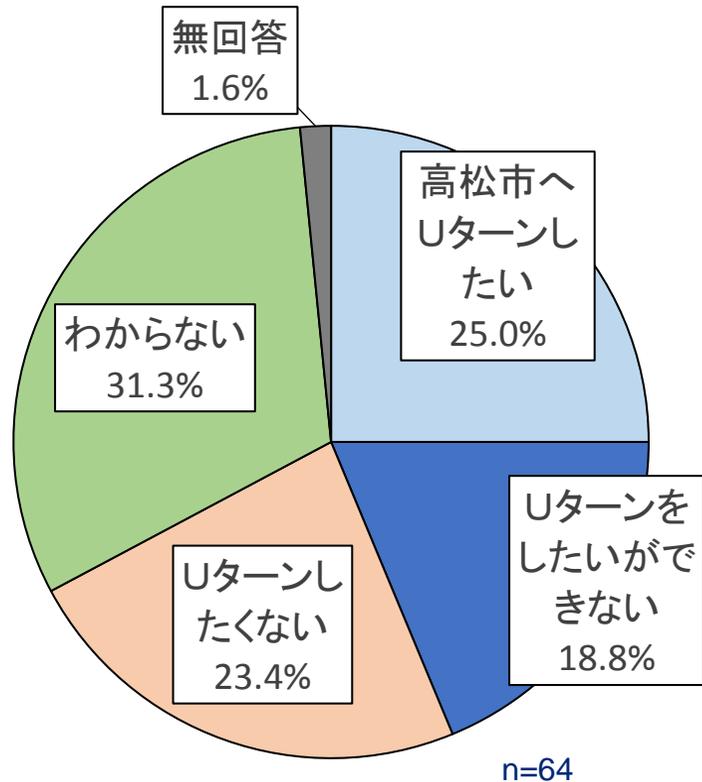


問7 高松市へのUターン意向

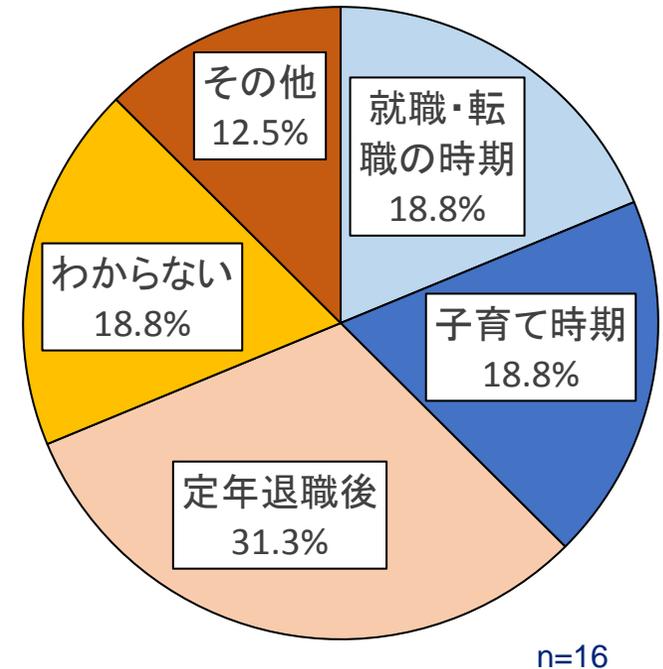
問8 Uターン時期

- 高松市に戻ってきたい(高松市へUターンしたい、Uターンをしたいができない、の合計)という意向が43.8%と半数近くに上っています。
- Uターン時期としては、「定年退職後」が31.3%ともっとも高くなっています。

問7 高松市へのUターン意向

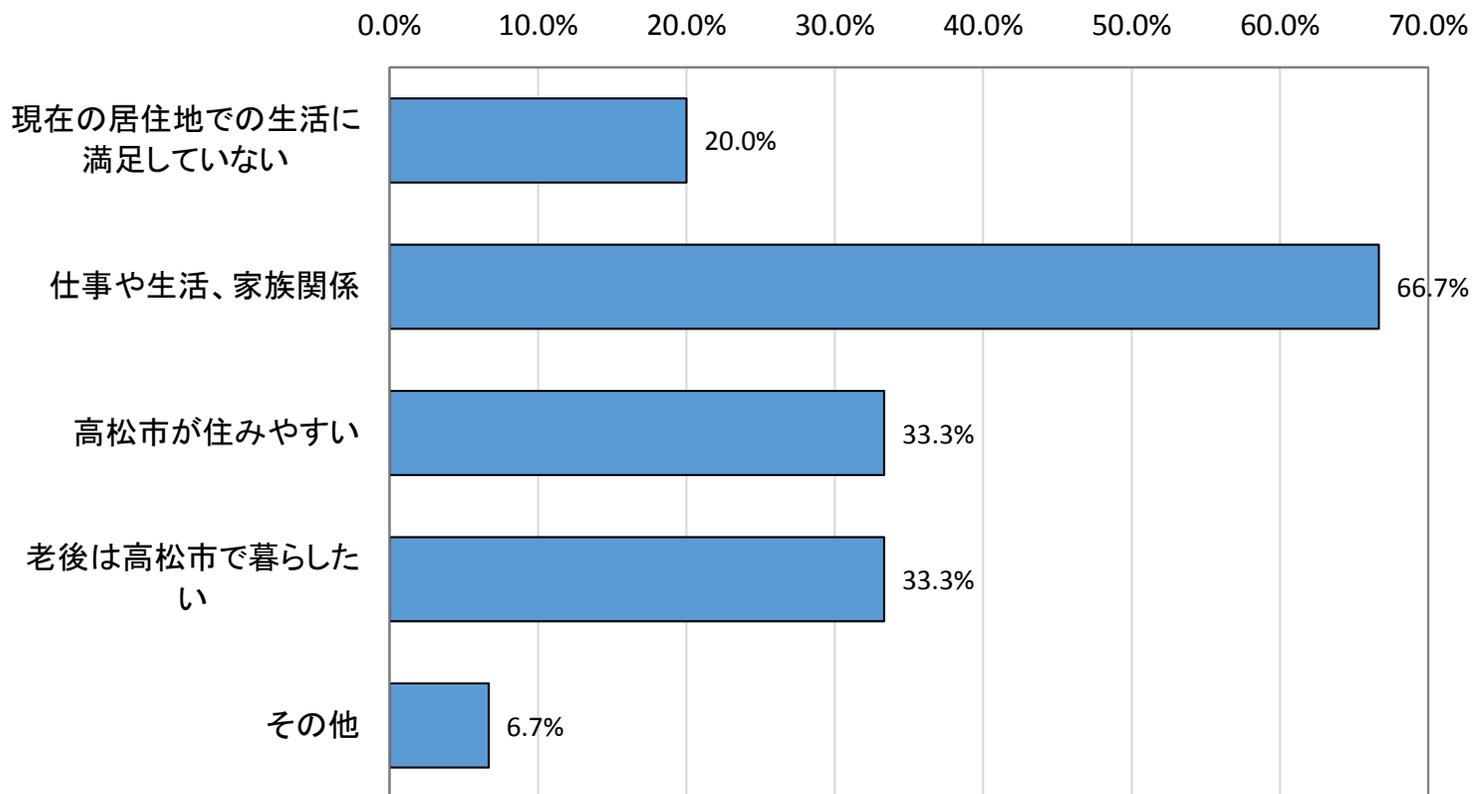


問8 Uターン時期



問9 Uターン希望の理由

➤ Uターンを希望する理由として、「仕事や生活、家族関係」の回答割合が66.7%と、もっとも高くなっています。

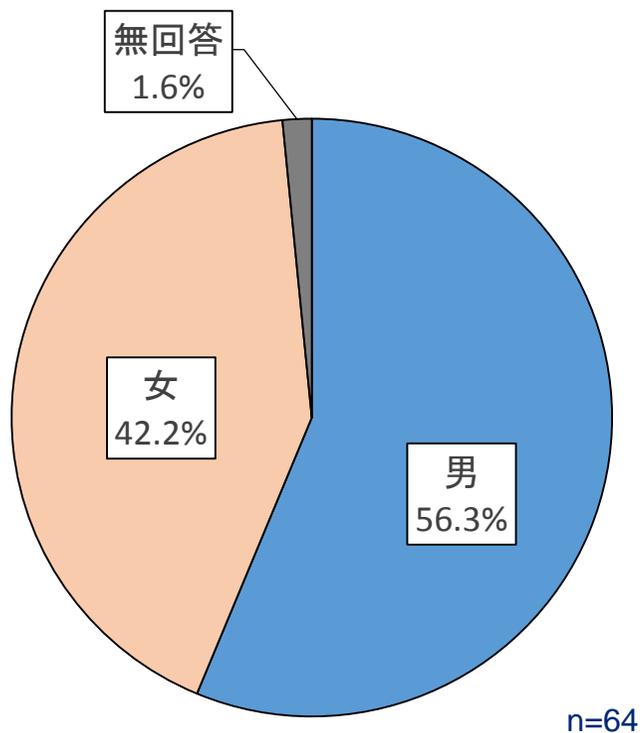


※2つまで選択

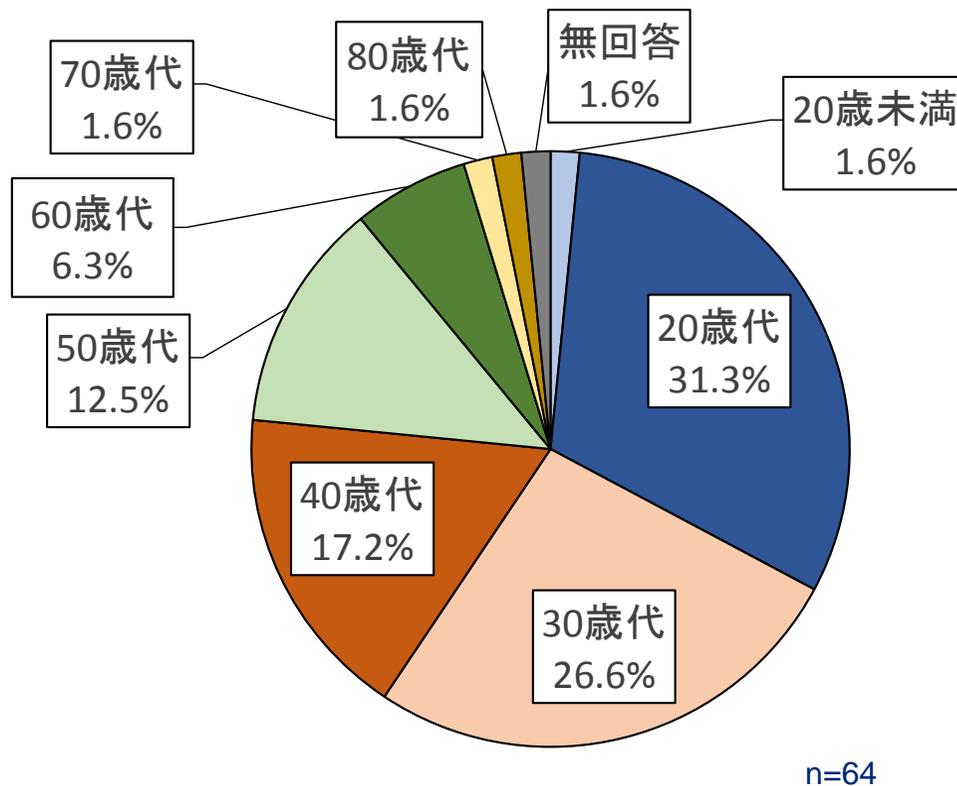
n=15

回答者の属性 1/5

①性別

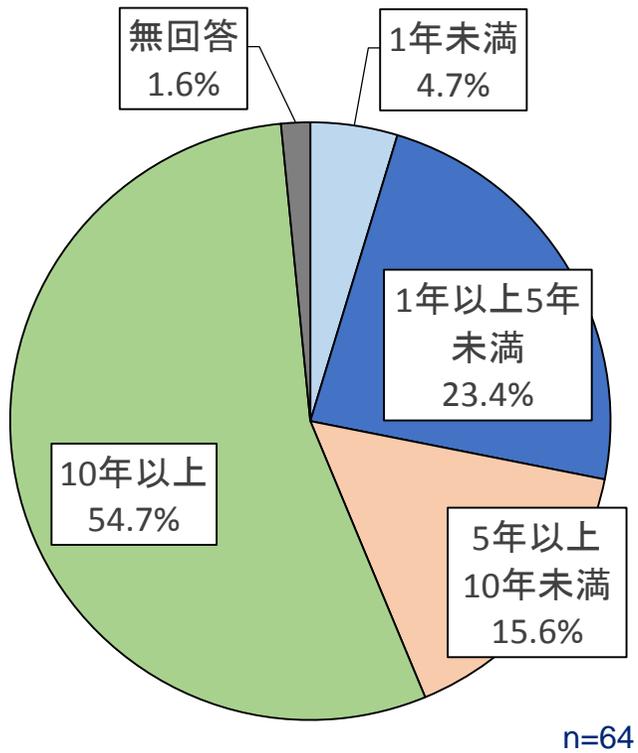


②年代

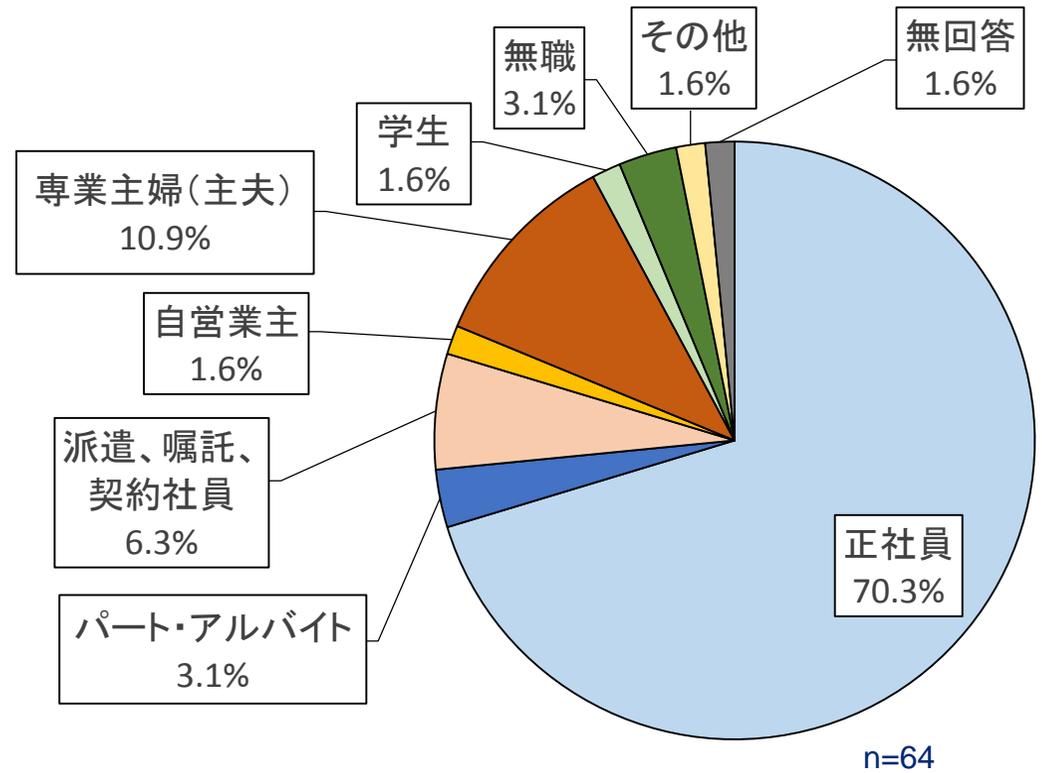


回答者の属性 2/5

③居住年数

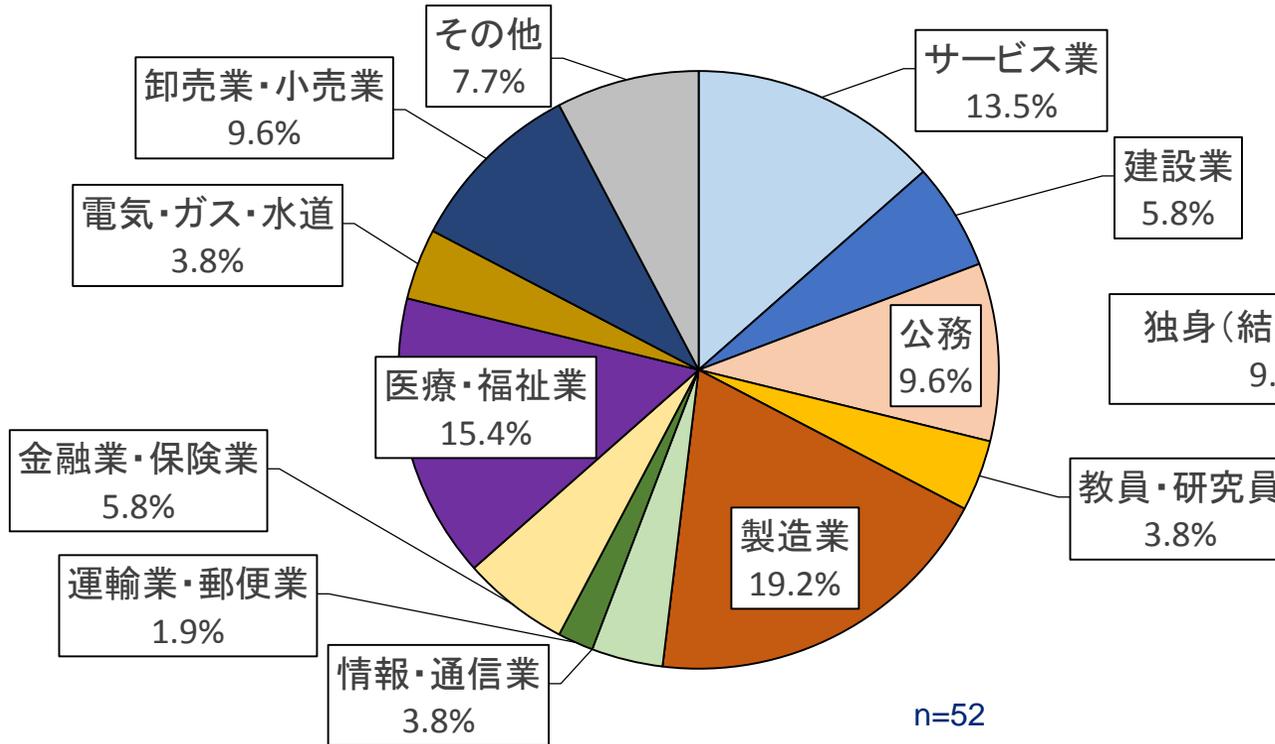


④職業

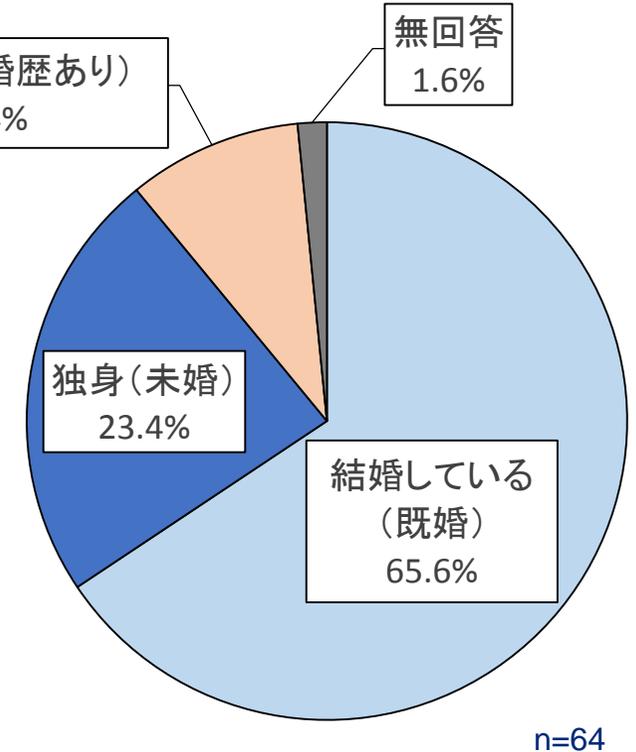


回答者の属性 3/5

⑤業種

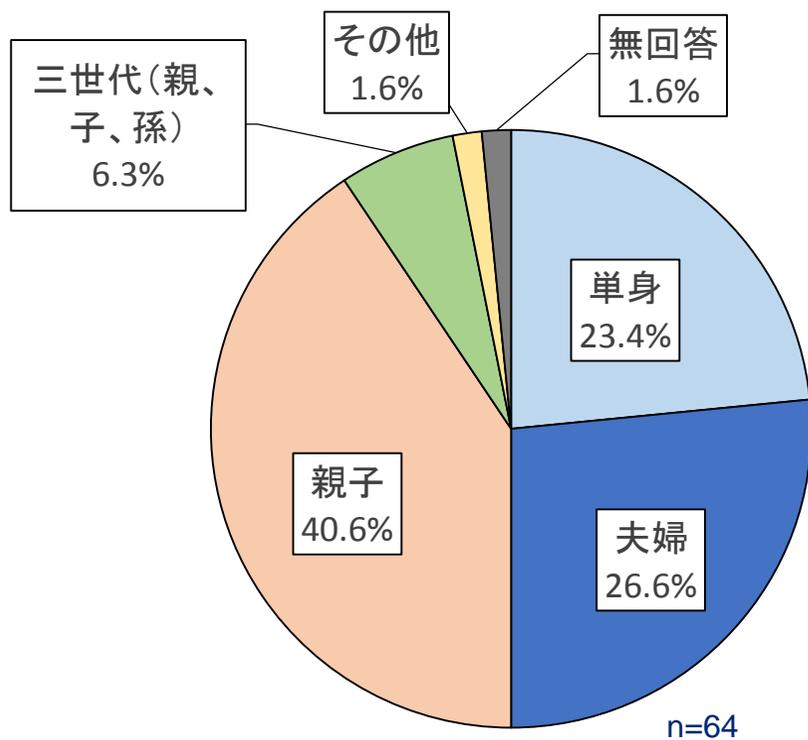


⑥結婚経験の有無

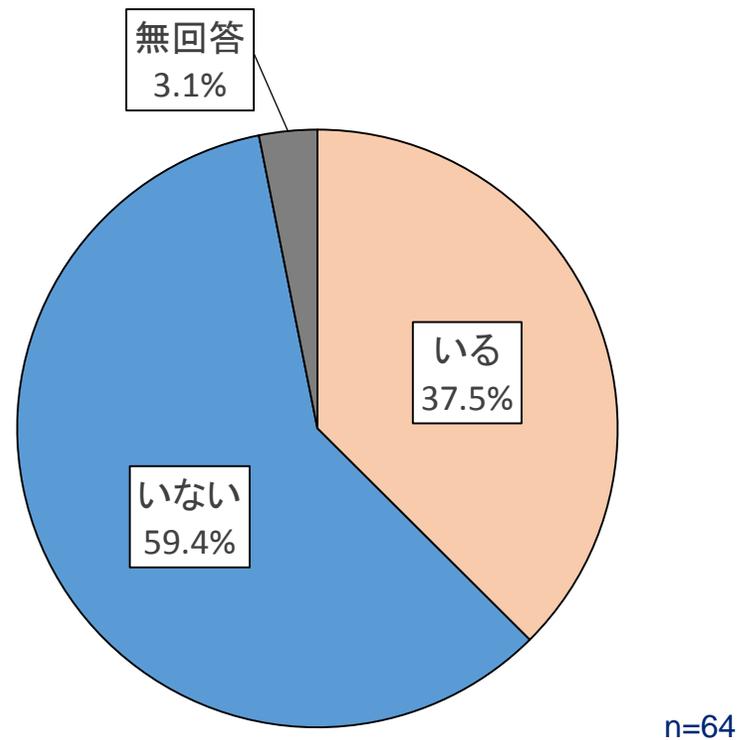


回答者の属性 4/5

⑦ 家族構成

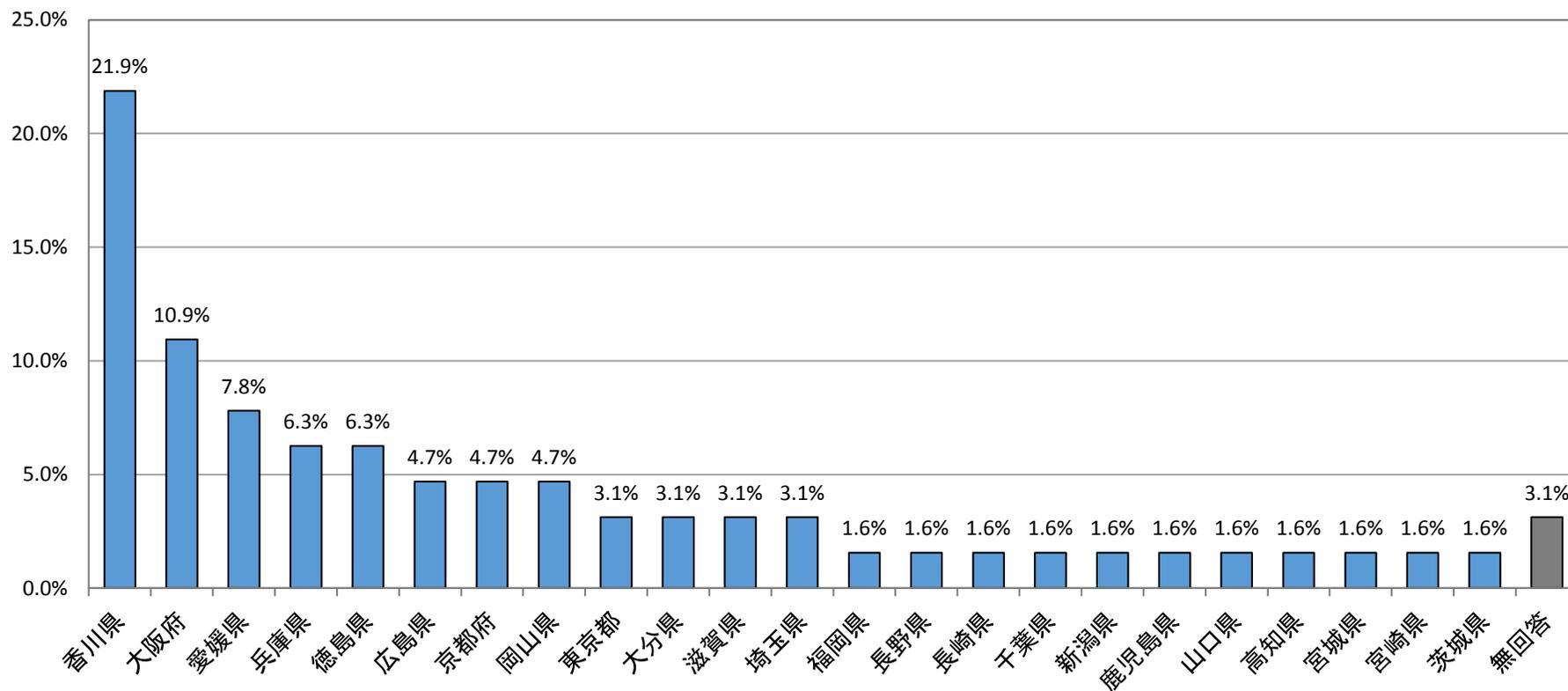


⑧ 養育中の子どもの有無



回答者の属性 5/5

⑨転出後の居住地



n=64

Deloitte. トーマツ.

トーマツグループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームおよびそれらの関係会社(有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング株式会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー株式会社および税理士法人トーマツを含む)の総称です。トーマツグループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各社がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー等を提供しています。また、国内約40都市に約7,300名の専門家(公認会計士、税理士、コンサルタントなど)を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はトーマツグループWebサイト(www.tohmatsu.com)をご覧ください。

Deloitte(デロイト)は、監査、税務、コンサルティングおよびファイナンシャル アドバイザリーサービスを、さまざまな業種にわたる上場・非上場のクライアントに提供しています。全世界150を超える国・地域のメンバーファームのネットワークを通じ、デロイトは、高度に複合化されたビジネスに取り組むクライアントに向けて、深い洞察に基づき、世界最高水準の陣容をもって高品質なサービスを提供しています。デロイトの約200,000名を超える人材は、“standard of excellence”となることを目指しています。

Deloitte(デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(“DTTL”)ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数指します。DTTLおよび各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL(または“Deloitte Global”)はクライアントへのサービス提供を行いません。DTTLおよびそのメンバーファームについての詳細は www.tohmatsu.com/deloitte/ をご覧ください。

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited

高松市 御中

市民意識調査(高校生アンケート) 集計結果(速報)

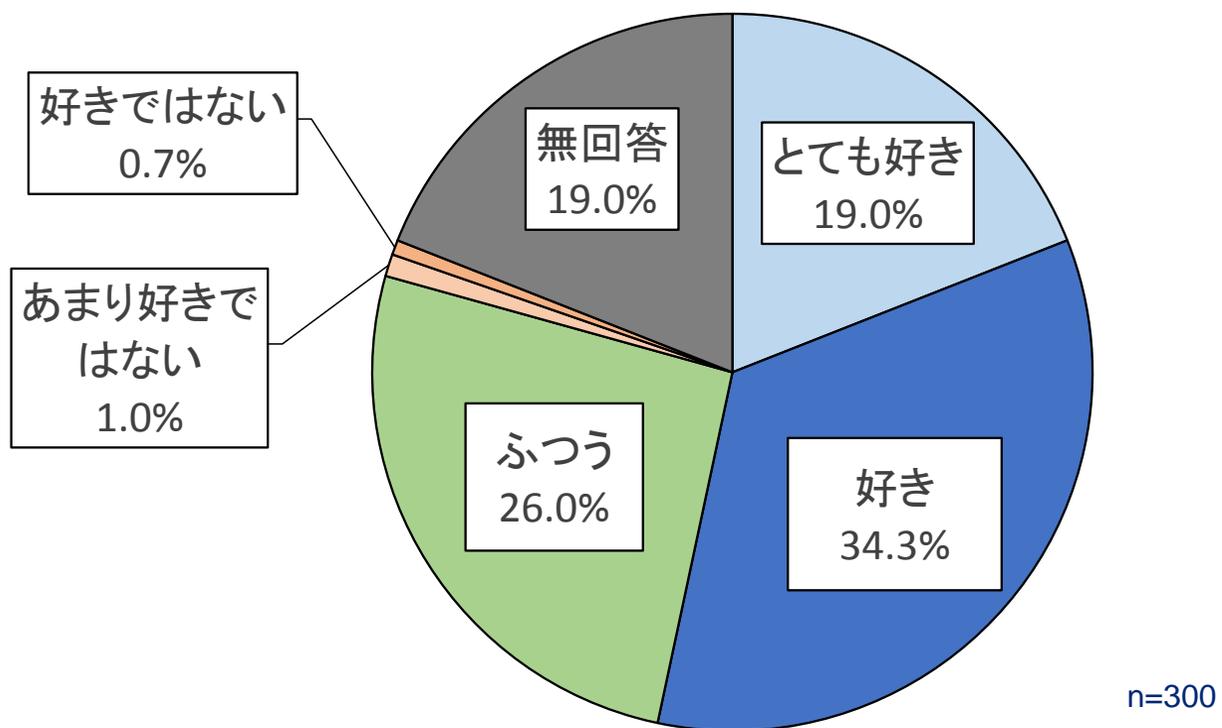
2015年7月23日(木)

有限責任監査法人 トーマツ

期間:7月6日~7月17日市役所到達分まで
予定配布数:900
回収数:300件(●●%)
※速報版のため、最終結果ではありません

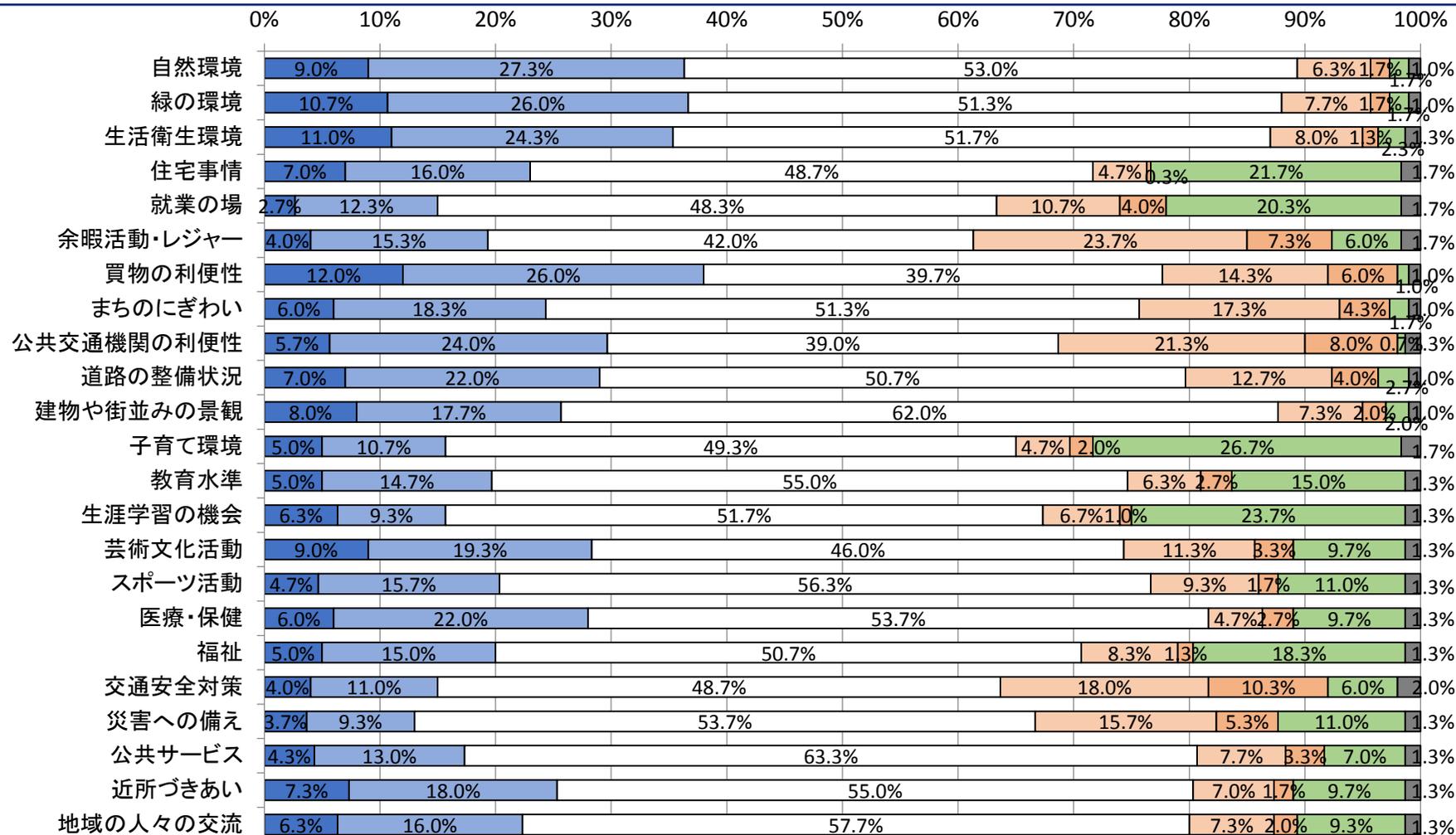
問2 出身地域への好感度

➤ 肯定的な意見(とても好き、好きの合計)の回答割合が53.3%と過半数となっています。



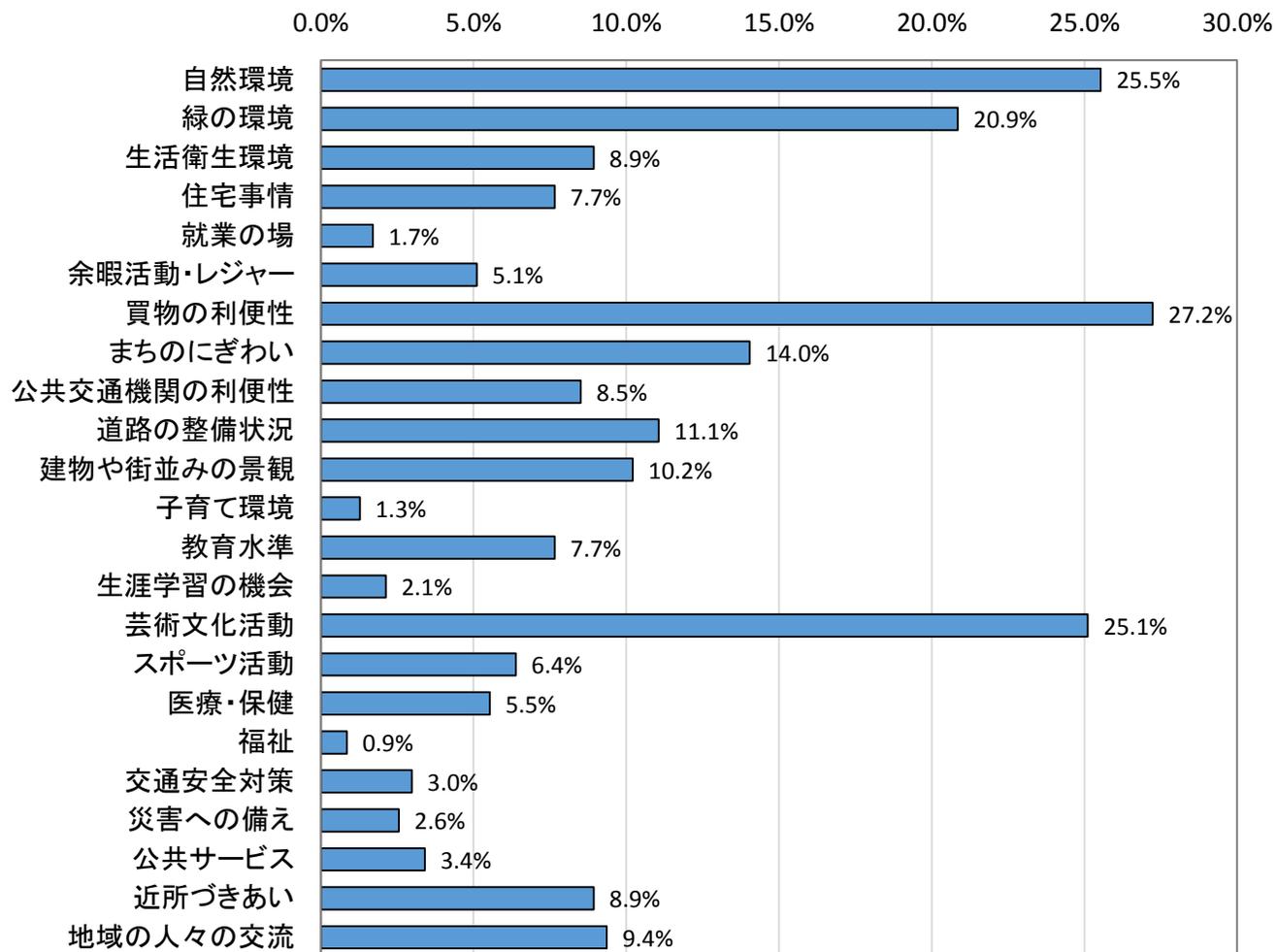
問3 高松のまちへの満足度

- 全体的にわからないという回答割合が高くなっています。
- 「自然環境」「緑の環境」「生活衛生環境」「買い物の利便性」など満足度が不満度を上回っているものが多いです。その一方で、「余暇活動・レジャー」「交通安全対策」等は不満度が高くなっています。



問4 高松市の魅力・誇れるもの

- 高松市の魅力・誇れるものとして、「買物の利便性」の回答割合が27.2%ともっとも高く、次いで「自然環境」「芸術文化活動」と続いています。

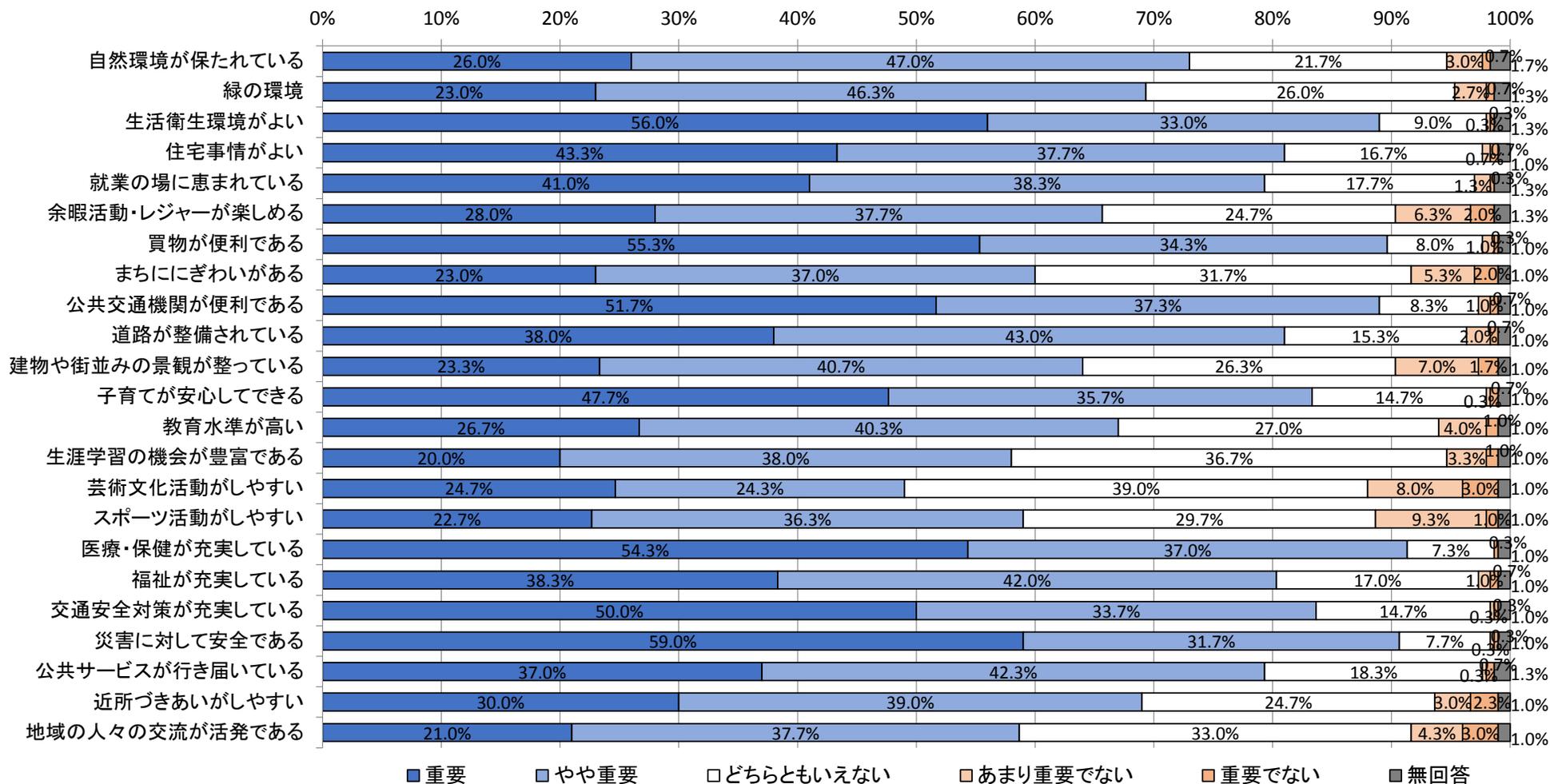


※3つまで選択

n=235

問5 居住地選択時に重視する点

➤ 居住地を選択する際、「医療・保健が充実している」ことを重視するという割合がもっとも高く、次いで「災害に対して安全である」「買物が便利である」と続いています。



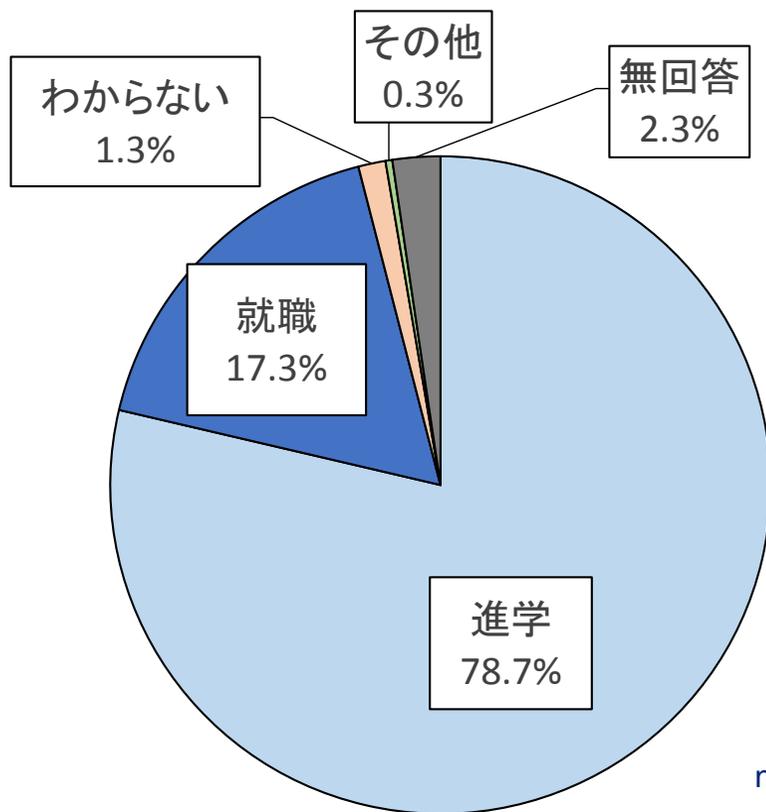
n=300

問6 高校卒業後の進路

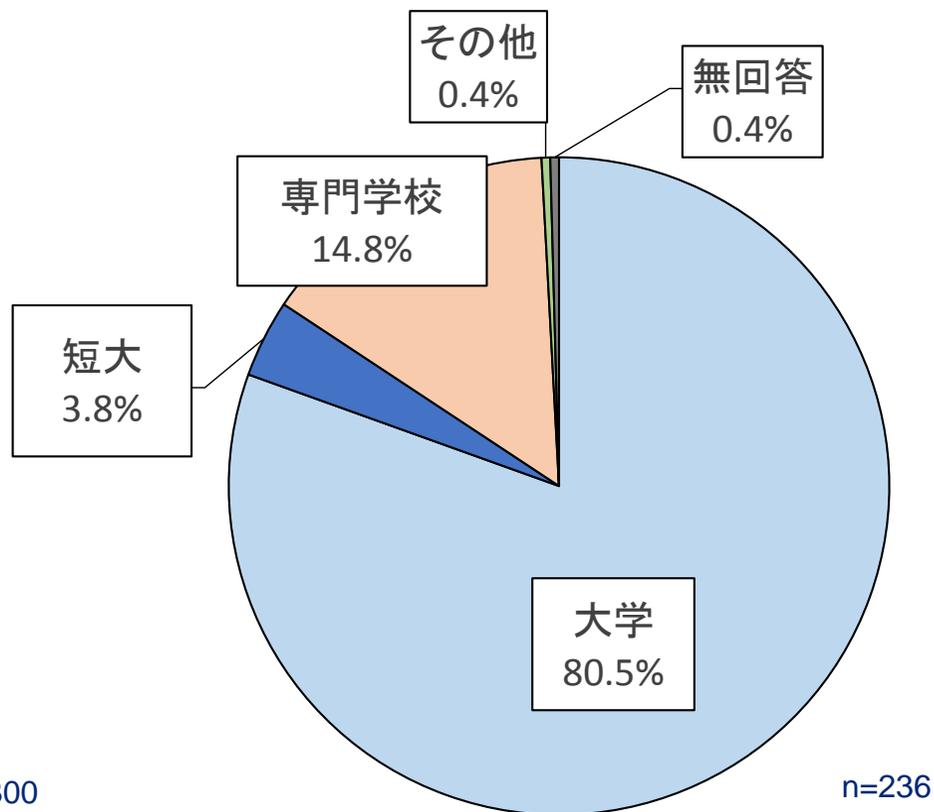
問7 第1志望の進学予定先

- 「進学」との回答割合が78.7%となっています。
- 「進学」を選択した人のうち、進学予定先として「大学」との回答割合が80.5%ともっとも高くなっています。

問6 高校卒業後の進路

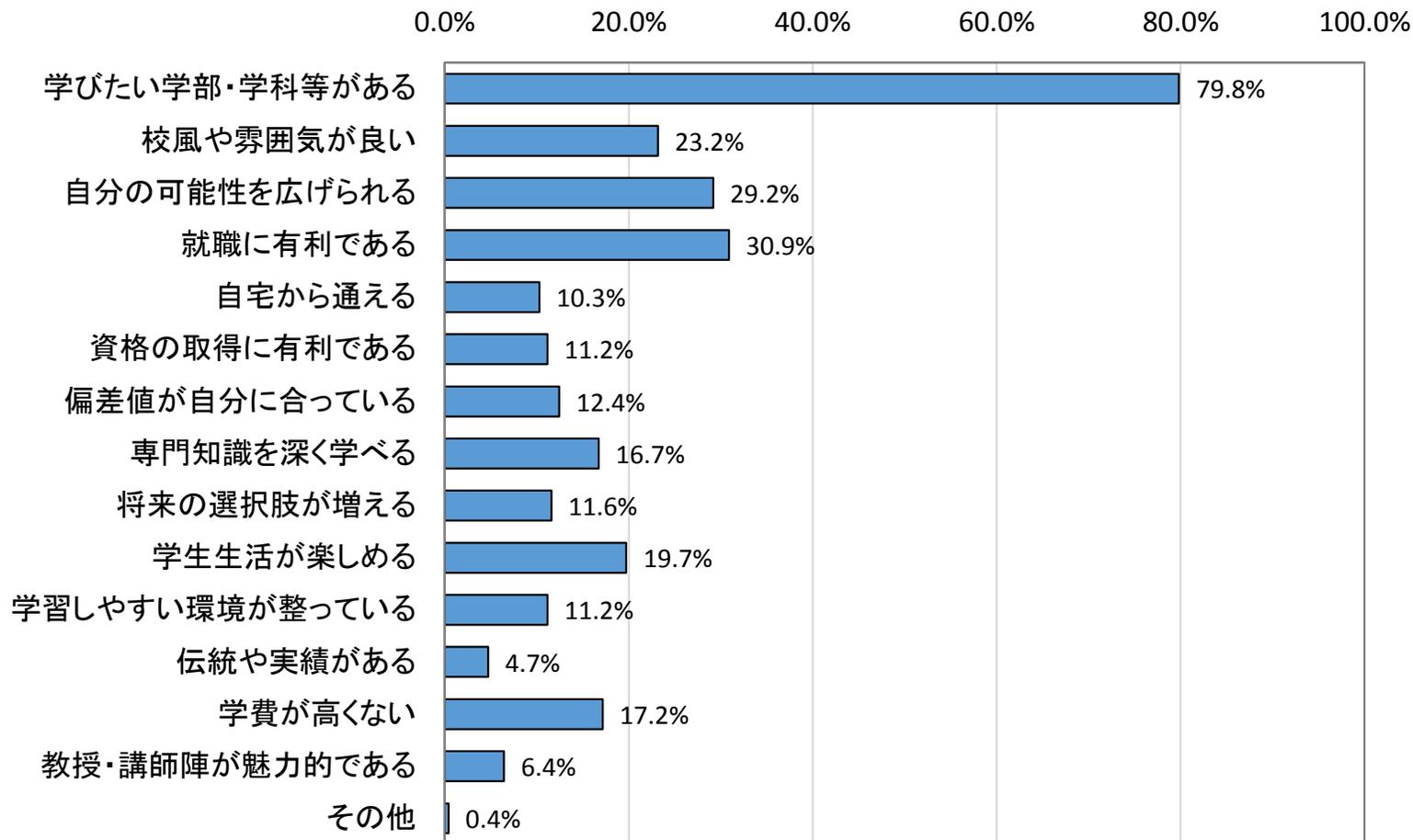


問7 第1志望の進学予定先



問8 進学先を探すときの重視点

➤ 「学びたい学部・学科等がある」の回答割合が79.8%と突出して高くなっています。

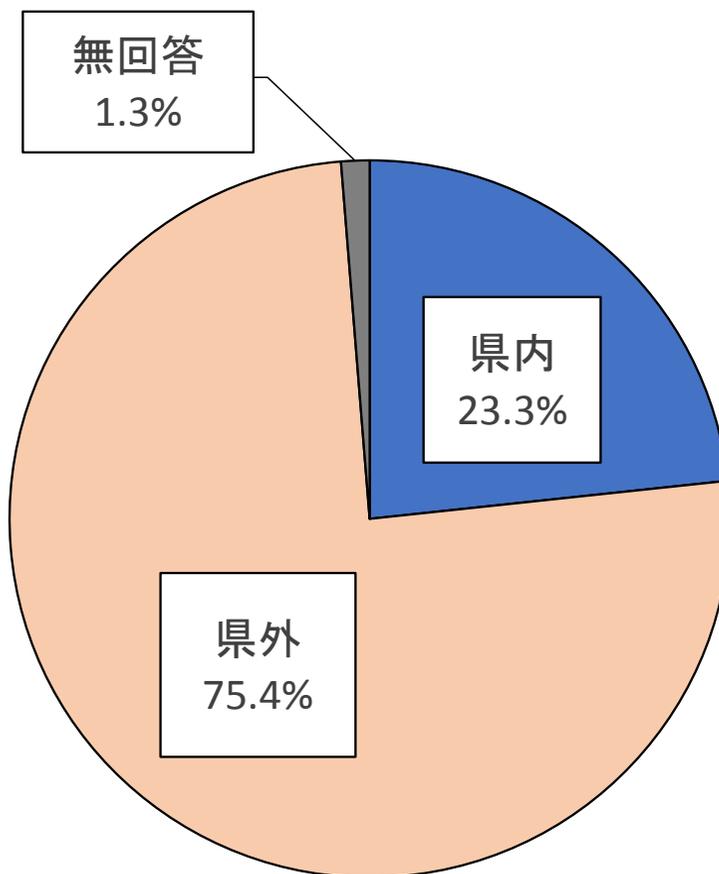


※3つまで選択

n=233

問9 進学予定先の立地場所

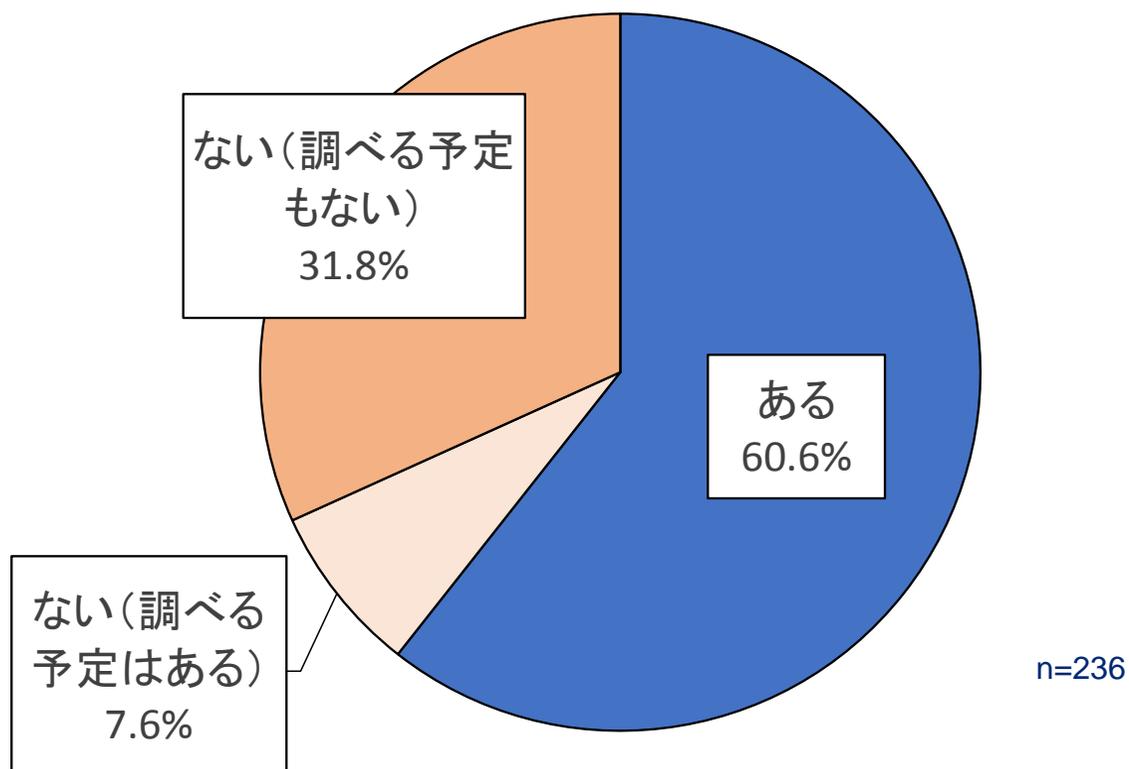
➤ 進学予定先としては、「県外」が75.4%と「県内」の23.3%を大きく上回っています。



n=236

問10 県内の大学情報の取得について

- 県内の大学の情報を取得したことが「ある」という回答割合は60.6%となっていますが、「ない(調べる予定もない)」との回答割合も31.8%と比較的高い割合となっています。

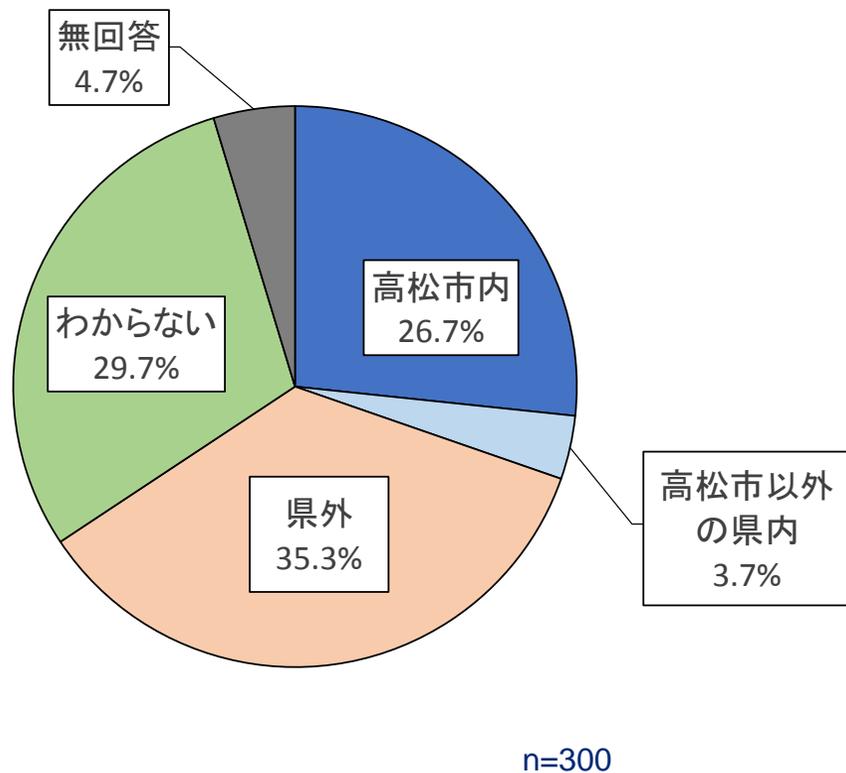


問11 高校卒業後の居住予定地

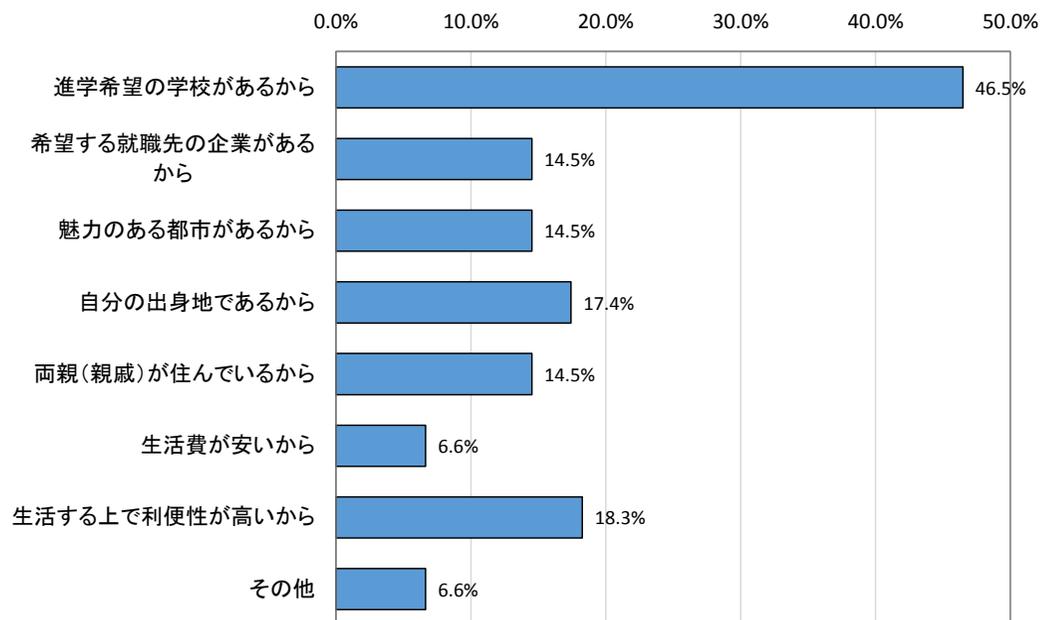
問12 問11の居住地を選択した理由

- 高校卒業後、高松市内に居住予定であるとの回答割合が26.7%と約4分の1であるのに対し、県外・市外を予定している回答割合が約4割を占めています。
- 居住地の選択の理由として、「進学希望の学校があるから」が46.5%ともっとも高くなっています。

問11 高校卒業の居住予定地



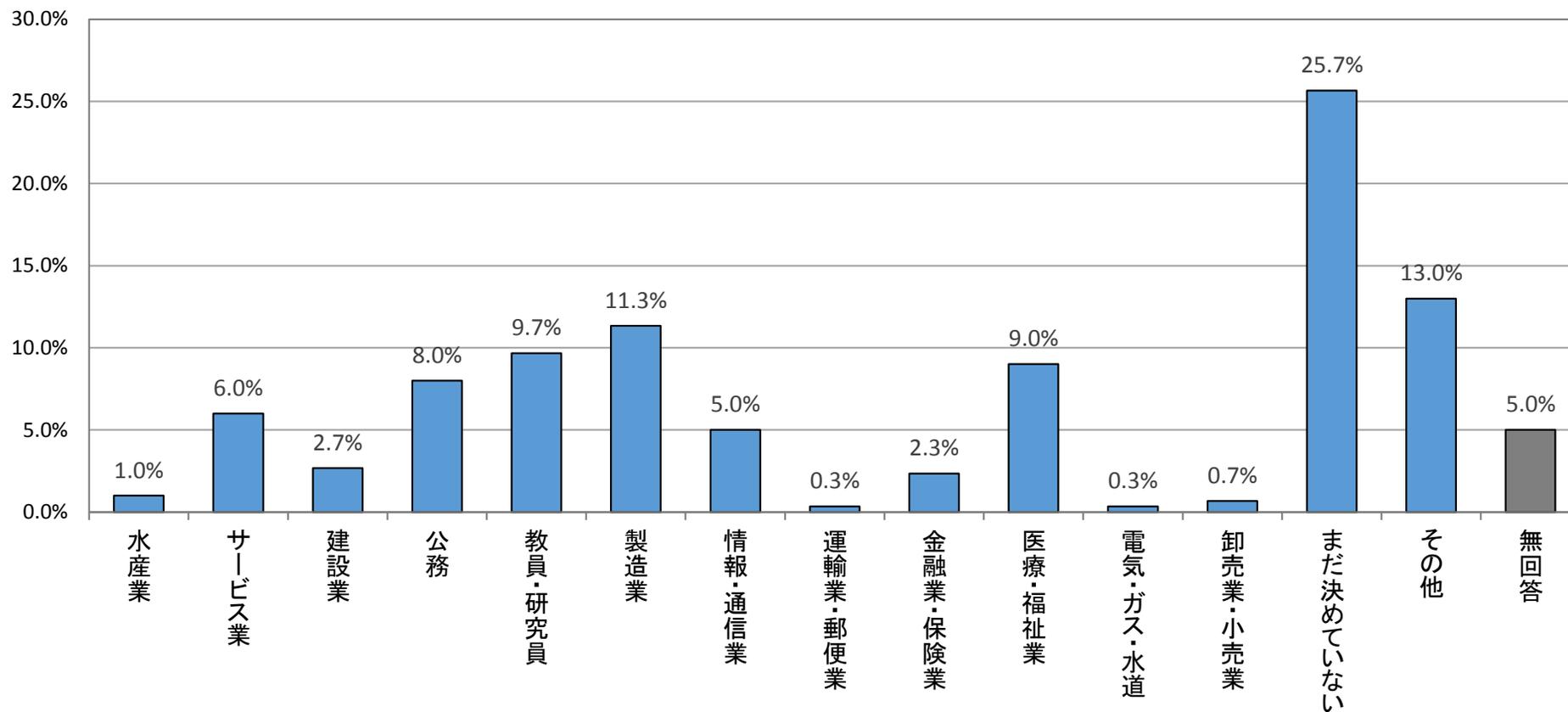
問12 問11を選択した理由



※2つまで選択

問13 将来希望する業種

➤ 「まだ決めていない」の回答割合が25.7%と最も多く、その他を除くと、「製造業」「教員・研究員」と続いています。



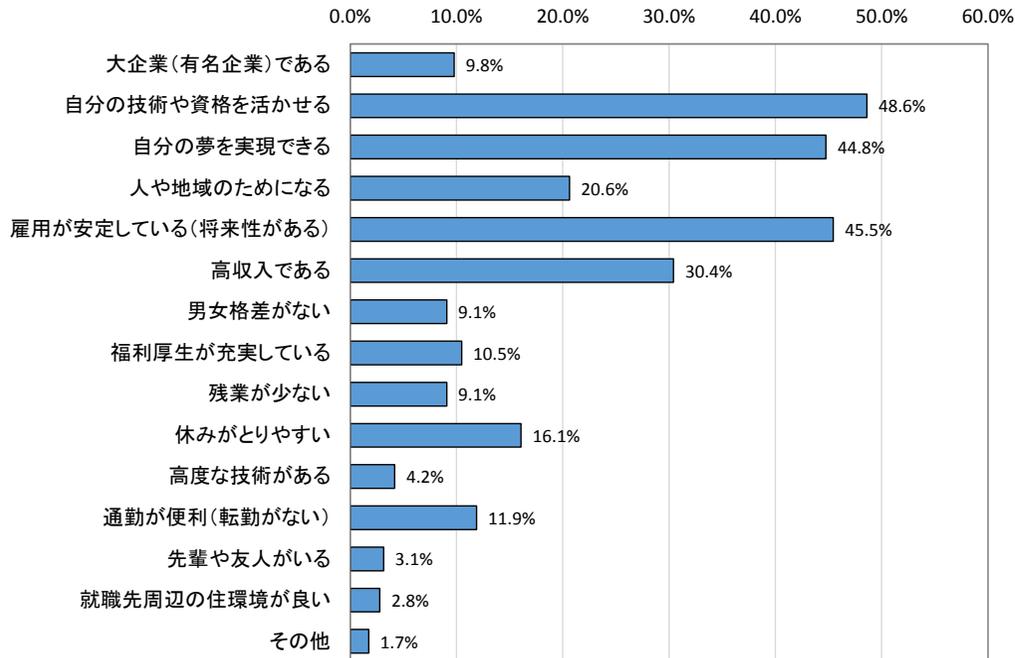
n=300

問14 就職先を探す時の重視点

問15 問14で選択した項目を満たす企業(高松市内)の有無

- 就職先を探す際に重視する理由として、「自分の技術や資格を活かせる」「自分の夢を実現できる」「雇用が安定している(将来性がある)」の回答割合が高くなっています。
- 高松市内での上記を満たす企業の有無については、「わからない」の回答割合が過半数であり、ある(複数社、1社の合計)との回答は22.0%となっています。

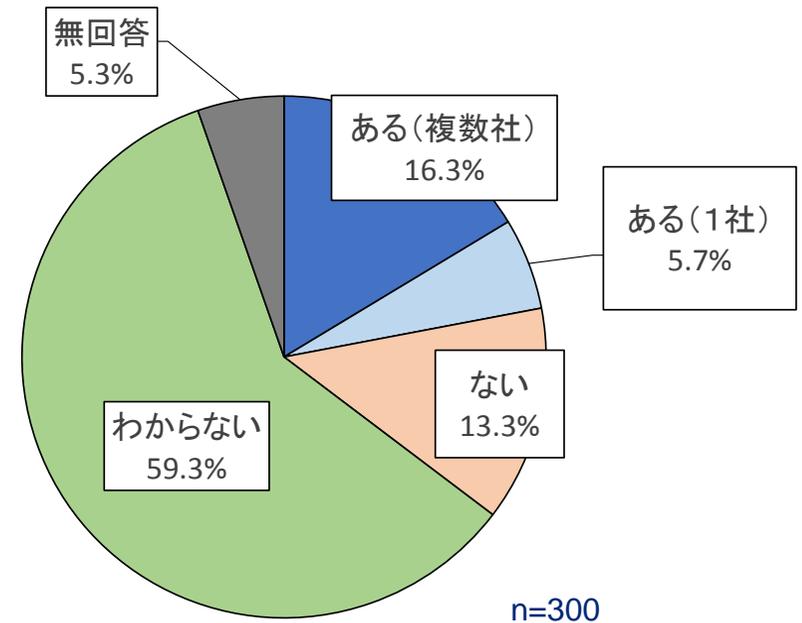
問14 就職先を探す時の重視点



※3つまで選択

n=286

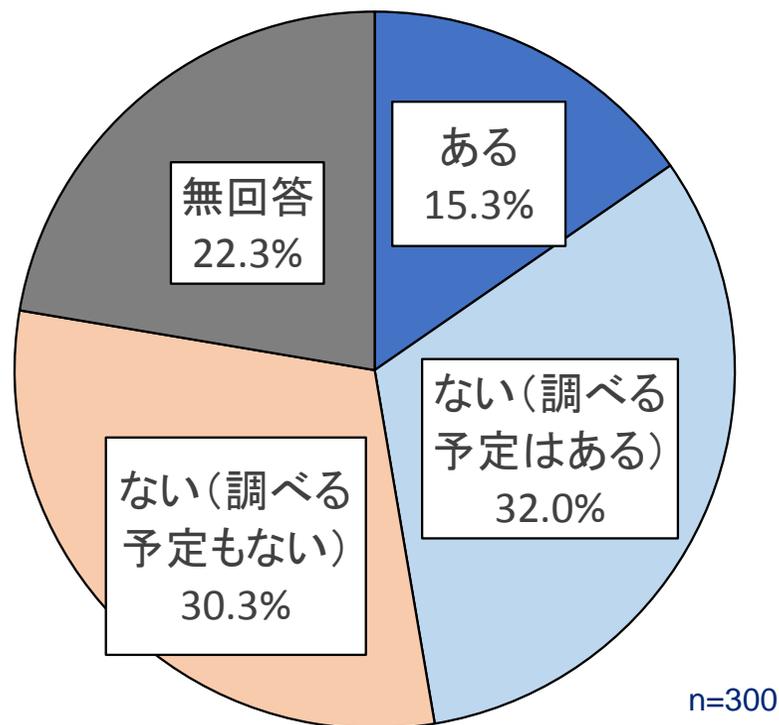
問15 問14で選択した項目を満たす企業(高松市内)の有無



n=300

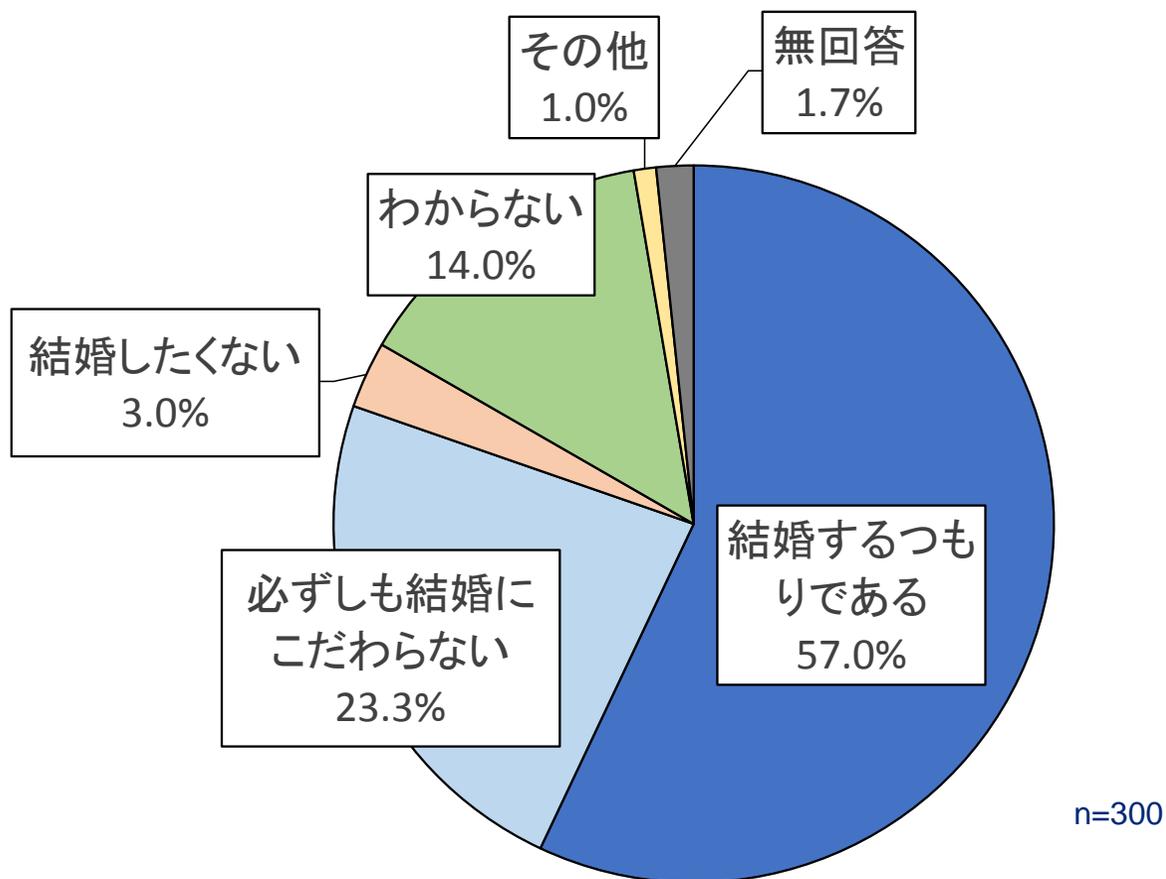
問16 高松市内の企業情報の取得有無

- 市内企業の情報を取得したことはないが、今後調べる予定であるという回答割合が32.0%ともっとも高くなっています。その一方で、「ない(調べる予定もない)」との回答も30.3%と比較的高くなっています。



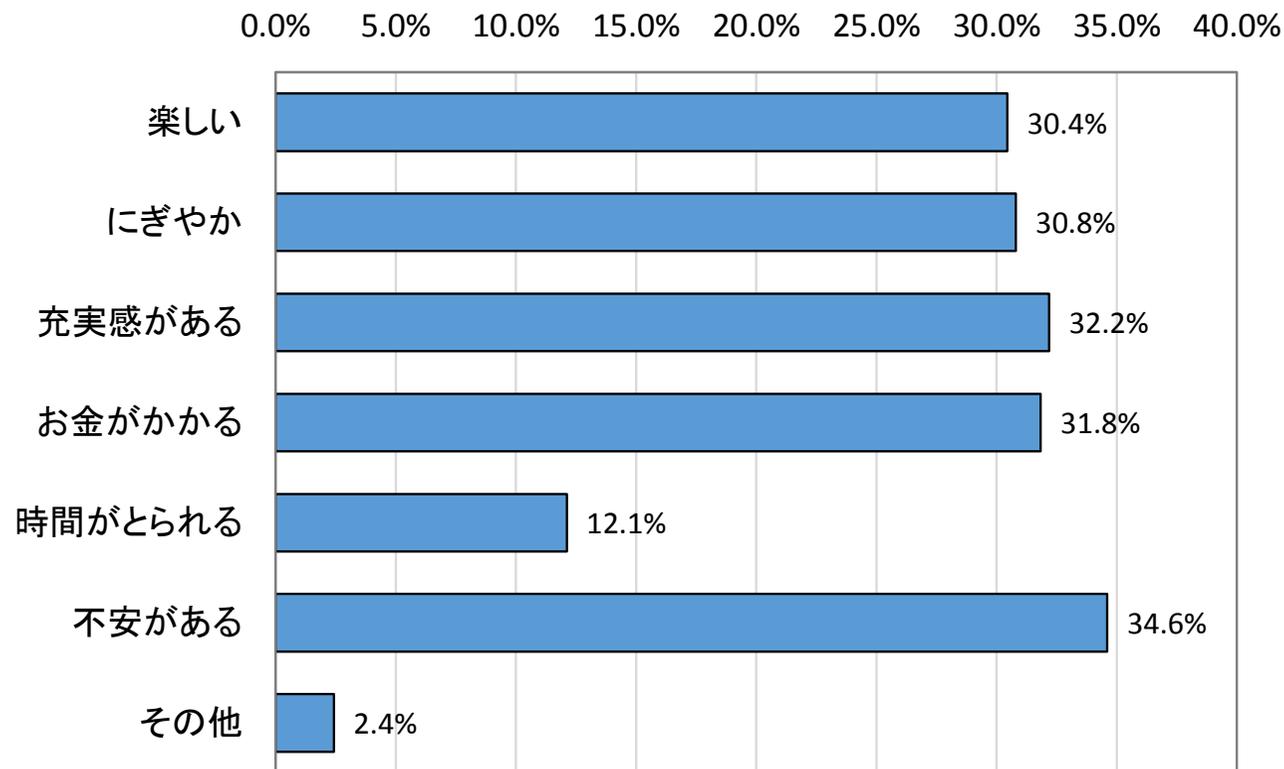
問17 将来の結婚について

➤ 「結婚するつもりである」の回答割合が57.0%ともっとも高くなっています。



問18 将来の子育てのイメージについて

➤ 「不安がある」の回答割合が34.6%ともっとも高く、次いで「お金がかかる」「充実感がある」等が続いています。

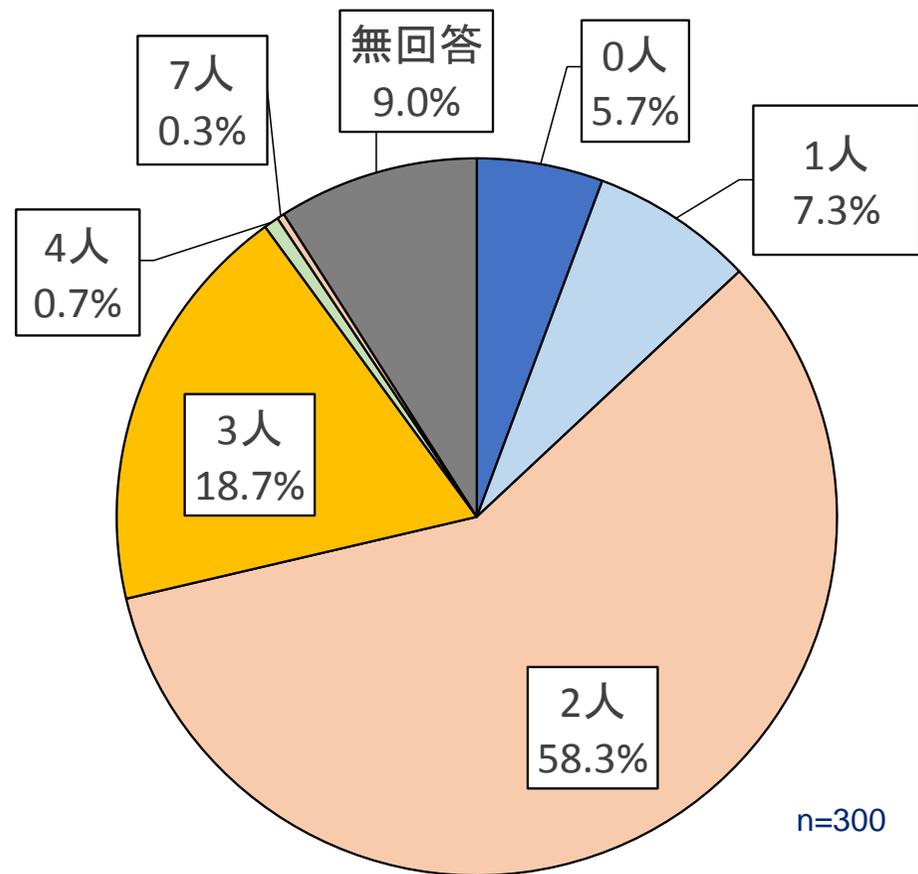


※2つまで選択

n=289

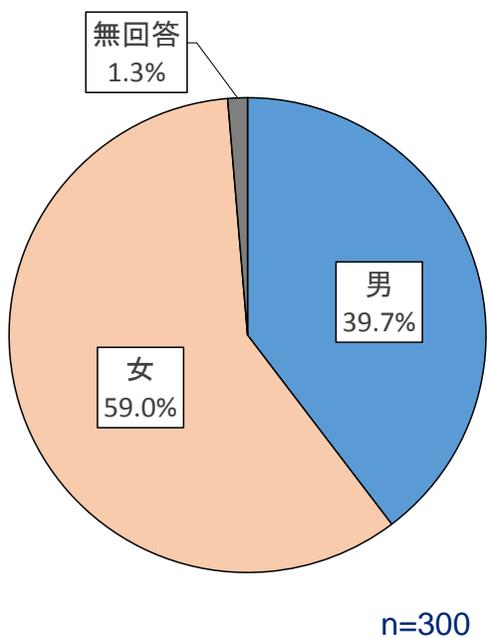
問19 将来の理想的な子どもの人数

➤ 「2人」との回答割合が58.3%ともっとも高くなっています。

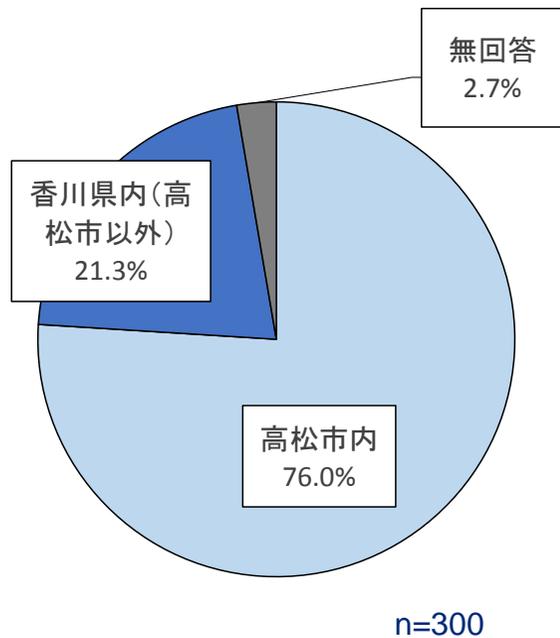


回答者の属性 1/3

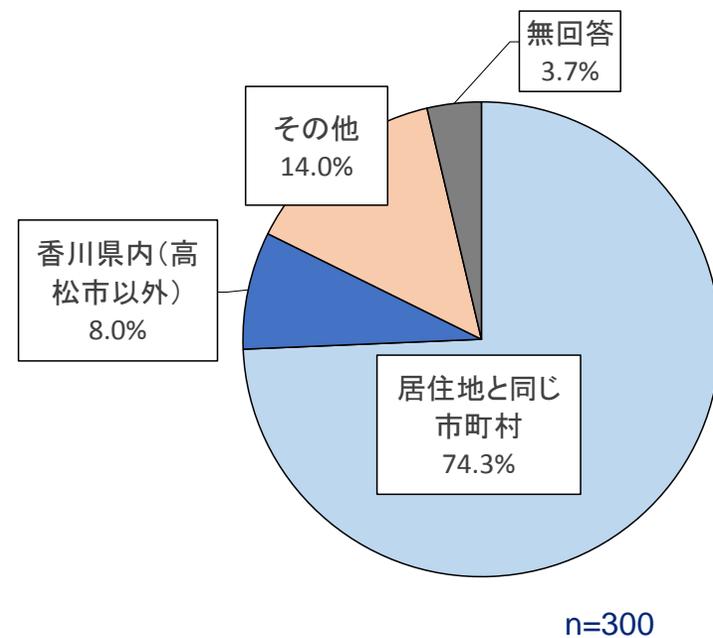
①性別



②居住地

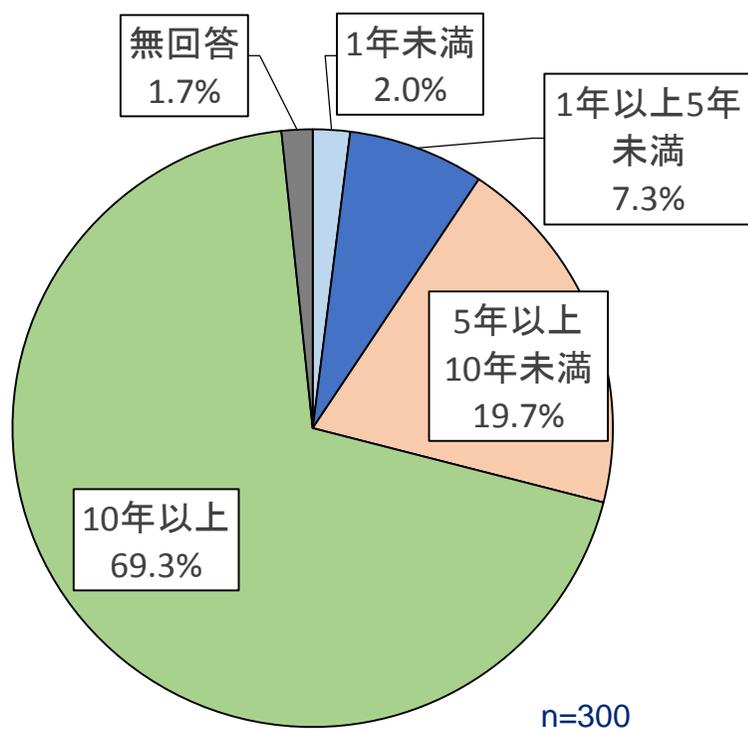


③出身地

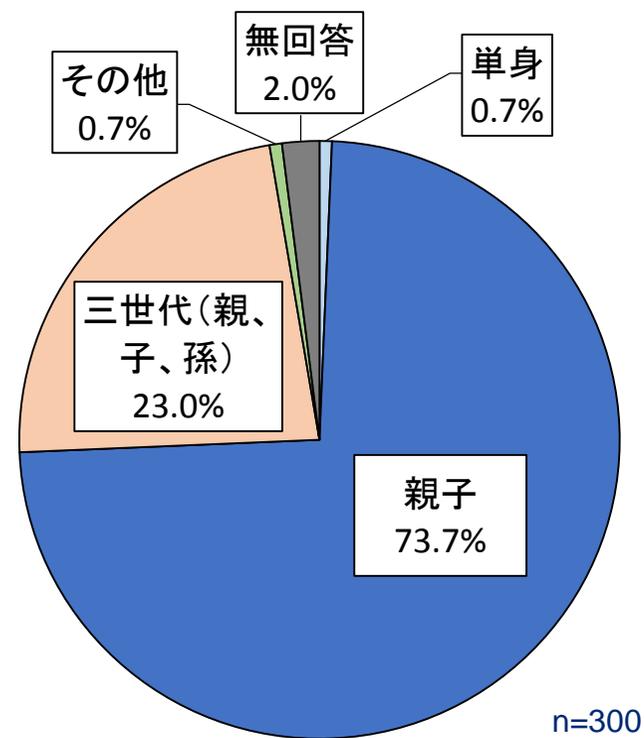


回答者の属性 2/3

④居住年数

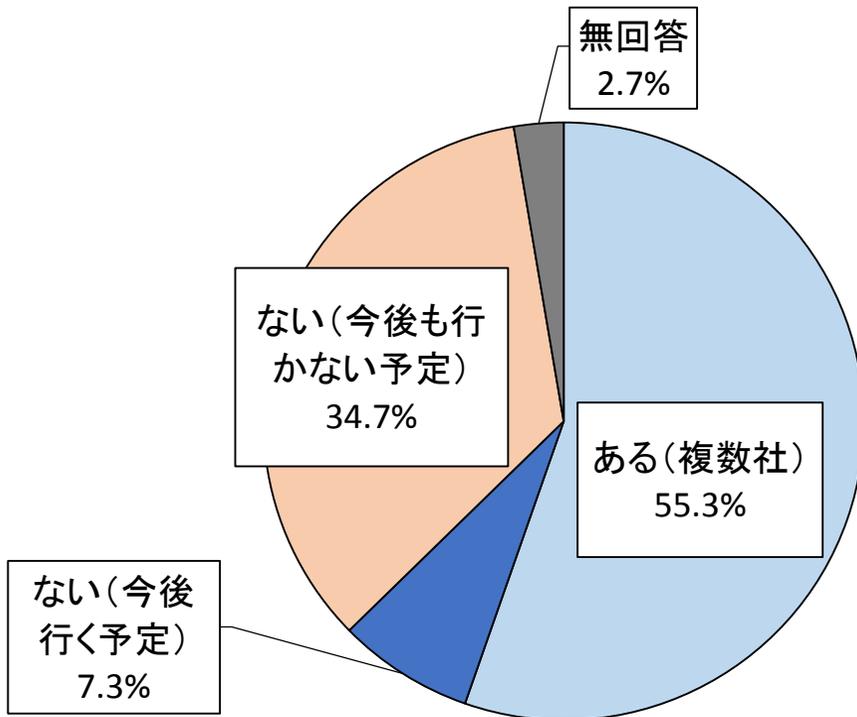


⑤家族構成

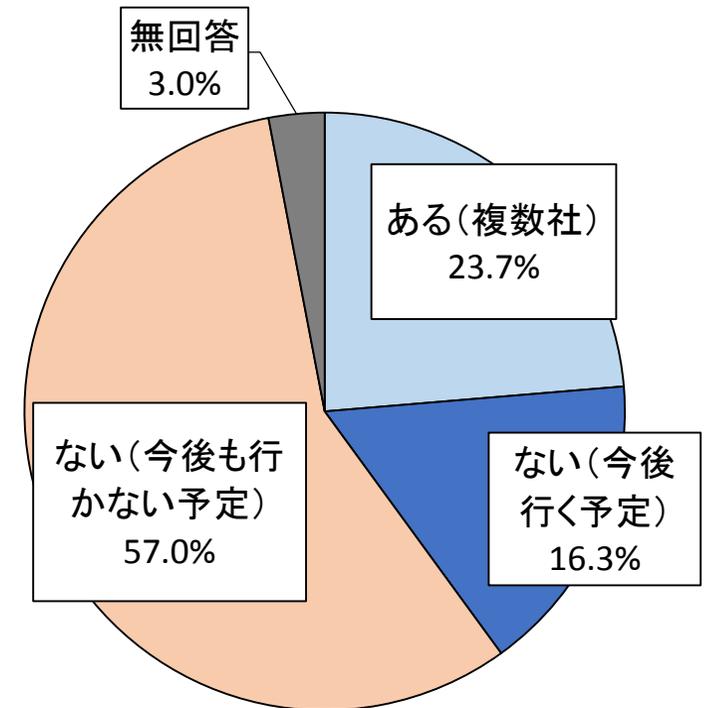


回答者の属性 3/3

⑥市内企業へのインターシップ経験



⑦県内企業(高松市外)へのインターシップ経験



Deloitte. トーマツ.

トーマツグループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームおよびそれらの関係会社(有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング株式会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー株式会社および税理士法人トーマツを含む)の総称です。トーマツグループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各社がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー等を提供しています。また、国内約40都市に約7,300名の専門家(公認会計士、税理士、コンサルタントなど)を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はトーマツグループWebサイト(www.tohmatsu.com)をご覧ください。

Deloitte(デロイト)は、監査、税務、コンサルティングおよびファイナンシャル アドバイザリーサービスを、さまざまな業種にわたる上場・非上場のクライアントに提供しています。全世界150を超える国・地域のメンバーファームのネットワークを通じ、デロイトは、高度に複合化されたビジネスに取り組むクライアントに向けて、深い洞察に基づき、世界最高水準の陣容をもって高品質なサービスを提供しています。デロイトの約200,000名を超える人材は、“standard of excellence”となることを目指しています。

Deloitte(デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(“DTTL”)ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数指します。DTTLおよび各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL(または“Deloitte Global”)はクライアントへのサービス提供を行いません。DTTLおよびそのメンバーファームについての詳細は www.tohmatsu.com/deloitte/ をご覧ください。

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited